

平成 29 年度

佐賀大学授業アンケート・授業改善に関する報告書

平成 31 年 3 月

佐賀大学教育委員会  
教育質保証専門委員会

## はじめに

平成18年10月1日から施行された「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に基づき、学部・大学院の全授業科目で授業評価アンケートが実施されるようになってから平成29年度で12年目を迎えます。本年度の実施率は、医学部を除く学部が99.7%、医学部は98.5%であり、医学研究科を除く研究科では99.9%、医学研究科では100%でした。この数値はアンケート実施開始時から比べると大きく増加しており、授業評価アンケートの実施が当たり前のようになってきたことを意味します。

また、本学は平成18年度より授業評価結果を用いた授業改善を実施するために、各学部等に組織別授業評価を行うことを義務付けてきました。各学部等は、評価の高かった科目の選考や授業改善への取り組み状況、次年度へ向けた授業改善の目標などを教育委員会に報告するようになっていました。また、各教員には授業点検・改善報告書の提出が義務づけられ、その作成率も100%でした。

さらに、平成27年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」とし、授業アンケートそのものの改善も図っております。

本学では、平成23年度にポートフォリオ学習支援統合システムを導入し、その際に教員の教育改善を支援する仕組みとして簡易版ティーチング・ポートフォリオ（TP）作成機能も組み込みました。平成27年度には、簡易版TP作成率100%を達成し、授業の1回目で教員は自身の教育理念や教育方法について説明することにいたしました。平成28年度からは、本学のすべての教員公募要領において、教育業績評価に標準版ティーチング・ポートフォリオを活用することを明記しています。このように全学的な教育改善システムは整って参りましたので、今後は、各部局および教員が、これらの仕組みを十分に活用し、さらなる教育改善に結びつけることを希望します。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

国立大学法人 佐賀大学教育委員会委員長

兒玉 浩明

## 目次

はじめに	2
目次	3
I.経過	4
II.実施状況	5
III.授業評価アンケートの結果と分析	
III-（1）教育学部の結果と分析	20
III-（2）文化教育学部の結果と分析	29
III-（3）学校教育学研究科の結果と分析	38
III-（4）芸術地域デザイン学部の結果と分析	50
III-（5）地域デザイン研究科の結果と分析	56
III-（6）経済学部の結果と分析	62
III-（7）理工学部・工学系研究科の結果と分析	73
III-（8）農学部・農学研究科の結果と分析	80
III-（9）全学教育機構の結果と分析	98
おわりに	110
資料1 佐賀大学学生による授業評価実施要領	111
資料2 授業評価結果を用いた授業改善実施要領	113
資料3 学生による授業アンケート様式	114
資料4 共通様式以外のアンケート様式	116
資料5 項目の基礎集計表	119

## I. 経過

佐賀大学では平成 12 年度前学期の「学生による授業評価」の試行的実施を経て、同年度の大学教育委員会で承認された「授業評価実施要領」に基づき平成 13 年度より本格導入に至っている。さらに佐賀医科大学との統合後には、佐賀大学大学教育委員会（平成 15 年 11 月 26 日開催）で「学生に対する授業評価システムに対応する専門委員会」の設置が承認され、継続的に実施する体制が整えられた。法人化後の平成 17 年度には「授業評価実施要領」を一部改訂し、従来の教員による選択的实施を改め、講義科目（演習、実験、少人数ゼミを除く）を対象に共通アンケートによる 100%の実施を目標に活動を続けてきた。また、翌平成 18 年度後学期より全ての授業科目（大学院も含む）を対象に授業評価を実施することが定められた「佐賀大学学生による授業評価実施要領」（以下、授業評価実施要領とする）（平成 18 年 10 月 1 日施行）（資料 1）が新たに制定された。これにより佐賀大学の全ての授業科目において基本的に共通アンケートもしくは独自アンケートによって学生の意見を聴く機会が設けられていると言える。また、アンケート結果の教員へのフィードバックについても全学平均や学部平均との比較をレーダーチャートに示し、自らの授業改善に活かせるような工夫が施された。さらに、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」（平成 18 年 12 月 22 日施行）（資料 2）が制定され、この授業評価アンケート結果に基づき、各教員は自らの授業の改善点について授業点検・評価報告書を提出することが義務づけられた。平成 22 年度後学期からはそれまでの共通アンケート用紙に変わり、Live Campus を利用した共通アンケート形式が導入され、ウェブ上でアンケートが実施された。一方、この授業評価アンケートと並行に学生対象アンケートも実施され、佐賀大学の教育目的、施設、教育システム全般にわたって広く学生の声を取り入れようとする試みも行われた。さらには教員対象アンケートや卒業生対象アンケートも実施され、佐賀大学における教育活動を多面的に分析する準備を整備しつつある。

平成 27 年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」とした。

本報告では平成 29 年度に実施した授業評価アンケートの結果および授業評価結果を用いた授業改善実施要領に基づいた佐賀大学の授業改善への取り組みについて述べる。なお、医学部および e ラーニングで受講するネット授業については、授業形態の差異に配慮し、本報告書では扱っていない。

## II. 実施状況

平成 29 年度に佐賀大学で行われた授業アンケートは、本学の統合型オンラインコミュニケーションシステム Live Campus 上の共通アンケートシステムを用いて行った。また、科目によっては共通様式を用いない授業アンケートの実施も認めている。そこで、授業アンケートの結果を述べる前にアンケートの実施方法及び実施状況について示す。

本年度に実施した授業評価アンケートは以下の 3 つに大別される。

- 1) 授業アンケートシステム (資料 3)
- 2) 個別授業アンケート
- 3) 医学部授業評価アンケート (資料 4)

このうち本報告書では授業アンケートシステムの結果について取り扱う。医学部は統合前の佐賀医科大学時代から先進的な FD 活動を展開しており、授業評価アンケートも科目種毎に分けて通年で実施し、詳しい分析が行われているので本報告では扱わない。ネット授業は授業形態が異なるため質問内容が異なっているため別項とし、概要をまとめ分析を行った。

次に、本年度の授業アンケートの実施率について述べる。表 1 に部局毎の実施率をまとめた。共通アンケートシステムを用いていない授業アンケート (つまり、独自形式アンケート) の実施率も示している。独自形式アンケートは受講者が極端に少ない場合や複数の教員が担当している場合など、Web 上の選択回答形式の共通アンケートにはそぐわない場合に実施する授業アンケートと位置づけられている。科目としては少人数での実験、教育実習、ゼミなどが該当すると考えられる。実施率の高い部局は、学部では医学部、農学部、理工学部、研究科では医学系研究科、学校教育学研究科であった。学部での実施率は医学部の 98.5% が最も大きく、科目数では 131 科目に達する。また、大学院では医学研究科の実施率が 100% に達している。共通アンケートシステムの導入によりアンケートの実施に教員の関与が無くなったため、例年報告している「個別授業評価に係わる情報が一切無い授業科目名」について、平成 22 年度より掲載していない。

## (1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

### 教育学部・学校教育学研究科，文化教育学部・教育学研究科

平成 29 年度も昨年度から引き続き新組織への移行期間であり，教育学部と文化教育学部の読み替え科目や同時開講科目，過年度生のための開講科目などが多数存在するため，高い評価を得ている授業科目を統一的な基準の元で選定することは困難である。また，教育学部のみで検討しても，受講人数のばらつきが大きいため比較が困難である。以上から選定を行わなかった。教育学研究科と学校教育学研究科は対象科目が少ないため選定を行わなかった。

### 経済学部・経済学研究科

経済学部・経済学研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず，その選考基準も作成していない。

### 理工学部

#### 数理科学科

以前は，授業評価アンケートの「満足度」を利用して，学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが，授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く，参考にならないため，現在，学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。また教室会議において，教育改善会議等での評価結果とそれに基づく教育改善について議論している。

#### 物理科学科

満足度を中心に，アンケート結果から総合的に判断する。

#### 知能情報システム学科

授業アンケート D-1（学生の満足度）の高い科目

#### 機能物質化学科

卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い，在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。この結果を教員毎に纏め，上位 2 名の教員を機能物質化学科ベストプロフェッサーとして表彰している。

#### 機械システム工学科

特に実施していない

#### 電気電子工学科

授業アンケートの評価を指標として授業参観科目を選定し，前年度の学生による授業評価

の良かった授業を選んで、ピア授業参観を実施している。

### **都市工学科**

授業評価アンケートの回収率が低いという理由から特に実施していない。

## **工学系研究科**

### **(1) 博士前期課程**

#### **数理科学専攻**

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

#### **物理科学専攻**

満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

#### **知能情報システム学専攻**

D-1 (学生の満足度) の高い科目

#### **循環物質化学専攻**

修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実習・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査し、この結果を教員毎に纏め、循環物質化学専攻ベストプロフェッサーとして表彰している。

#### **機械システム工学専攻**

特に実施していない

#### **電気電子工学専攻**

専攻内で学生から高い評価を得ている授業科目の選考は行っていない。

### **都市工学専攻**

授業評価アンケートの回収率が低いため特に実施していない。

### **先端融合工学専攻**

授業評価アンケートの回収率が低いという理由から特に実施していない。

### **(2) 博士後期課程**

博士後期課程は講座毎では学生の人数が少なく、講義の履修者数も少ないため、講座毎の組織別授業評価は行っていない。

また、理工学部、工学系研究科全体として、授業アンケートが WEB 入力になってからア

ンケートの入力率が低いため、授業アンケートが学生からの高い評価の基準としてあてにならないという学科、専攻が2学科、2専攻ある。結果として選考自体が行われていない学科、専攻が3学科、5専攻ある。アンケートの回収率の向上が望まれる。

## 農学部

前年度までの報告でも述べたとおりであるが、学部内・学科内における各学科の内容（必須科目・非必須科目の違いを含む）や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは現状では困難である。しかし、現状で入手できる資料を用いて基準を精査することは重要である。

選考基準の一つとして、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問したアンケートの質問事項 B～D において高い評価を得ている科目が挙げられる。次に、講義だけでなく、自学によって高度な知識や見識を身に付けたり、知的好奇心が満たされたりすることから得られる満足感を評価する必要があると考えられるため、授業時間外学習が確保されている科目も選考基準の一つとして挙げられる。そして、学生によるアンケート入力率が高い科目も選考基準の一つとして考慮すべきであろう。

## 農学研究科

「学生から高い評価を得ている授業科目」については、学部の総括でも述べたとおり、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難であると判断した。特に、農学研究科では1科目の受講者数が少ないため、授業科目を選択することは適切ではないと考えられる。

## 全学教育機構

全学教育機構では、この項目に対する明確な選考基準の確定に至っていないが、佐賀大学教育功績等表彰（2号表彰）の選考時には授業アンケート結果も利用している。

## 芸術地域デザイン学部

特に実施していない

## (2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

### 教育学部・学校教育学研究科，文化教育学部・教育学研究科

平成 29 年度は教育学部，学校教育学研究科，文化教育学部，教育学研究科の 4 組織に対する組織別授業評価を実施した。平成 28 年度の改善目標を基に平成 29 年度の優れた点と改善を要する点を報告する。

#### 【優れた点】

##### 1) シラバスチェック作業の効率化

昨年度に引き続き本年度も学部改組による移行期で，2 学部 2 研究科が混在しており，1 人が複数の部局で講義を担当している。そのためシラバスチェック作業が負担となっていた。本年度は，新規科目や記載内容の大幅変更の科目に限定して行ったため，昨年度より負担が減少した。

##### 2) ティーチング・ポートフォリオ作成・更新率の維持と向上

本年度は簡易版ティーチング・ポートフォリオの更新率を 100 %を維持できた。また，標準版ティーチング・ポートフォリオ作成・更新率が 15.2 %となり，目標の 12 %を達成できた。教員各自の授業見直しが行われており，学生の授業アンケートの満足度の高さに繋がっている。

#### 【改善を要する点】

##### 1) 学生による授業評価アンケートの回答率の低さ

今年度も授業評価アンケートの学生の回答率が低い点が改善を要する点である。教員は講義で学生にアンケートの記入するようにアナウンスしているが効果は見られない。今後，回答率の向上させる努力が必要である。

### 経済学部

授業改善の取り組み状況に係る優れた点は，第 1 に，4 年間の学習成果を測定することを目的とした「コア科目群確認試験」を，平成 29 年度卒業予定者を対象として実施したことである。経済学部では，専門教育を伝統的な経済学・経営学・法学の体系として教育すると同時に，そのような専門教育の入門科目を低学年次に受けさせ，高学年次では自らの進路希望に添ったコア科目群を履修させることによって，専門教育と総合教育のバランスのとれた教育を行っている。こうした学習成果の最終的な測定が「コア科目群確認試験」であり，同試験を同一日時における一斉試験として，平成 28 年度と同様に 4 年次後学期に実施した。コア科目群確認試験の測定結果については，4 年演習の担当教員が確認し，各教員

は測定結果にもとづいたより充実したチューター指導に結びつけることができた。「コア科目群確認試験」は、平成 28 年度から実施されているものであるが、平成 29 年度において特筆すべき点は、平成 28 年度における各コア科目群における試験結果ならびに得点分布が、FD 会議の実施によって各教員に周知され、科目群間の難易度調整の観点から試験問題の再点検が実施されたことである。

第 2 に、学部全体において計 7 回の FD 活動を平成 29 年度に実施したことである。「コア科目群確認試験の検証および改善」、「教育実習の課題」、「セクシャルマイノリティの学生への対応」、「ティーチング・ポートフォリオの活用」などをテーマとして、ほぼ全ての教員の参加の下で FD 会議が開催され、活発な意見交換ならびに情報の共有化が行われた。また、経済・経営・経済法の各学科においても、学科 FD 会議として、授業改善・望ましい授業カリキュラムのあり方が複数回にわたり議論および検討された。

第 3 に、簡易版ティーチング・ポートフォリオの作成率および更新率 100%の維持が優れた点として挙げられる。

改善すべき点としては、学部改組から 4 年以上が経過したことをふまえ、学部改組の成果の検証についてのより活発な FD 活動等が求められることである。これに付随して、上記の優れた点として学習成果の測定を目的とした「コア科目群確認試験」の実施が挙げられたが、同試験についても継続的に FD 活動を実施し、試験問題の範囲や難易度等について各教員間での調整や情報共有を行い、同試験がよりよく 4 年間の学習成果を測定できるものとなるように、継続的に議論していく必要がある。

## 経済学研究科

授業改善の取り組み状況に係る優れた点は、第 1 に学部でも取り上げた FD 活動と TP 作成率の増加である。FD 活動および TP 作成は学部および研究科の全教員が参加しており、学部のみならず研究科においても、授業改善の促進につながっているといえよう。学部専門科目およびゼミにおける指導方法は、研究科においても相通ずるものがあり、FD 活動および TP 作成の効果は研究科の授業改善に資するものとなっている。

第 2 に、修士論文執筆を促進する取り組みとして総合セミナーを実施し、教員が論文執筆の基本的な考え方を講義するとともに、修士 2 年次生全員に修士論文の中間報告をさせ、教員含む参加者全員でその内容について討論を行っている点である。平成 26 年度までは金融・経済政策専攻と企業経営専攻の各専攻で個別に行われていたが、平成 27 年度からは総合セミナーの実施体制が変更され、中間報告および討論に両専攻の全受講生が参加可能となっている。こうした変更により、中間報告および討論の機会が拡充し、他分野の研究に触れる場が確保された。各受講生にとって、総合セミナーにおける中間報告や多様な研究

背景をもつ教員・受講生からの助言・批判が、修士論文の完成へ向けての大きなはずみとなったといえよう。

改善すべき点としては、経済学研究科は平成 27 年度入学生の修了をもって廃止され、新研究科が平成 28 年度より開始されたため、円滑に新研究科への移行を整備することである。

## 理工学部

### 【優れた点】

#### 数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

#### 物理科学科

教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。学科としては、1 年生の専門必修科目について補習を行っている。

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

#### 知能情報システム学科

・e ラーニングや紙での独自アンケート・コミュニケーションカード・小テスト時の自由記述欄などで学生の意見を吸い上げ、業改善を行っている。

・一部科目では、毎回の小テスト・宿題により講義内容の理解度・出席率を高めるとともに、採点結果を返却し復習に役立たせた。

・学習アドバイザー（プログラミング系・数学系）による学習支援を行っている。成績不振の学生を優先して指定しており、成績に反映させている。

・プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自習（問題数 200 題程度、回答し正解した問題総数が半期で約 1000 題ほど、1 人平均で年間 30 問ぐらい解いている）。

・e ラーニングシステムを活用することで課題提出の管理を向上させた。

・一部演習の電子化により、フィードバックが多少改善された。

・毎回の授業後に Moodle 小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに、学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答えは自動採点され、学生にフィードバックされるとともに、成績にも反映される。

・「Moodle 版大福帳」を活用して、学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し、次の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると、学生が質問する際のハードルは低い。また、教員の側も、質問を収集することで学生の理解

状況が分かる。

- ・ PowerPoint スライドで授業をしているが、一部を空欄にして学生に書き取りをさせる方法は、学生の評判も良い。居眠りを減らす効果もある。
- ・ 提示資料を講義終了後にホームページにアップロードしたことで、講義中にノートを取る学生が多くいるなど、意欲を高める効果があったと考える。
- ・ 授業の難易度が多少高くても、意味のある内容であることをきちんと説明すれば、学生は納得もするし、ついてもきている。

### **機能物質化学科**

実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、平成 19 年度より独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。平成 23 年度からは教育改善委員会を新たに設置し、要改善の科目については、次年度の授業改善を担当教員に報告してもらい、教育改善委員会でその妥当性についてチェックしている。

### **機械システム工学科**

学期ごとに提出する FD レポートにおいて各教員が各講義の改善点をあげ、改善に取り組んでいる。また FD 委員が FD レポートを取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては改善を行うようにしている。

### **電気電子工学科**

学生による授業評価の高い授業を選出し、その授業を公開してもらって学科教員が参観している。参観した教員はその授業の良い点などを書いた報告書を FD 委員に提出し、FD 委員は総評を作成して学科に公開している。これによって、学科の全教員に対して、評価の高い授業の授業方法を参考にして自身の授業を改善する機会を提供している。

### **都市工学科**

学科内で教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

なお、JABEE を実施している 4 学科に関しては、JABEE の基準に従い、定期的に教育の改善に関する会議を開催し、逐次、教育改善を進めているはずである。

#### **【改善を要する点】**

- ・ 数学科目では、なかなか学習到達目標の達成を実感させるのが難しいが、内容を精査し、講義順序も再検討して「わかった」ことを実感させられるように講義設計を見直した

い。

- ・時間外学習の課題を与えているが、その進行状況の把握が十分ではなかった。時間外の学習に関する改善方法を検討する。

- ・学習到達目標の達成や、学生自身が考えることを促す配慮の項目の評価がやや低くなっている科目があった。学生にシラバスや到達目標をしっかりと意識させ、学生が考えるよう配慮していくよう授業の改善を行っていきたい。

- ・学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

- ・学生の学力低下や学習意欲の低下が目立つため、できるだけ学生に作業を行わせ、手を動かすことを通じて授業内容を理解させることに努めたい。

- ・自学自習があまり行われなかった。自学自習を促す方法としてレポート課題などを再検討する。

- ・グループ学習・アクティブ・ラーニングを導入する。教員側から質問するなどし、より講義に参加する形を作る。

- ・講義の難易度が上がると学生の興味が薄れる傾向にある。これを克服すべく、改善が必要と考える。

## 工学系研究科

### (1) 博士前期課程

#### 数理科学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

#### 物理科学専攻

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

#### 知能情報システム学専攻

概ね良好であるため維持したい。

#### 循環物質化学専攻

母体とする機能物質化学科と同様に、分野別教員会議や教育FD委員会において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。

#### 機械システム工学専攻

専攻として組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の授業改善目標を設定している。

## 電気電子工学専攻

授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

## 都市工学専攻

専攻内で教育システム委員会を開催し、学部から大学院までの体系的な教育方法の検討などを行っている。

## 先端融合工学専攻

先端融合工学専攻では、26年度より電気系、機械系、化学系の学生が融合して実験や演習を行う科目としてプロジェクトスタディを開設し、各系の学生が3～5人一組になって、各系の研究内容を体験させ、さらに27年度より学生に本来の専門を超えた知識を得るため電気系、機械系、化学系の教員が協力して行う先端融合工学特別講義Ⅰの他専攻にはない科目を実施している。“この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか”という質問に対して、プロジェクトスタディは高い評価(4.273(全体平均 3.935))を得ており、教員各位の工夫が見受けられる。これらの講義の満足度も増加傾向にあり(プロジェクトスタディ:3.846(2015年度)→3.667(2016年度)→4.091(2017年度)、先端融合工学特別講義Ⅰ:3.417(2015年度)→3.700(2016年度)→4.091(2017年度))、教員各位の継続的な講義の改善結果が表れている。

## (2) 博士後期課程

学生数に近い論文発表件数、学生数の2倍近い学会発表件数から分かるように、高い研究水準の教育がなされている。

## 農学部

出席率に関しては、出席率80%以上の学生が前後期通じて89.7%～96.6%となり、前年度に引き続き高い値を示した。授業時間外学習に関しては、全くしていないと回答した学生は、平均すると前年度とほぼ同じような少ない割合であり、各教員が予習復習の重要性を説明している結果がでていると考えられる。また、教員の授業に対する意欲や熱意に関する満足度も去年に引き続き良好であり、授業に全体として満足できたとする割合も高かったことは評価できると考えられる。しかし、一方で、シラバスの活用度に関しては、平均して前年度から特に向上していないことから、授業内でシラバスの積極的活用をより一層促すなどの改善を行う必要があると考えられる。なお、今年度は、授業内容について学生自身が考えることを促す配慮があったとする割合が前年度より増加しており、これは、各教員がアクティブ・ラーニングの積極的導入を意識している結果だと考えられる。今後

は、この割合を、より高めていくことが望まれる。

## 農学研究科

出席率は、出席率80%以上の学生が、前期、後期とも98.9%と極めて高く、教員の授業に対する意欲や熱意、並びに授業の全体としての満足度も良好であった。授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに関しては、比較的良好な結果が得られたが、アクティブ・ラーニングをより浸透させる点から、この割合を今後一層高めている努力が必要であると考えられる。一方、授業時間外学習については、全くしていない、あるいは1時間未満と答えた学生が、前期で合計30.9%、後期で合計21.6%であり、依然として一定数存在することが明らかになった。大学院が自ら学ぶ場であることを考えた場合、この割合は満足できる値とは言い難いため、今後も引き続き時間外学習を促すような指導を行っていく必要があると考えられる。また、シラバスの活用もまだ十分とは言い難いため、引き続き授業中などにシラバスを活用するように呼びかけ、改善を図ることが必要であると考えられる。

## 全学教育機構

### 【優れた点】

前後期ともに授業アンケート項目のA-1（出席率）、B-3（教員の熱意）、D-1（満足度）が高い。昨年度結果と比較してもB-3やD-1は大きく向上しており、教員個人の熱意のある教育改善が行われた結果だと分析できる。また、C-4（グループワーク等）は、後期のインターフェース科目で数値が高いが、これはインターフェース科目のⅠ～Ⅳの順次性の観点から、ⅠやⅢは導入教育や評価分析などが主であるのに対して、ⅡやⅣは実行や改善などの学生自身の活動が多くなることから、アクティブ・ラーニング的要素を学生自身が体験できていることを意味している。

### 【改善を要する点】

組織的な授業改善に対する取り組みとして、シラバス組織的な点検、非常勤講師を対象としたシラバス作成と授業評価に関するFD講演会、教員会議におけるFD講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA実施報告書の作成、および授業点検・改善報告書のオンライン入力を行った。しかし、いまだに項目A-2（授業時間外学習時間）やA-3（シラバスの活用）についての数値が低いため、時間外学習を促す課題設定や講義内ガイダンスでのシラバス説明の徹底などに取り組む必要がある。特に健康・スポーツ科目においてはA-2、A-3の数値の低さが目立つが、授業の性質上なかなか簡単に解決する問題ではないと思われるため、他大学の状況などを情報共有して、抜本的な対策を導入するなどの検討が必

要であろう。

### **芸術地域デザイン学部・地域デザイン研究科**

芸術地域デザイン学部では、ラーニング・ポートフォリオを導入し、学生が自らの学習活動について振り返ることによって、また、チューターの学修・生活指導の一助として、単位の実質化に役立っている。地域デザイン研究科では、研究指導実施計画書を学生と指導教員が作成し、副指導教員 2 名がチェックし、研究進捗を把握している。

学部及び研究科ともに、学生の履修状況、研究発表成果、また各種アンケート調査から、教育の状況についての点検・評価及び教育の質の改善・向上を図るための体制が整備され、機能していることを確認し、学習成果が上がっている。

### (3) 次年度の授業改善目標（学部・研究科等別）

#### 教育学部・学校教育学研究科，文化教育学部・教育学研究科

次年度の改善目標は，第一に，学生による授業評価アンケートの回答率の向上である。この目標は例年挙げられているが，大きな改善が見られない。昨年度に引き続き，教員は講義で学生にアンケートの記入するようにアナウンスしているが，やはり大きな効果は見られない。今後も回答率を向上させる努力を続けるとともに，授業時間中にスマホ等による入力時間を確保するなど，新しい方法をその是非も含めて検討する必要がある。

第二の改善目標は，標準版ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップの受講促進である。今年度末までに標準版ティーチング・ポートフォリオ作成・更新率が 15.2 %となり，目標の 12 %を達成できた。目標値の達成に留まることなく，標準版ティーチング・ポートフォリオの作成・更新率を更に高めるよう教員の参加を促す必要があろう。

#### 経済学部・経済学研究科

第1に，上記の「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示された改善を要する点の改善を目標とする。

第2に，学生による授業評価アンケートの回答率が低いことから，学生への周知の徹底などにより授業評価アンケートの入力率向上に取り組むことを目標とする。

第3に，ラーニング・ポートフォリオの入力率向上に取り組む，学生および各教員に対してラーニング・ポートフォリオのより積極的な活用を促すことを目標とする。また複数の科目においてルーブリック評価の導入を図る。

#### 理工学部・工学系研究科

平成31年度に学士課程と博士前期課程を改組することが決まったため，改組後の「学部・研究科の目的」を策定したうえで，改組後カリキュラムの詳細確定に向けて最優先で取り組む必要がある。特に，改組後カリキュラムの特徴の一つである共通教育について，実施体制を整備しなければならない。その他，個別案件として下記のような事項の改善に取り組む。

- ・ 平成30年度より開始される大学院教養教育プログラムの教育内容を精査し，改善点を抽出する。
- ・ 平成30年度より開始される大学院先行履修制度について検証し，改善点を抽出する。
- ・ 平成30年度も引き続き，アクティブ・ラーニング導入調査を実施し，教務専門委員会と連携して改善する。

- ・ 修士論文におけるルーブリック評価の合理的かつ効率的な運用を図る必要がある。

## 農学部

「(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上に取り組み、学習管理を支援するラーニング・ポートフォリオの活用を促す。また、該当する科目について、ルーブリック評価の導入を図る。

## 農学系研究科

「(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。また、該当する科目（特別研究）について、ルーブリック評価の導入・定着を図る。

## 全学教育機構

平成 30 年度には、教員の退職・教員の配置換えなど大幅な異動、そしてインターフェース科目に新しくサブスペシャリティコースの設置が予定されているため、これらに伴う開講科目の数や内容の大幅な変更が行われる。このような状況下においても、質の高い授業を提供できるよう、必要に応じて開講数や担当者の調整を図りながら継続的な教育改善を実施する。

## 芸術地域デザイン学部・地域デザイン研究科

平成 30 年度に向けて、学生へのラーニング・ポートフォリオの浸透をさらに図っていく必要がある。また、チューター側のコメント入力率、学生の入力率は平成 28 年度に比べ上昇したが、100%の達成を目指す方策を検討する。地域デザイン研究科においては、副指導教員の指導への関与をさらに明確化する必要がある。また、研究指導の実質化に向け、オンライン上ラーニング・ポートフォリオ入力による研究指導実施報告の記載内容の充実と複数指導体制の実質化等により、修士全員がもれなく研究成果を上げていけるようにする必要がある。

芸術地域デザイン学部では、各コースに所属する教育委員が授業アンケートの入力率について積極的に各教員に呼びかけ、さらに入力率を上げるよう改善する必要がある。

地域デザイン研究科では、研究実施指導報告書に記載する学生の研究経過報告を詳細にし、さらに入力率を向上させ、教員とのフィードバックを定着させる必要がある。

表1 部局別の授業評価アンケート回答率(独自形式アンケートは除く)

	平成29年度前学期			平成29年度後学期		
	回答	対象数	回答率	回答数	対象数	回答率
教育学部	110	124	88.7%	102	126	81.0%
文化教育学部	178	227	78.4%	129	278	46.4%
芸術地域デザイン学部	49	60	81.7%	68	80	85.0%
経済学部	105	132	79.5%	131	184	71.2%
理工学部	208	225	92.4%	231	260	88.8%
農学部	99	108	91.7%	92	101	91.1%
全学教育機構	374	406	92.1%	312	356	87.6%
全体	1,123	1,282	87.6%	1,065	1,385	76.9%
学校教育学研究科	25	26	96.2%	47	56	83.9%
教育学研究科	0	0	-	0	3	0%
地域デザイン研究科	47	60	78.3%	35	51	68.6%
工学系研究科	143	185	77.3%	102	141	72.3%
農学研究科	59	77	76.6%	58	104	55.8%
全体	274	348	78.7%	242	355	68.2%

通年の講義については後期に含めている。

受講者が一人でも回答していれば回答している科目数とする。

表2 医学部の授業評価アンケート実施率(独自形式アンケートは除く)

	平成29年度		
	実施数	対象数	実施率
医学部	131	133	98.5%
医学系研究科	88	88	100%

表3 部局別の独自形式アンケート実施科目数

	前学期	後学期
経済学部	2	2
理工学部	2	2
全学教育機構	0	1
工学系研究科	0	1
全体	4	6

**佐賀大学教育学部**  
**平成 29 年度「学生による授業評価アンケート」**  
**組織別分析結果報告**

教育学部は平成 28 年度に文化教育学部から名称変更したばかりであり、今回の授業評価アンケートの対象となったのは平成 28 年度および 29 年度入学の 1 年生、2 年生の授業のみである。このように新カリキュラムとなって 2 年目の段階で分析できることは限定的であるが、次頁以下に示す評価内容を全体として見た場合、比較的良好な結果を得たと解釈できる。例えば、D-1 の授業全体の満足度（授業が満足できるものだったか）では、全てのカテゴリーにおいて「そう思う」と「全くその通りだと思う」割合は前学期、後学期とも 80 ~85 %の範囲で、教育学部の授業は非常に高い満足度を得ている。4 年間のカリキュラム全体を通じて高い評価を維持していくことが重要であり、今後の学年進行に伴ってどのように変化していくのか注意して観察する必要がある。

また、佐賀大学では学生による授業評価がウェブ入力方式になって以来、回答率の低さが課題となってきた。教員による指導の徹底を呼び掛けてはいるが、やはり学生の自主的な入力に期待している限り、大幅な回答率の向上は見込めないであろう。引き続きの検討課題である。

アンケートの質問項目は、学生の受講態度についての自己評価に関するものと授業担当教員に対する評価に分かれる。学生自身の評価では、予習・復習の時間、授業の目的の把握、成績基準の把握、授業内容の理解、内容への興味、満足度などが項目として挙げられている。一方、教員への評価では、教材や I C T 環境活用の適切性、シラバスの有効活用、適切な授業の進み方、質問への適切な対応などが項目に挙げられている。

以下の報告は、授業アンケートの各質問項目についての結果のデータとそれにもとづく分析とコメントである。

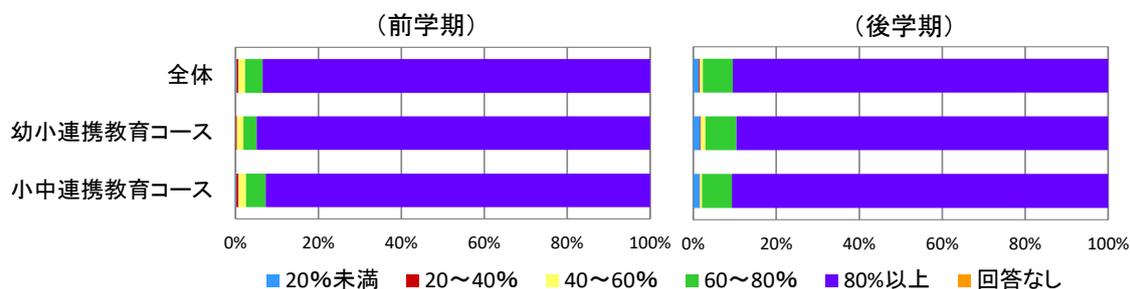
## 教育学部組織別授業評価分析

<分析の仕方>

教育学部は1つの学校教育課程の中に、幼少連携教育コースと小中連携教育コースの2コースがある。アンケート結果は、各コースのみに開講されている科目と両コース共通の科目（全体）として示した。教育学部は平成28年に発足しており、アンケート対象学年は第1学年と第2学年のみとなっている。

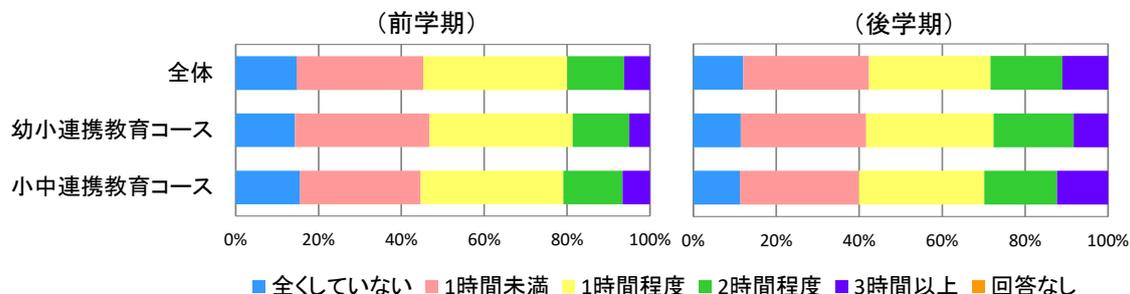
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



昨年度は第1学年のみだったため、全体で前学期・後学期とも高い出席率（出席率80%以上が90%以上）であった。今年度は学年が進行し、出席率の低下が懸念されたが、昨年度と同様に全体で高い出席率（出席率80%以上が前学期93.5%、後学期90.5%）を維持している。ただ、後学期になると出席率20%以下の割合が増加しており、このような学生に対する対応が必要であろう。まだ2学年分であるため、今後の学年進行による動向を注視し、高い出席率を保つ必要がある。

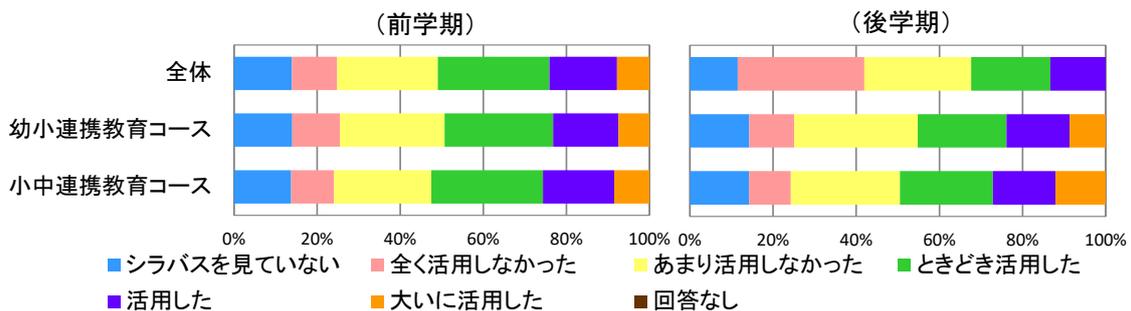
#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



前学期の授業時間外学習を全くしていない割合は約15%、1時間未満の割合は約30%であり、2時間以上の割合は約20%である。後学期は1時間未満の割合は前学期と変わらない

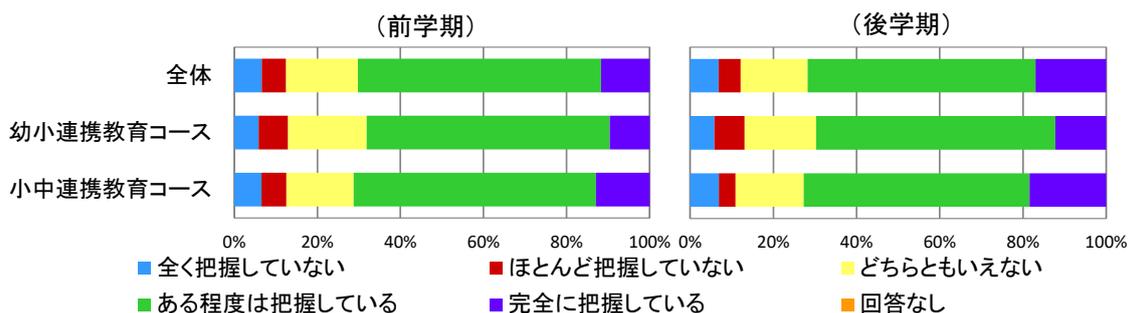
いが、授業時間外学習を全くしていない割合は約 10 %となっており、前学期と比較するとわずかに減少している。一方、2 時間以上の割合は前学期より 10 %程度増加し、約 30 %になっている。このような傾向は 2016 年度も見られ、特に 1 年前学期にはオリエンテーション的内容を持つ講義があり、後学期に専門性の高い講義や実験、演習などのレポートを作成するような授業が多いと推測される。また、前学期の 1 時間未満の割合は 2016 年度前学期（60 %程度）よりも減少しており、学年が進行し講義内容が高度化したためと考えられる。

#### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを見ていない割合と全く活用しなかった割合の合計は、全てのカテゴリーで前学期約 25 %、後学期は各コースで約 25 %、全体では 40 %となっている。シラバスの活用の仕方が分からない受講者がいる可能性があることから、講義中に教員から何度か説明する機会を設ける必要があるだろう。また、教育学部は免許取得のための必修科目が多く、選択の余地が少ないため、学生はシラバスをあまり活用していない可能もある。

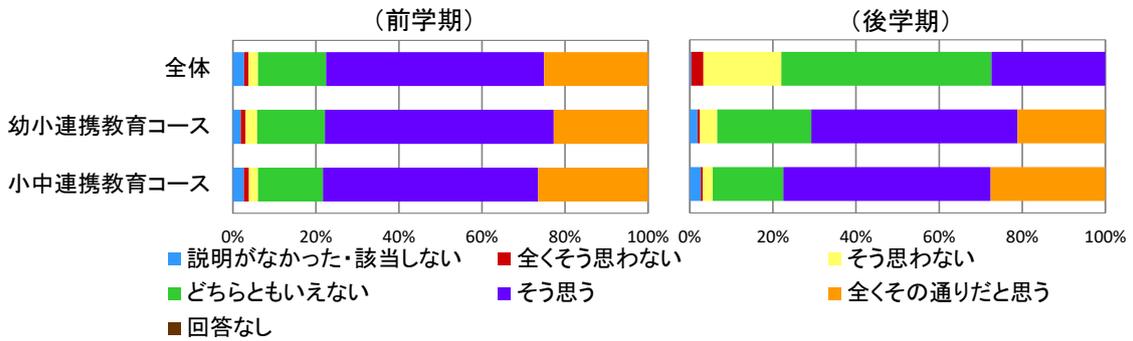
#### A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



両学期とも全カテゴリーで把握している割合は約 70 %と高い。A-3 のシラバスを見ていないと全く活用しなかった割合より、全く把握していないとほとんど把握していない割合は低下していることから、教員が講義の初回や講義中に、学習到達目標や成績評価基準を十分に説明していると考えられる。

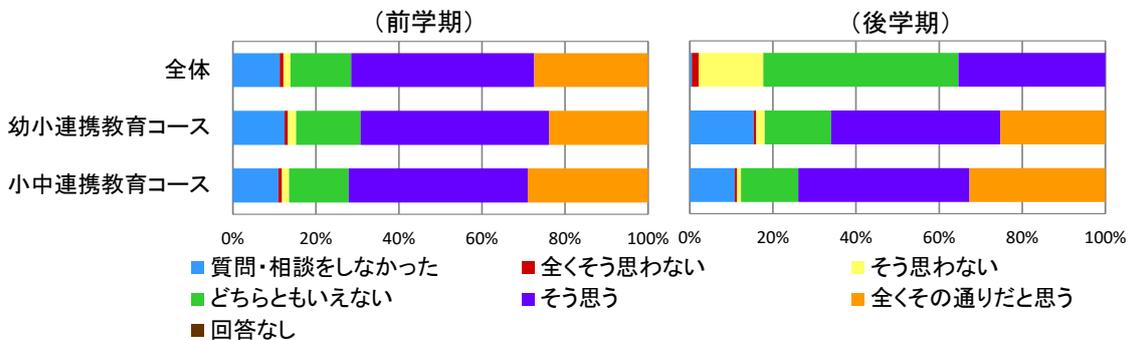
## B. 教員の対応

### B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



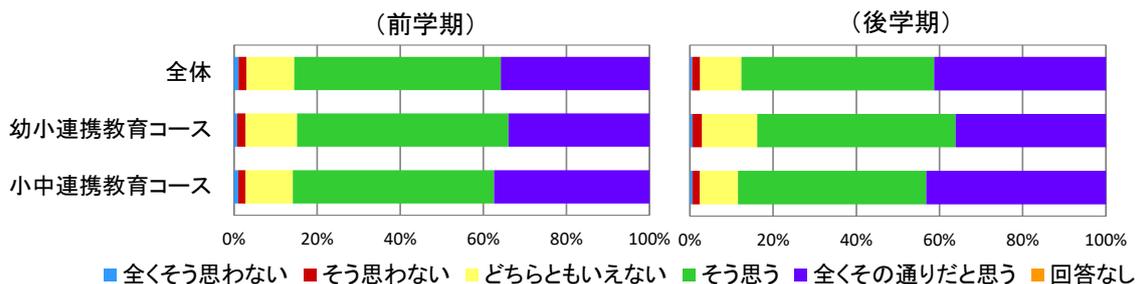
前学期はそう思うと全くその通りだと思う割合は80%に近く、後学期は各コース教員による教育方法や成績評価方法等の説明は大部分が有益であると回答している。A-4の結果と整合的である。両学期とも説明がなかった・該当しない、全くそう思わない、そう思わないという回答が見られることから、教員の適切な説明が必要であろう。また、後学期全体の結果は、どちらともいえないという回答が多くなっており、オムニバスなど複数の教員が担当する講義が多く、学生が評価しにくいと推測される。

### B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



後学期の全体以外は、そう思う、全くその通りだと思う割合が70%前後となっていることから、教員の対応については大部分の学生が満足しているようである。B-1と同様に全体の後学期はどちらともいえない割合が多くなっており、オムニバスなど複数の教員が担当する講義が多く、学生が評価しにくいと推測される。しかし、オムニバスの場合は担当教員間で、情報共有する必要があるだろう。

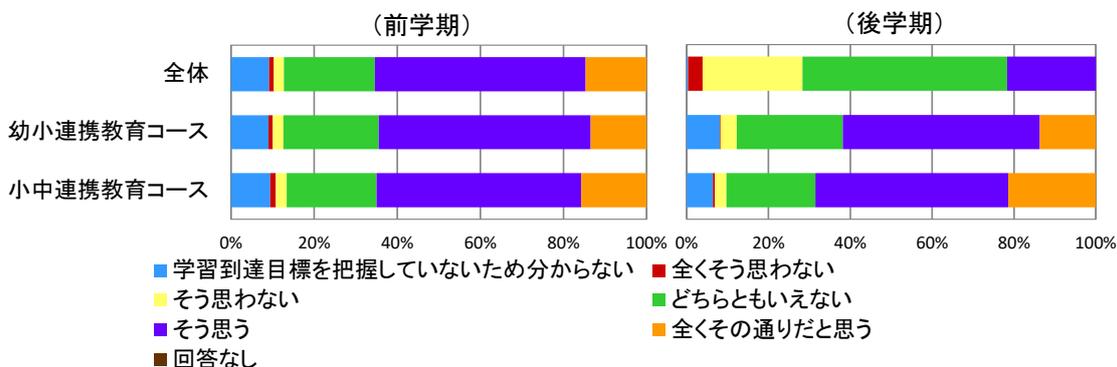
### B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



いずれもそう思う，全くその通りだと思う割合は80%以上となっており，教員の授業に対する意欲や熱意は十分に伝わっているようである。授業に対する態度も当然ながら，B-2の学生の質問等への誠実な対応も，この評価に反映されていると考えられる。

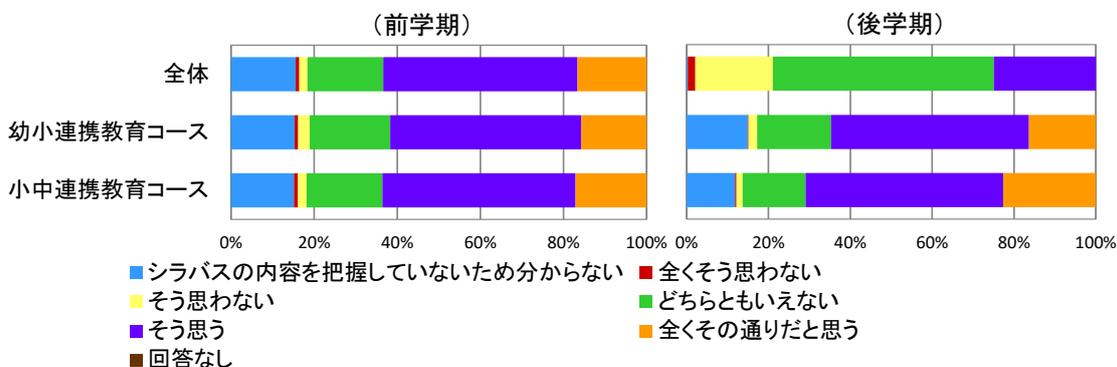
## C. 授業内容および授業方法について

### C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



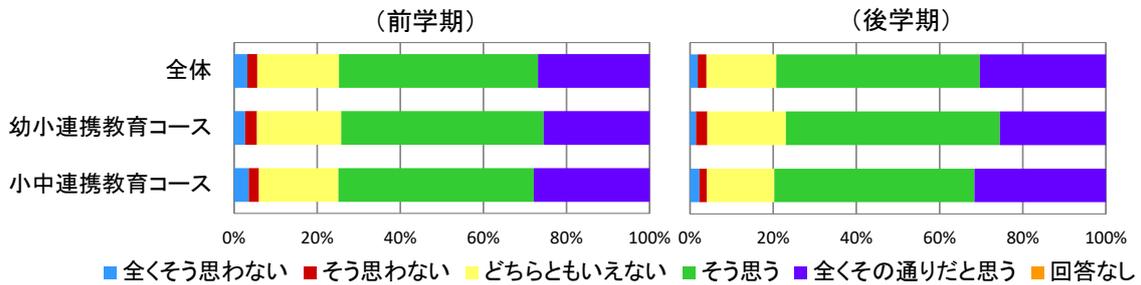
前学期はそう思うまたは全くその通りだと思う割合は、全ての科目で約 65%，後学期は各コースでは前学期同様の割合であることから、半分程度は学習到達目標を達成していると言える。一方、全くそう思わないまたはそう思わない割合は数%と存在しており、A-2 の授業時間外学習の時間が少ないことを反映しているかもしれない。学習到達目標を把握していない場合は、教員側からシラバスを見るように促すか、講義で丁寧に説明する必要があるだろう。

### C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



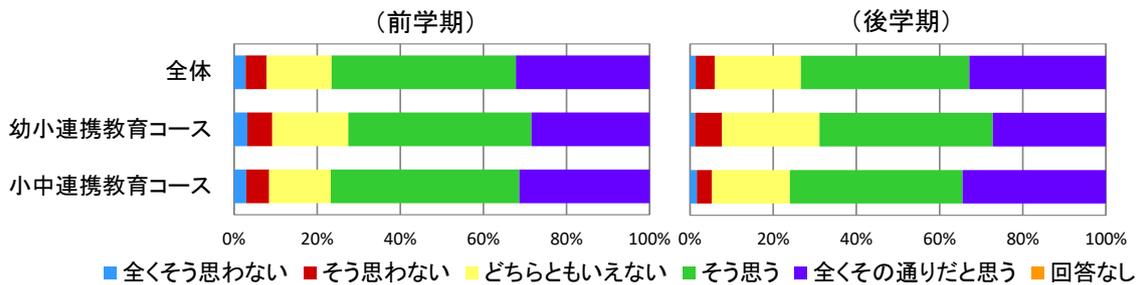
前学期はそう思うと全くその通りだと思う割合は約 60%であり、後学期は全体以外で約 60%を超えているため、シラバスに沿って講義が進められていると推測される。

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



そう思うと全くその通りだと思う割合は前学期で約75%，後学期で約80%と非常に高い数値を示し、教員は適切な教材やICT環境を提供しているといえる。

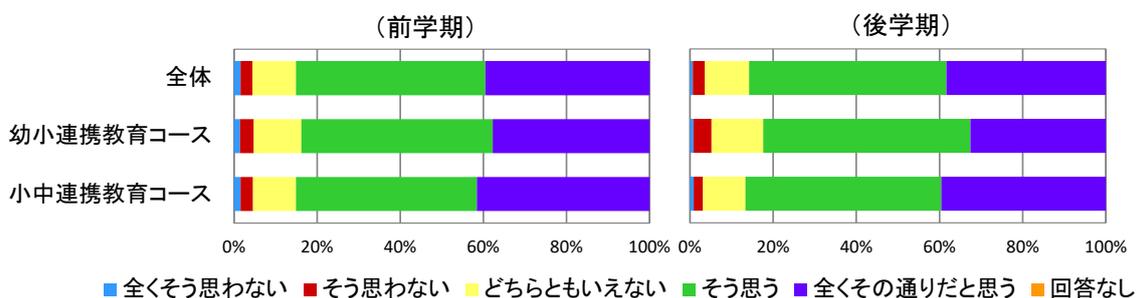
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



いずれもそう思う、全くその通りだと思う割合は70%程度となっており、教員は受講生に考える時間を与えており、アクティブラーニングを取り入れている教員が多いと考えられる。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



全てのカテゴリーにおいてそう思うと全くその通りだと思う割合は前学期、後学期とも80~85%の範囲で、教育学部の授業は非常に高い満足度を得ている。B-2（担当教員の質問や相談に対する対応）や、B-3（教員の講義に対する意欲や熱意が感じられたか）、C-3（教材やICT環境は授業の理解に役立ったか）の高い評価を反映していると考えられる。今後もこの高い満足度を維持する必要がある。

**佐賀大学文化教育学部**  
**平成 29 年度「学生による授業評価アンケート」**  
**組織別分析結果報告**

## 概要

H29年度は文化教育学部最終入学年度の学生が3年生です。在学年は3年生と4年生である。来年度は4年生のみとなり卒業研究のみという学生も多くなり、受講する科目数も大幅に減少するためデータとして活用できるのは今年度で最後と考えても良い。

回答方法がウェブ入力方式になって3年目を迎え、入力率は依然として低いようである。昨年度、紙媒体でアンケートを集めることを提案したが労力がかかるため、やはり実現は難しいようである。それでもアンケート分析するにあたりデータ数を押さえておかなければならない。データ数は学校教育課程で78人(在学学生数212人)、国際文化課程51人(在学学生数163)、人間環境課程109人(在学学生数149人)、美術工芸課程13人分(在学学生数74人)である。よって入力比率で言えば学校教育課程37%、国際文化課程31%、人間環境課程73%、美術工芸課程18%であることに留意しなければならない。人間環境課程は入力率が非常に高く、課程の入力指導が行き届いていたことが伺える。また、美術工芸課程は極端に少なく母集団を代表するデータ数になっていない。これをもってデータ分析を行うことに統計的意味はほとんどないと思われる。ただし、教員の授業点検・評価報告書を作成するときの意見として聞く程度の参考にはなるであろう。

このまま、ウェブ入力方式を続けることは大学側がアンケートを実施したかしないかを問うだけの根拠資料となるだけで、アンケートに対しせっかくまじめに回答してくれた学生の入力の苦労を無駄にしている。教育学部ではこの点を勘案し入力率向上の策をとってほしいと思う。携帯端末による回答もできるようになったので、授業最終日に授業評価アンケートに入力する時間を設けるなどの対策はとれる。

上述したように昨年にひきつづきアンケート回答率が非常に低く、信頼するデータ数を確保できていないため統計的信頼度はないことを認識したうえで、データを読んでいることを了承していただき、以下に各質問項目についての結果のデータとそれにもとづく分析とコメントを行った結果を報告する。

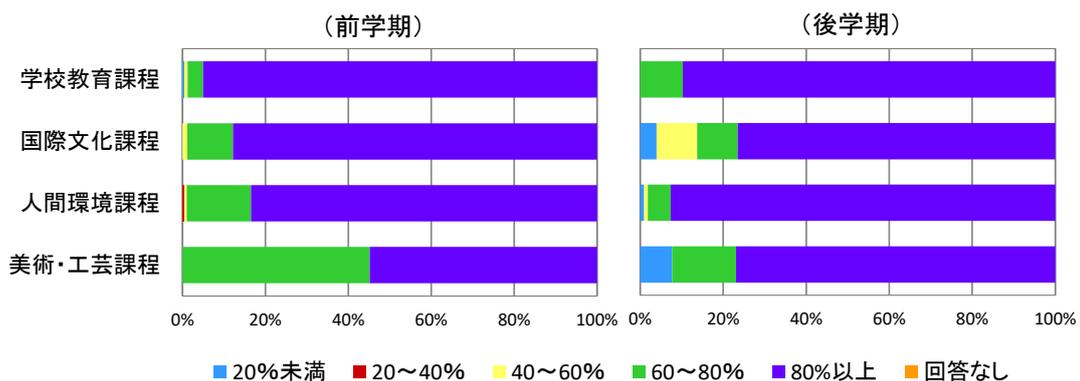
アンケートの質問項目は、学生の受講態度についての自己評価に関するものと授業担当教員に対する評価に分かれる。学生自身の評価では、予習・復習の時間、授業の目的の把握、成績基準の把握、授業内容の理解、内容への興味、満足度などが項目として挙げられている。一方、教員への評価では、教材やICT環境活用の適切性、シラバスの有効活用、適切な授業の進み方、質問への適切な対応などが項目に挙げられている。

## 分析の仕方

文化教育学部には、学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程、美術・工芸課程の4課程がある。本分析ではこれらの課程のアンケート結果を比較して、課程ごとの特徴を抽出した。課程ごとの差異が認められない場合はすべての課程に見られる特徴を述べた。必要に応じて、前年度のデータとの比較も試みた。

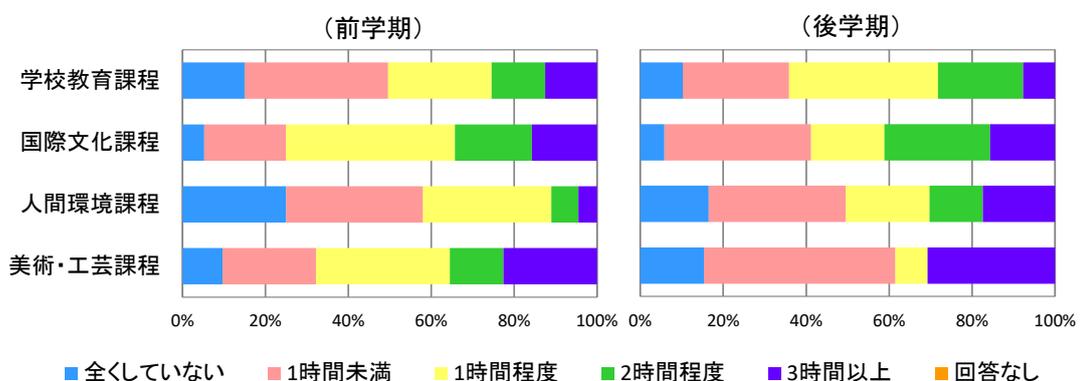
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



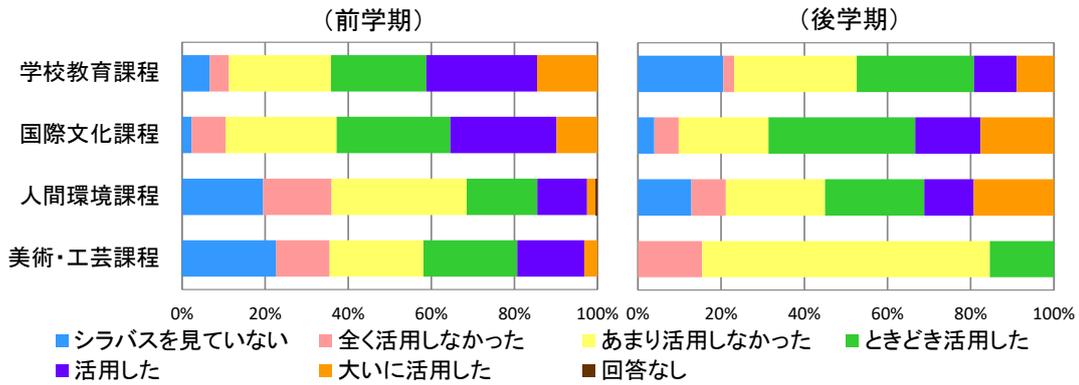
美術・工芸課程においては、他の3課程と比べて出席率が低く、これは前年度、前々年度と変わらぬ傾向である。毎年、同じような傾向があるのは美術作品の制作や卒業研究に時間を費やし、授業を犠牲にすることが考えられていた。今年度は後期に出席率は上がっており国際文化課程と同程度になっており美術・工芸課程の出席率が特に悪いとは言えなくなっている。また、人間環境課程の後期の出席率は非常によくなっている。

#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



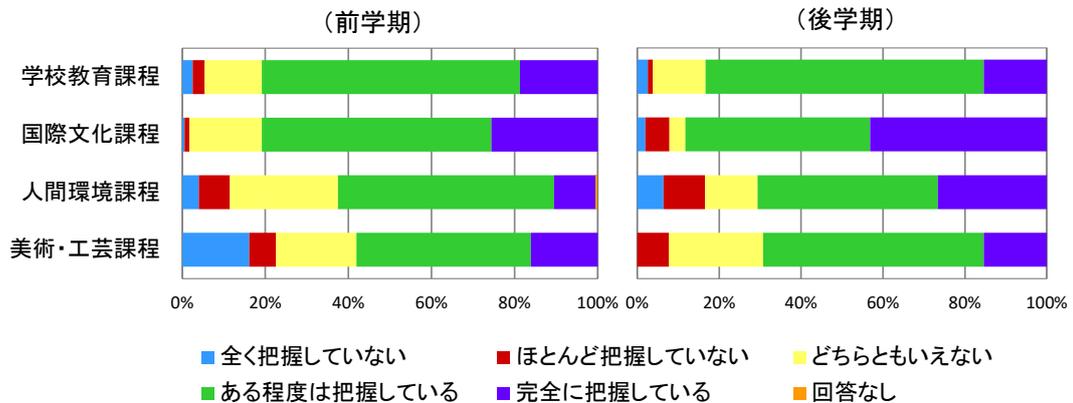
国際文化課程の【全くしていない】が前、後期とも5%程度で特筆すべき点である。昨年と比べると美術工芸課程は同項目が前後とも20%を超えていたが、本年度は20%を切ったことが改善点である。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



この設問の意味が不明であり、予習・復習にシラバスを活用する意図がわかりません。シラバスはどんな内容を習うか、あるいは習ったかをもくじ的な活用と思う。また【シラバスを見ていない】の項目は授業の初回到教員がシラバスを説明すべきで、教員側からの対処でこの項目は0%にできる。美術・工芸は後期において同項目が0%になっているのは教員がそのような指導をしたことが伺える。

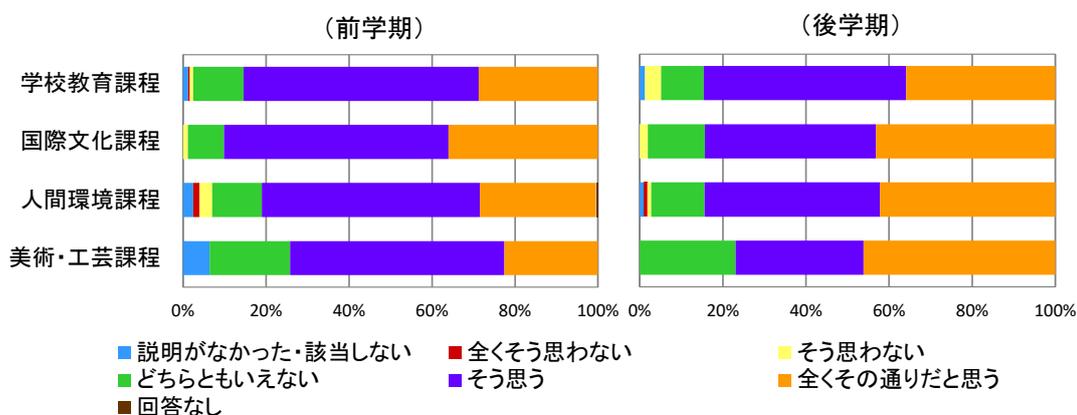
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



7割から8割の学生が学習到達目標や成績評価基準を把握しており、シラバスを見た見ないに関わらず、そのことについて教員が説明したことが裏づけられている。

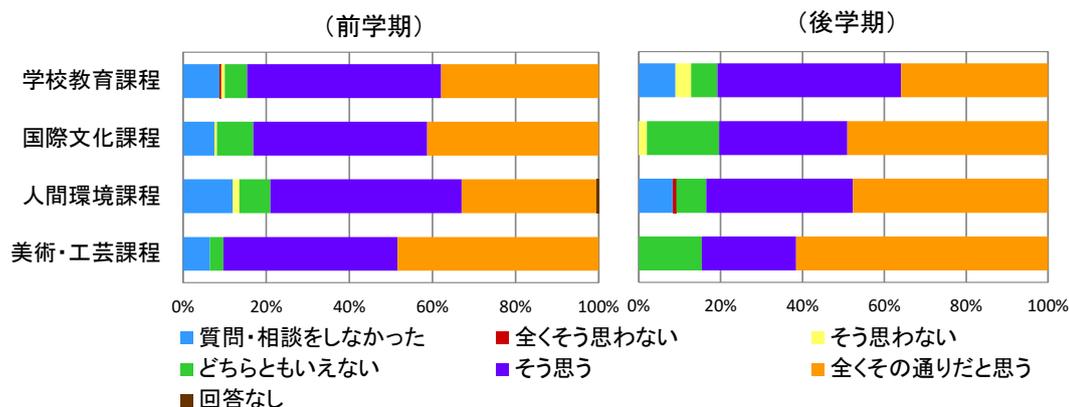
## B. 教員の対応

### B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



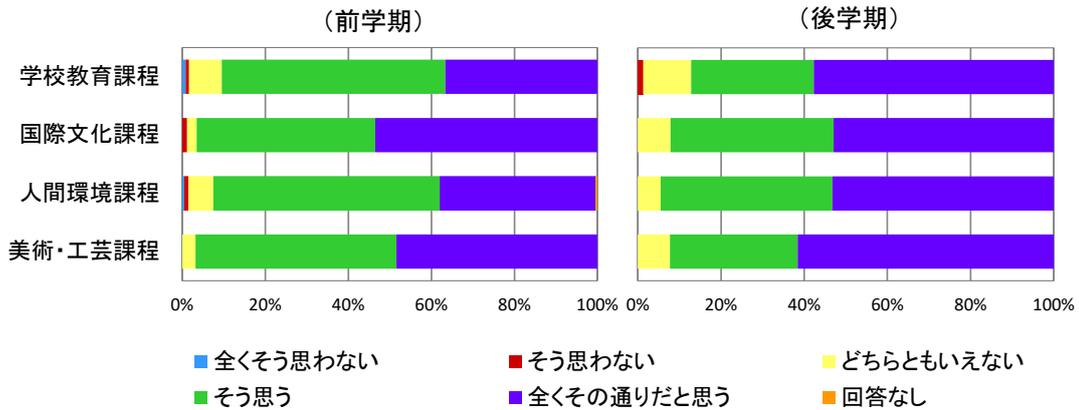
8割程度が肯定的意見であるが、教育理念に基づいた教育方法を学生に説明しているのかは疑問である。設問が成績評価方法の説明と並列になっているのでそれらに対して回答した可能性は高いと思われる。

### B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



いずれの課程においても、8割以上が肯定的な回答が出されている。特に美術・工芸課程が、前・後期ともに昨年度に引き続き、高い割合を示している。これは美術・工芸課程の科目が実習としての性格が色濃く、教員と学生の関係が親密であるのは毎年と変わらない。学校教育課程が昨年は80%を大きく下回っていたが、本年度は他の課程とそんな色はない。

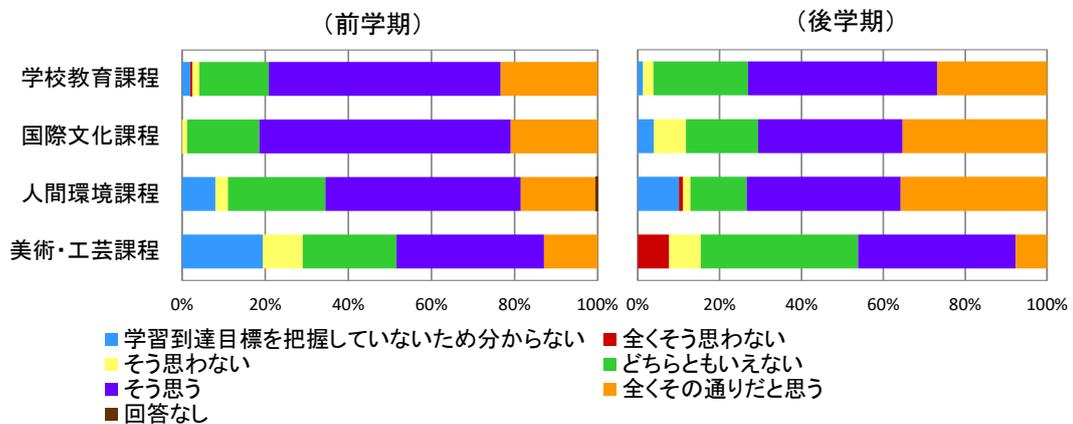
### B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



どの課程においても、肯定的回答が90%程度ある。前項の設問に対応して、学生との対話が多い美術・工芸課程は学生から高い評価を得ている。否定的回答が人間環境課程と学校教育課程と国際文化課程にわずかに存在する。全体的には、教員の授業に対する意欲が高いものと思われる。

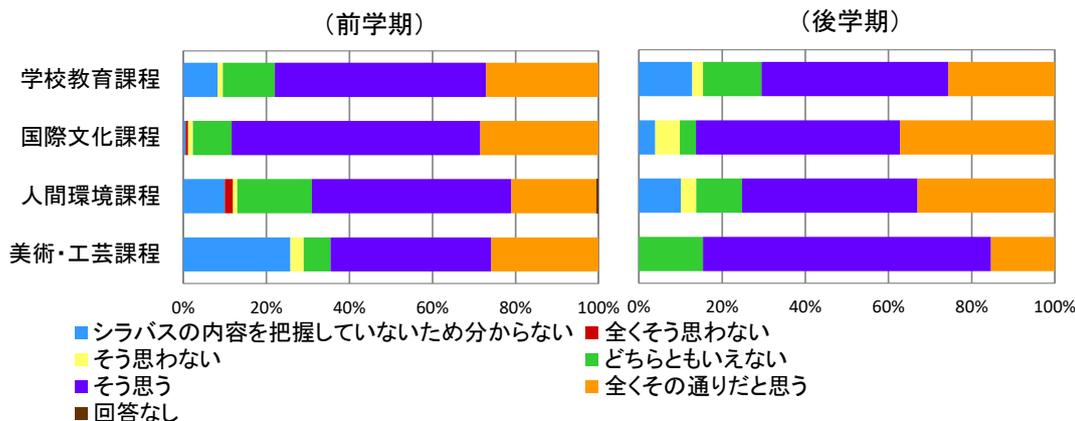
### C. 授業内容および授業方法について

#### C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



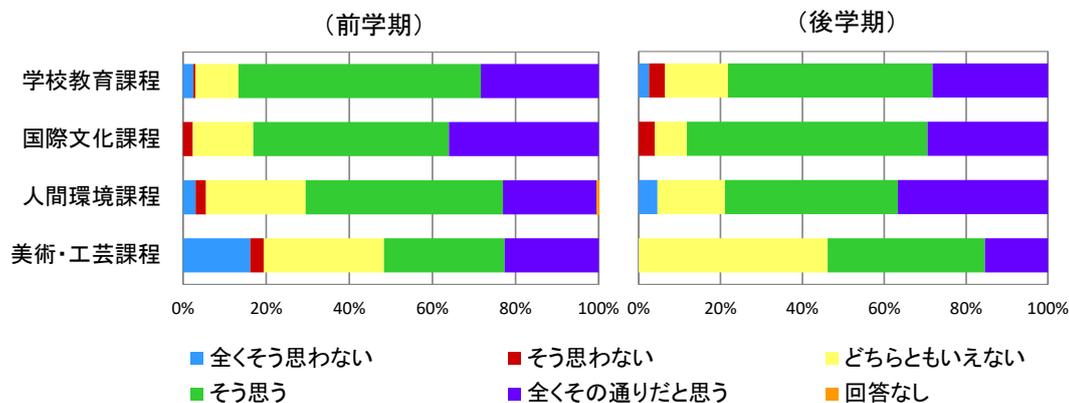
学生の肯定的回答はどの課程においても前期が高く、後期になるといずれも10%程度低下している。これは前期の開講初回で説明するが、後期になると教員が慣れてきたため初回説明を怠ってしまったことが類推される。昨年度と比較して美術工芸課程の達成度は60~70%から50%に低下している。否定的項目は10%程度存在するところである。特に美術工芸課程は前期で30%、後期18%程度あるので改善を望む。

## G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



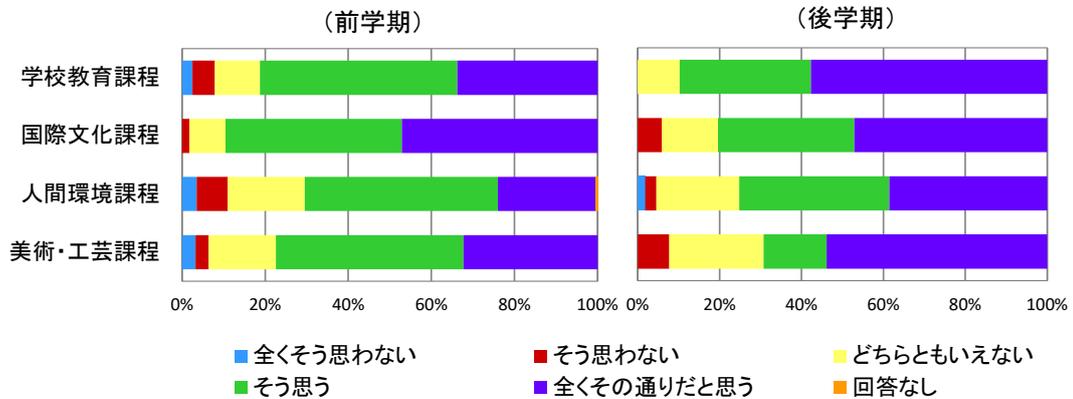
前期において美術・工芸課程では、他課程に比べて、【シラバスの内容を把握していないため分からない】という回答割合が多い。美術・工芸課程の授業科目は、頭で理屈を理解するのではなく、感覚的な授業が多く、感性で学ぶという特性からシラバスをいちいち読まないという学生が多いというところだろう。後期においてはその割合がゼロ%になっており改善がみられる。悪い課程においても70%以上はシラバスに基づいていたことが分かる。

## G-3 教材（教科書，配布資料）やICT環境（LiveCampus，講義配信システム，各授業の講義用Webページ，ネット授業，eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



この設問の回答が何を抽出しようとするものか理解できない。ICT環境が授業理解に役立ったことを拾い出したいなら教科書を外すべきである。昨年度指摘したようにICT環境が授業に役立ったか否かという問題以前に、ICT環境が授業で利用されていないという現状もある。ICT環境が必ずしも理解度を上げるものであると認識する教員も少なくない。この質問自体意味をなさないし、削除すべき項目である。

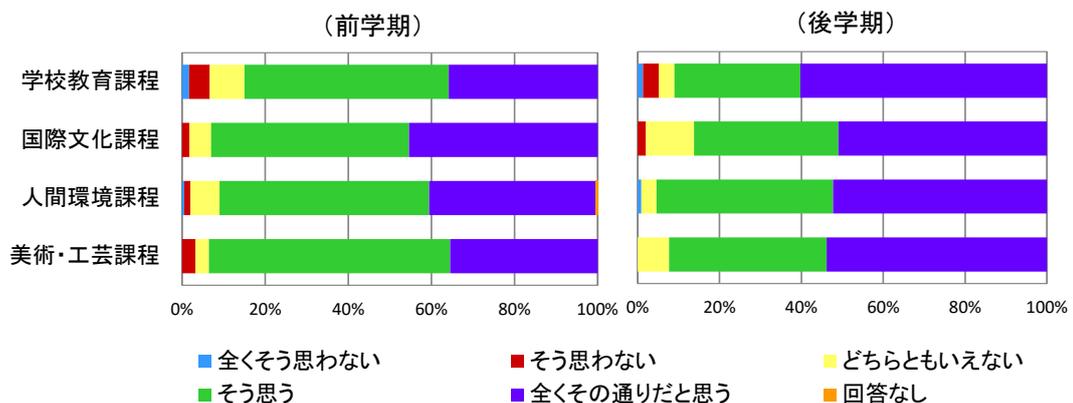
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



この質問項目はアクティブラーニング促進の度合いを抽出する目的だと推定する。昨年度に比べると教員がアクティブラーニングの導入を意識し、講義に取り入れてように思われる。昨年度の後期を比べてみると肯定的回答は学校教育課程 80→90%, 国際文化課程 75→80%, 人間環境課程 65→75%, 美術工芸課程 75→70%になっていた。【全くその通りだと思う】という回答は 35→55%, 35→45%, 15→40%, 35→55%と大幅な上昇をしていた。

#### D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



昨年にひきつづき美術・工芸課程の学生が、特に高い満足度を感じていることが分かる。美術・工芸課程のアンケート結果は、学生到達目標の達成率が一番低く、出席率が一番低く、シラバスの内容を知らなかった、予習や復習の時間がワーストであったにもかかわらず、1番の満足度を得ている。この事実は、良い授業とは教えて行く内容であろうし、学生自身がいかに考えたかが問題であり、目標を知っていたか知らなかったは問題ではないことは明らかであり、アンケートが授業を改善するための結果になっていないことを示唆している。

る。概して満足度は 80～90%の値を得ており教員側も満足を感じる結果となっているが、項目「まったくそう思わない」、「そう思わない」が5%程度存在するのでこの点をつぶしていく必要があるかと思う。

**佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)**

**平成 29 年度「学生による授業評価アンケート」**

**組織別分析結果報告**

## 概要

大学院学校教育学研究科（教職大学院）は平成 28 年度に新設され、今回の報告書の対象となった平成 29 年度の授業は研究科としては 2 年目である。また、従来の大学院とは異なり専門職大学院ということで、教員も研究者教員と実務家教員から構成され、1 人の教員単独で行われる授業もあるが、多くはティームティーチングを採用し、複数名の教員で担当している。また、近年の教育政策の動向や学びのスタイルの変容に伴って、学校教育学研究科でも多くの授業でアクティブ・ラーニングや ICT の利活用を通じた授業が行われている。

学校教育学研究科は、教育実践探究専攻の下、授業実践探究コース、子ども支援探究コース、教育経営探究コースの 3 つのコースから構成される。所属院生数は、一般院生（大学卒業後、教員になることなく大学院に進学した院生）と佐賀県教育委員会より派遣された現職教員院生から構成されており、コース、一般・現職、修士 1・2 年別の人数は次に示す図のようになっている。修士 1 年が 20 名、修士 2 年が 21 名、計 41 名である。

表 1 各コース、一般・現職、修士 1・2 年ごとの大学院生の構成

		修士 1 年	修士 2 年
授業実践探究コース	一般	9	8
	現職	3	3
子ども支援探究コース	一般	1	2
	現職	1	1
教育経営探究コース	現職	6	6

報告書作成者作成

1 年生時の授業数は実習を除いて、共通必修科目が前学期 6 後学期 4、授業実践探究コースの専門科目が前学期 1 後学期 5、子ども支援探究コースが前学期 4 後学期 3、教育経営探究コースが前学期 1 後学期 4 となっている。2 年生時は、現職大学院生の通学が週 1 回木曜日に限定されているということもあり、これも実習を除いて前後期 1 つずつとなっている。今回アンケートの対象となっているのは、所属する大学院 1 年生全員の共通必修科目 10 科目である。アンケート回答率は、本報告書作成に際して提供された資料からは特定できない。

アンケートの質問項目は、学生の受講態度についての自己評価に関するものと授業担当教員に対する評価に分かれる。学生自身の評価では、予習・復習の時間、授業の目的の把握、成績基準の把握、授業内容の理解、内容への興味、満足度などが項目として挙げられている。一方、教員への評価では、教材や ICT 環境の使用の適切性、シラバスの有効活用、適切な授業の進み方、質問への適切な対応などが項目に挙げられている。サンプル数の少なさはあるが、いずれの項目も大変良好な結果を得たと考えている。但し、前年度が前後学期で数値にさほどの違いが生じていなかったのに対し、当該年度は、前学期は全体的に引き続き高評価

を得ているものの、B・Cの質問項目において後学期になるとそれが減少するという傾向があった。但しこれは、否定的な回答が増えたということではなく、中庸的な回答（「どちらともいえない」）が増えたということであって、これは後述の各質問項目を見れば明らかである。総合的に見て、昨年度に引き続き高い評価を得たと解釈できる。

以下の報告は、授業アンケートの各質問項目についての結果のデータとそれにもとづく分析とコメントである。

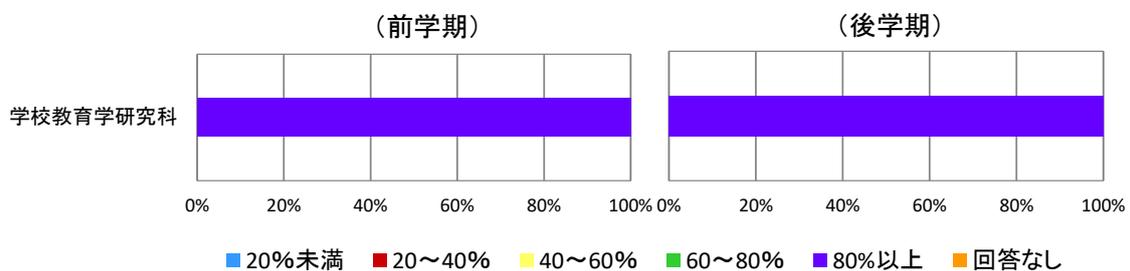
## 学校教育学研究科組織別授業評価分析

### 分析の仕方

上述の通り、学校教育学研究科は3つのコースから構成されるが、それらは「教育実践探究専攻」という形で同じ専攻組織に組み込まれている。院生数や授業数が学部比べると非常に少ないため、報告書作成の際に提供された資料にコースごとの評価結果がなかったこともあり、ここでは教育実践探究専攻全体としての評価結果の分析を行った。

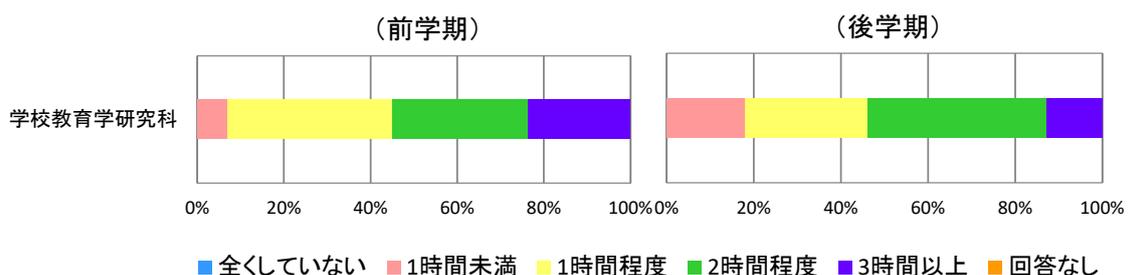
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



前後学期ともに回答者全員が80%以上の出席率ということで、院生数が少ないということもあるが、大変良好な結果を得た。

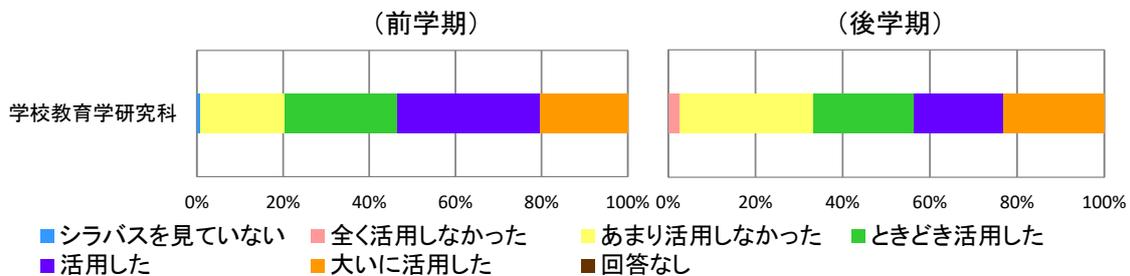
#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



授業時間外学習時間としては前学期が1回の授業につき1時間未満が7.1%（前年度30.2%、以下同）1時間程度が37.8%（42.7%）、2時間程度が31.5%（11.5%）、3時間以上が23.6%（14.6%）であり、後学期がそれぞれ17.9%（36.5%）、28.2%（28.8%）、41.0%（15.4%）、12.8%（7.7%）ということであった。上述の通り教職大学院は、院生の半数を占める現職教員院生が1年目は年間を通して大学院に通学し研究することができるが、2年目は週1日しか通学できないため、必然的に必修科目は1年次に集中することとなる。また、1年次

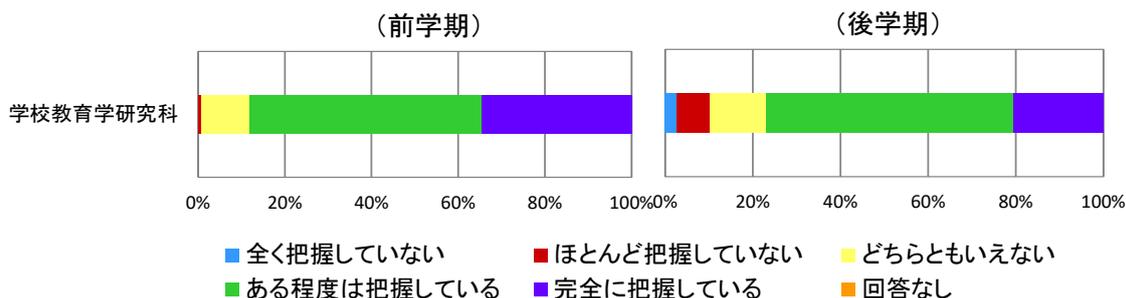
の共通必修科目数は、前学期で8つ、後学期で2つであるが、必修以外にもコース科目もコースごとに履修しなければならない。故に、数値だけを見ると従来の大学院生と比べた場合、やや学習時間が短いようには感じられるが、それは院生の熱意の低さの反映というよりは、授業そのもののコマ数が多いため予習復習等に割く時間が物理的に限定されると解釈すべきだろう。むしろ、前年度と比べた場合の当該年度の特色としては、1時間未満の割合の減少率と2時間程度・3時間以上の増加率の大きさにあると言えよう。この違いが院生の関心や意欲によるものか、あるいは教員の熱意や工夫によるものかは定かではないが、結果としては大きく改善しているということは言えるだろう。なお、大学院であるため当たり前と言われるかもしれないが、前後期ともに時間外学習を「全くしていない」とした回答率はゼロである。

### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスの活用率に関しては、前学期が80%近く、後学期が70%近くの回答者が肯定的な回答をしている。後学期に若干割合が減少しているのは、大学院の授業にも慣れてきたということが理由として考えられる。しかし、上述の通り全員習得が求められる共通必修の授業は3コースに跨って開講され、教員も各学生の所属コースの教員ではない場合も多いこと、他方で後期の授業はその多くがコース別の授業となっており、そこでは所属コースの教員による指導を受けることになっていることから、シラバスを参考にする以外に担当教員とのコンタクトを通じた情報の入手が多かったためと考えられる。それは小所帯の教職大学院の特色であり、それだけ懇切丁寧な指導を行っているという解釈も可能であろう。いずれにせよ、数値そのものとしては良好なものと考えられる。

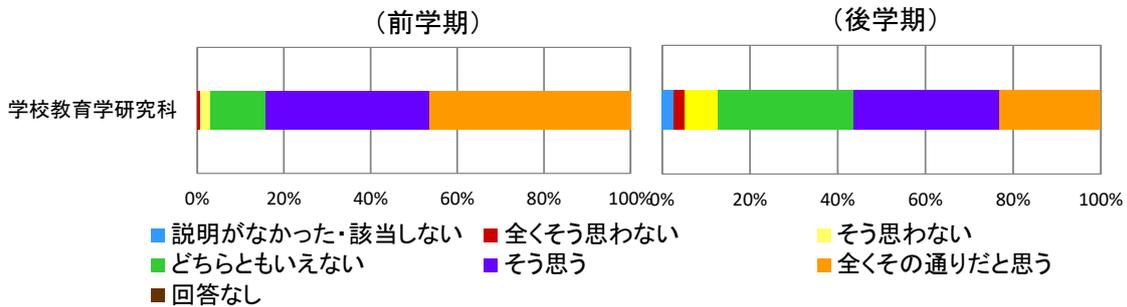
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準の把握度としては、前学期は肯定的な回答をしている者が80%を大きく超えている反面、後学期は若干80%に満たない数値となっている。これは、上述の通り後学期はコースごとの授業が多く組まれており、それは各コースの専門性がより深まった授業が展開されていることを意味している。そのため前学期に比べ到達目標や成績評価基準に対する理解度が若干下がっているということが考えられるが、他方で1年次一般院生のほとんどが教育学部以外の学部を卒業しており、教科専門領域（数学や理科、体育など）の専門知識の深さに比べると、いわゆる教員養成学部卒業生が有している専門性が若干低めに出たのかもしれない。しかしそれは今後高めていくことが十分可能であるし、現時点でも決して低い数値ではない、むしろ数値としては高くでていることは、言明しておきたい。

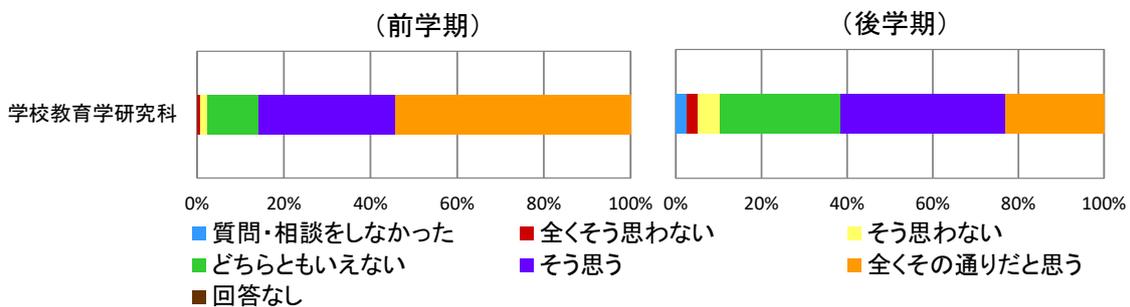
## B. 教員の対応

### B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



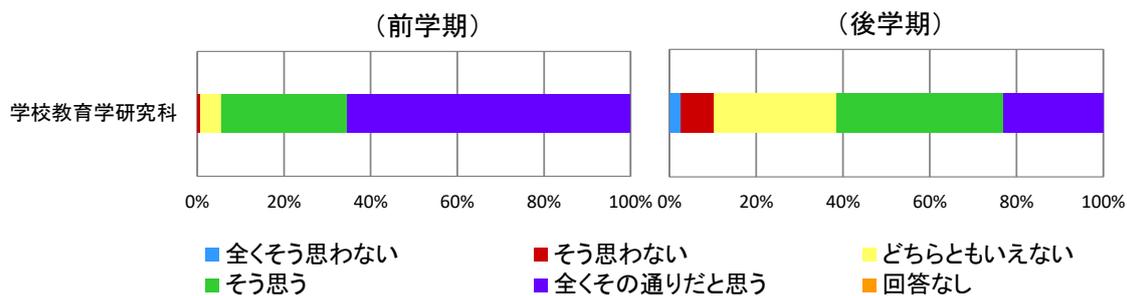
この質問項目に対しては、前学期は 80%以上が肯定的な回答をしているが、後学期は肯定的な回答が 60%を下回る結果となった。前年度は、前学期で 90%以上、後学期でも 80%以上が肯定的な回答をしていた。しかしこれは否定的な回答が増えたということではなく、前年度後期に「どちらともいえない」と答えたのが 7.7%だったのに対し、当該年度は 30.8%となっており、中庸的な回答が増えたということである。

### B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



この質問についても、前学期は 85%超の回答者が肯定的な回答を寄せているが、後学期にはそれが 60%台に下がっている。前年度は、前学期で約 90%、後学期でも約 80%の回答者が肯定的な回答を寄せている。しかしこれは否定的な回答が増えたということではなく、前年度後期に「どちらともいえない」と答えたのが 15.4%だったのに対し、当該年度は 28.2%となっており、中庸的な回答が増えたということである。

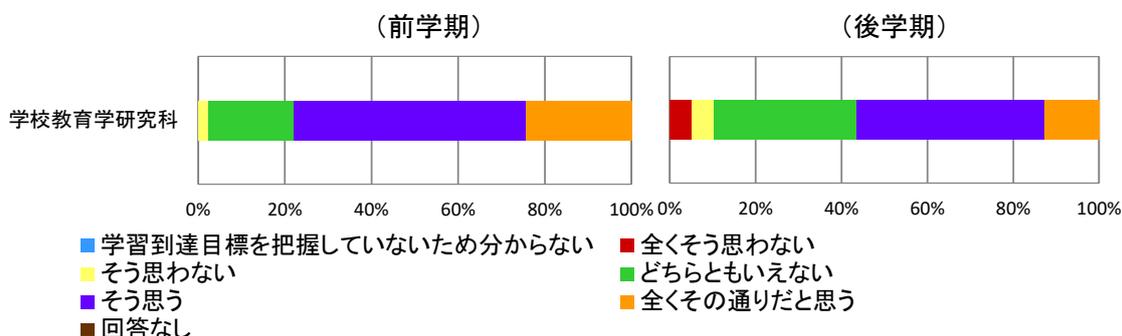
### B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



教員の意欲等についても、肯定的な回答が前学期では 95%以上あったものの、後学期ではそれが 60%に下がっている。前年度は、前学期で 90%以上、後学期でも 80%以上が肯定的に回答していた。しかしこれは否定的な回答が増えたということではなく、前年度後期に「どちらともいえない」と答えたのが 9.6%だったのに対し、当該年度は 28.2%となっており、中庸的な回答が増えたということである。

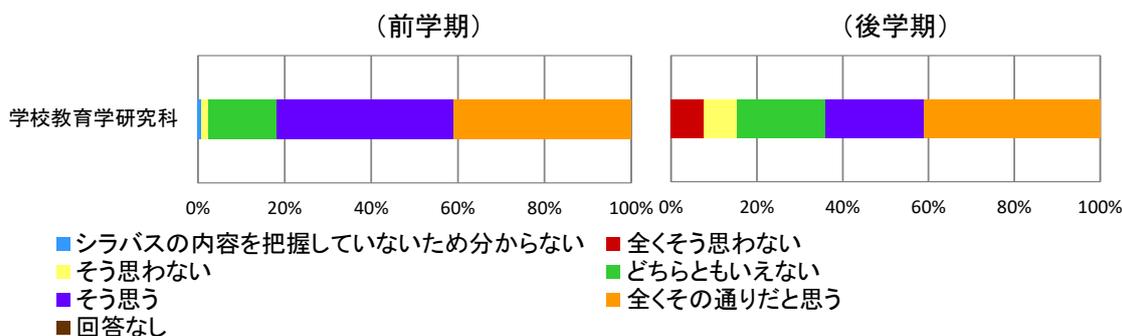
## C. 授業内容および授業方法について

### C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



学習到達目標達成に関する自己認識として、前年度は肯定的な回答は前学期で 70%後半、後学期はやや減少して約 70%であった。当該年度は、肯定的な回答が前学期では同じく 70%台後半であったが、後学期は 60%を割り込んでいる。後学期は共通必修科目よりもコース専門科目が主流となってくる。より高度な専門知識や深い思考が要求されるため減少したものと思われる。他方で、これは否定的な回答が増えたということではなく、前年度後期に「どちらともいえない」と答えたのが 25.0%だったのに対し、当該年度は 33.0%となっており、中庸的な回答が増えたということである。

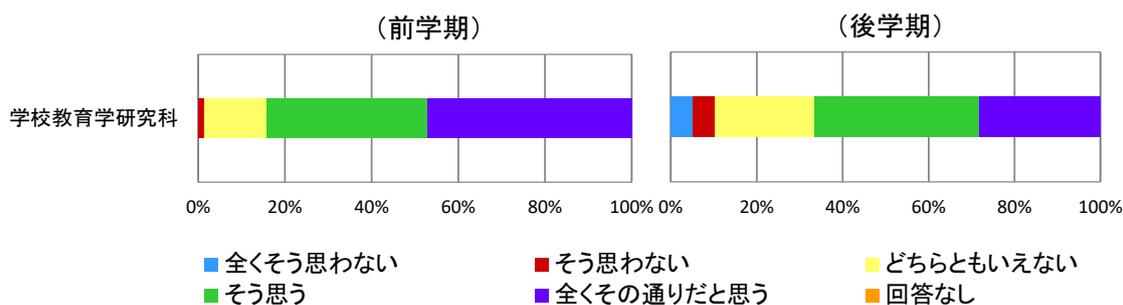
### C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



授業内容とシラバスの関係について、前学期では 70%台後半、後学期では 60%台半ばが肯定的な回答を寄せている。前年度は前学期では 90%以上、後学期は 75%であった。後学期授業はより専門性が高いということは上述したが、他方で院生の構成は教職経験がない一般院生とすでに 15 年以上の教職経験がある現職院生がともに授業を受けることになっているため、教員の側にはより柔軟な対応が求められる。この減少はこの理由によるものと思われるが、だとすると減少しているからと言って否定的に捉えられるものではなく、むしろ臨機応変に対応したとも解釈すべきだろう。なお、前後学期ともに前年度よりも当該年度の方

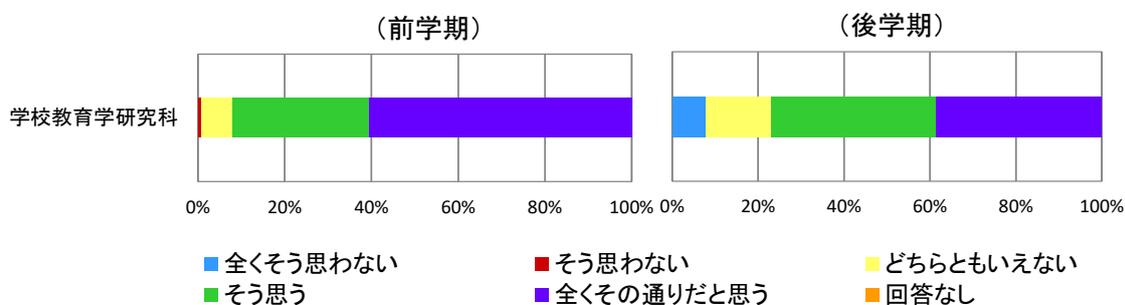
が数値が低くなってはいるが、それは否定的な回答が増えたということではなく、「どちらともいえない」と答えたのが、前学期が11.5%（前年度5.2%）、後学期が20.5%（前年度15.7%）と、中庸的な回答が増えたということである。

### G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材等の有効度については、前学期で80%台半ば、後学期で60%台半ばが肯定的に回答している。前年度は前学期で80%以上、後学期でも約80%が肯定的に回答していた。教職大学院ではスマートボード（電子黒板）や調べ学習のためのコンピュータやタブレット端末、スマートフォン等を活用した授業を多く行っている。受講者による発表でもICTの活用を推進しているため、肯定的な回答を得たと思われる。なお、前後学期ともに前年度よりも当該年度の方が数値が低くなってはいるが、それは否定的な回答が増えたということではなく、「どちらともいえない」と答えたのが、前学期が19.2%（前年度14.6%）、後学期が23.1%（前年度19.2%）と、中庸的な回答が増えたということである。

### G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

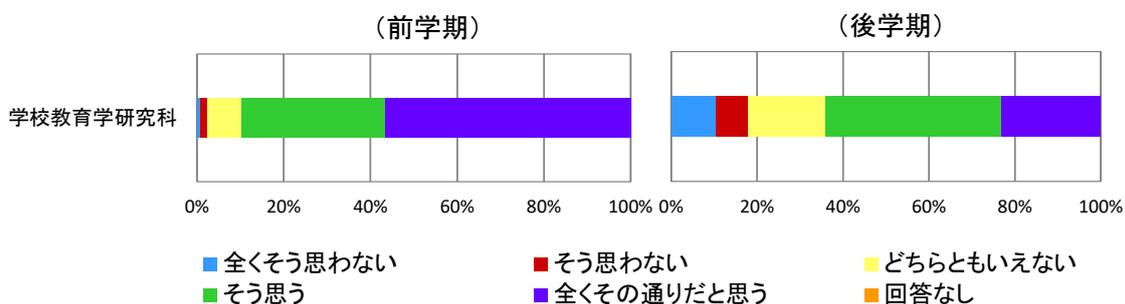


肯定的な回答は、前学期で90%台、後学期で70%台後半が肯定的な回答を寄せている。前

年度は、前学期で 95%以上、後学期でも 80%以上と、前後学期ともに大変高率となっていた。上述の通り教職大学院の授業ではアクティブ・ラーニングの手法を導入している場合が多いため、このような高い肯定的回答率を得たものと思われる。なお、後学期にやや減少しているのは、上述の通り専門度の高い授業が増えるため、教員による説明調の授業の割合がやや増えたということであろう。なお、前後学期ともに前年度よりも当該年度の方が数値が低くなってはいるが、それは否定的な回答が増えたということではなく、「どちらともいえない」と答えたのが、前学期が 7.1%（前年度 4.2%）、後学期が 15.4%（前年度 11.5%）と、中庸的な回答が増えたということである。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

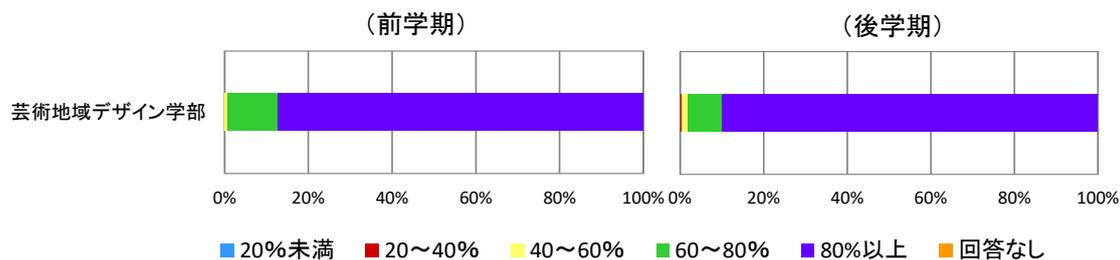


満足度に関しては、前学期でほぼ90%、後学期で60%台半ばが肯定的な回答であった。前年度は前学期で90%以上、後学期でも80%に迫る割合の回答者が肯定的に答えた。前年度に比べるとやや減少する傾向にあるが、前学期における「まったくその通りだと思う」前年度の49%から当該年度は56.7%に上昇するなど、高い評価を得た。なお、前後学期ともに前年度よりも当該年度の方が数値が低くなっているが、それは否定的な回答が増えたということではなく、「どちらともいえない」と答えたのが、前学期が7.9%（前年度6.3%）、後学期が17.9%（前年度13.5%）と、中庸的な回答が増えたということである。

**佐賀大学大学芸術地域デザイン学部**  
**平成 29 年度「学生による授業評価アンケート」**  
**組織別分析結果報告**

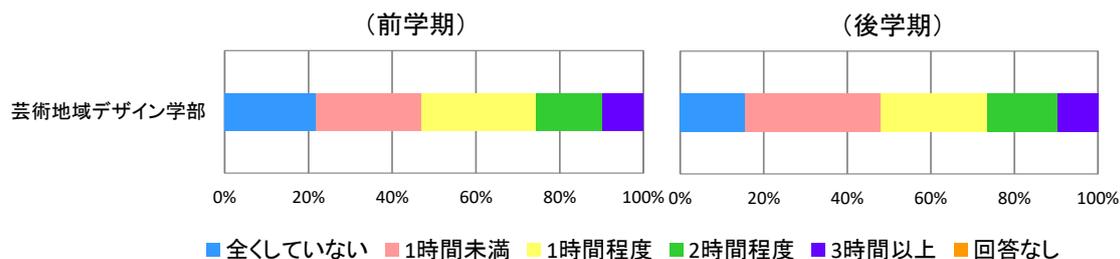
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



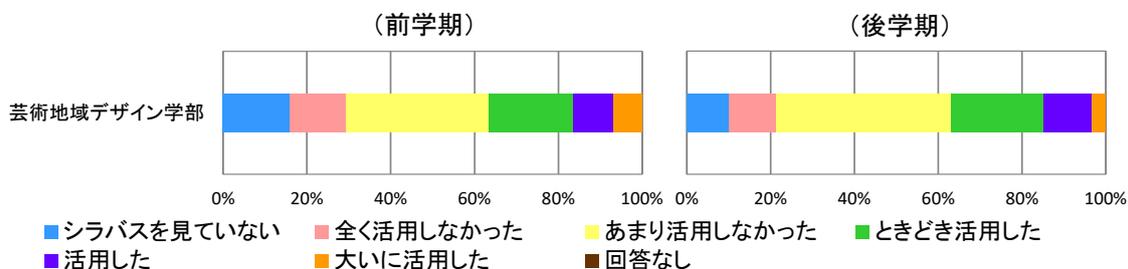
概ね出席しており、良好である。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



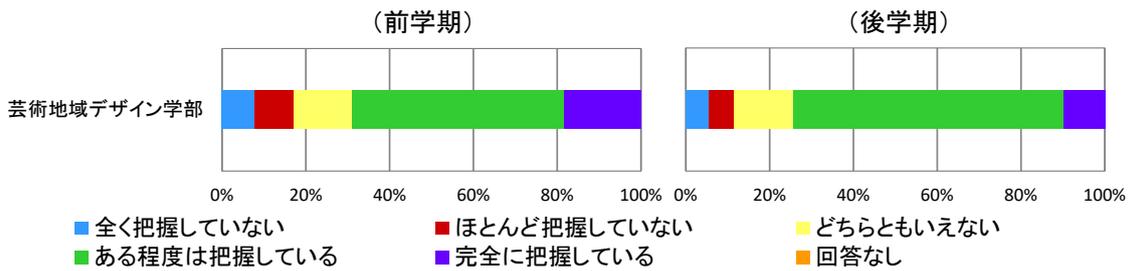
前期・後期ともに授業時間学習については8割近くが実施しており、概ね良好である。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスの活用について、「シラバスをみていない」「全く活用しなかった」「あまり活用しなかった」と6割近くが回答しており、今後の改善が求められる。

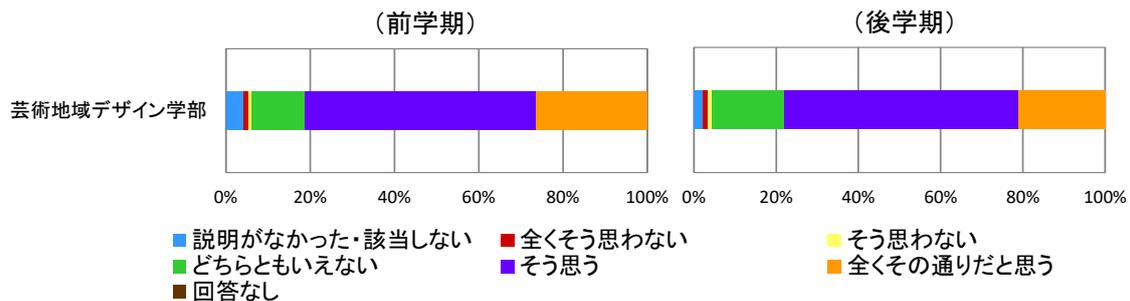
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



「完全に把握している」「ある程度は把握している」の割合が7割近くを占めており、概ね良好と言えるが、その一方で「全く把握していない」という学生も僅かながら見られ、目標や評価基準の周知が必要である。

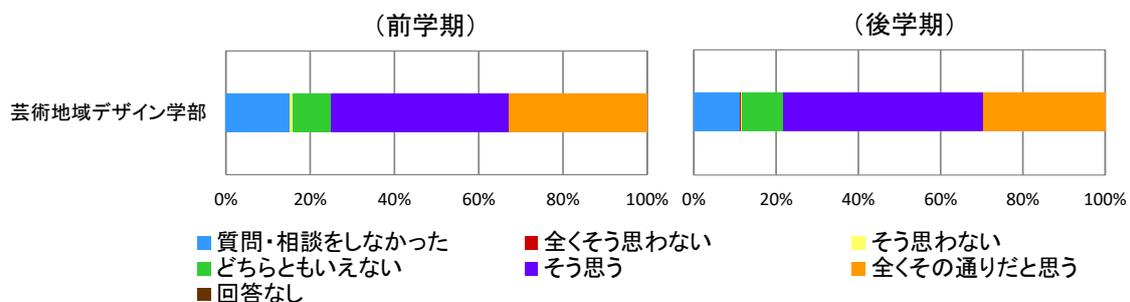
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



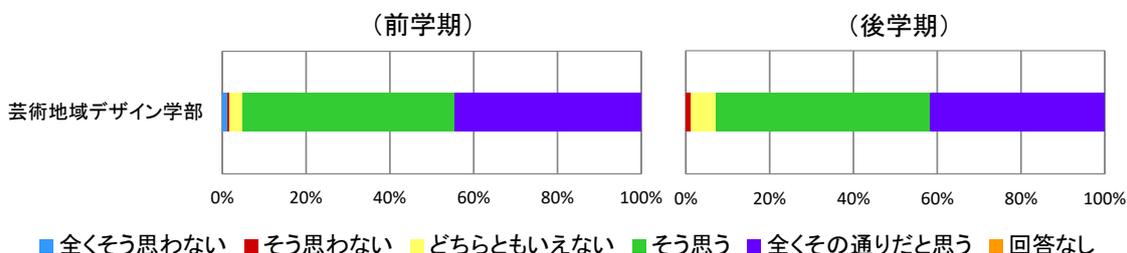
「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね8割近くあり、教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は学生に評価されていると言える。評価は良好と言える。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね8割近くあり、担当教員は学生に対して適切に相談にのっていた実態が明らかになっている。評価は良好であると言える。

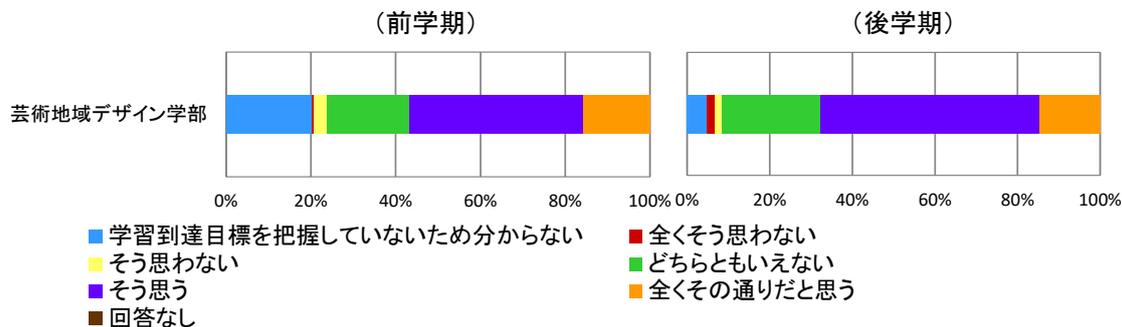
### B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね9割近くあり、他の質問項目と比較しても教員の授業に対する意欲や熱意は学生に高い評価を得ていると言える。

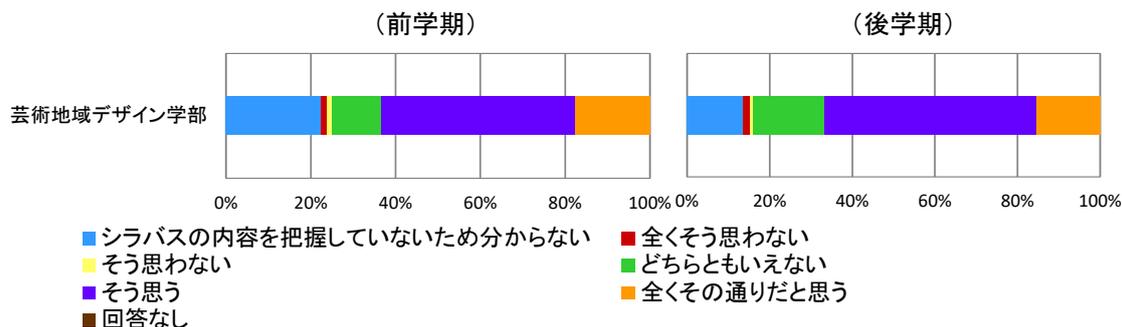
## C. 授業内容および授業方法について

### C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



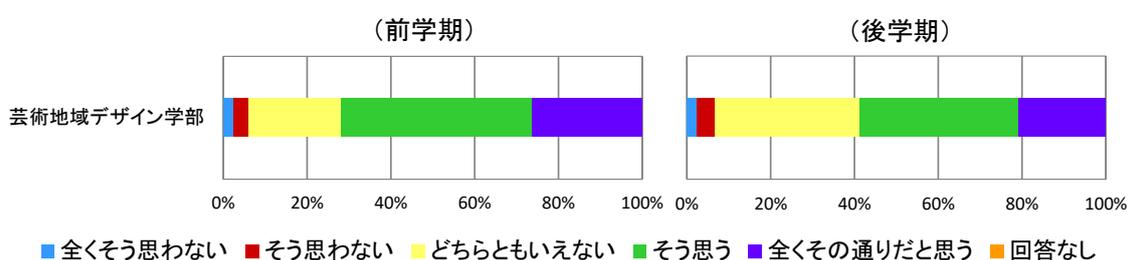
「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね6割近くあり、6割近くは授業の目標を達成できていると言えるが、4割近くは、学習達成目標に対して否定的な回答をしている。また前期科目は「学習達成目標を把握していないため分からない」の回答が2割近くあり、初回ガイダンスや授業中に、学生に学習達成目標を周知するように工夫する必要がある。

### C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



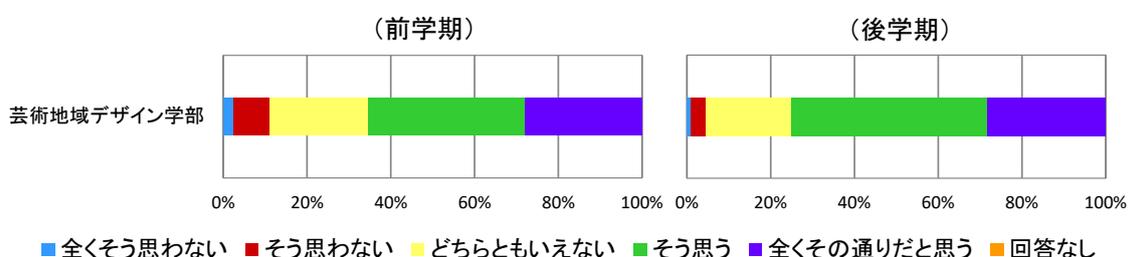
「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね6割近くあり、授業内容については多くの科目についてシラバスに基づいた授業が行われていたと言えるであろう。その一方で、「シラバス内容を把握していないため分からない」の回答が前期は2割強、後期は2割弱の割合を占めており、初回ガイダンスや授業中に、シラバスを周知するように工夫する必要がある。

**G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか**



「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が前期は概ね7割近く、後期は6割弱あり、教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）の活用が学生に評価されていると言えるだろう。

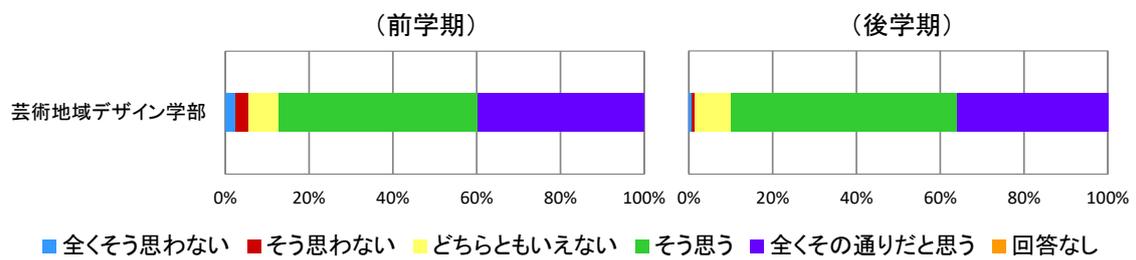
**G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか**



「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が前期は概ね6割、後期は7割近くあり、アクティブラーニングを多くの科目で実施している実態を反映している結果であると言える。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



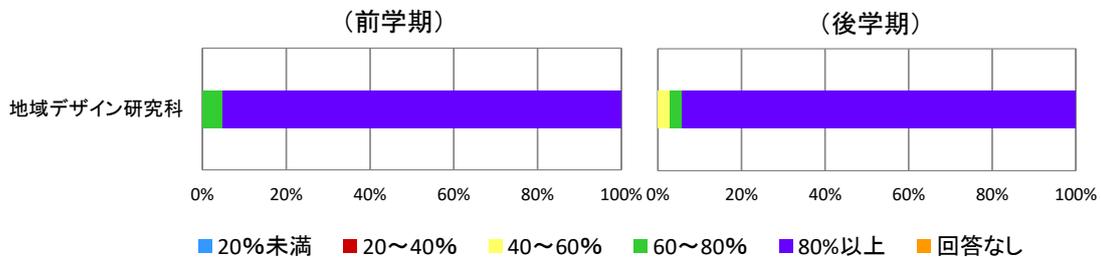
「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね8割近くあり、学生の満足度は全体的に高い評価を得ているという結果になり、概ね良好であると言える。

**佐賀大学大学院地域デザイン研究科**  
**平成 29 年度「学生による授業評価アンケート」**  
**組織別分析結果報告**

規模の小さな研究科であるため、アンケート回答数が少なく統計的に表現することに不安な面もあるが、ある程度の傾向はつかめたと考えられる。

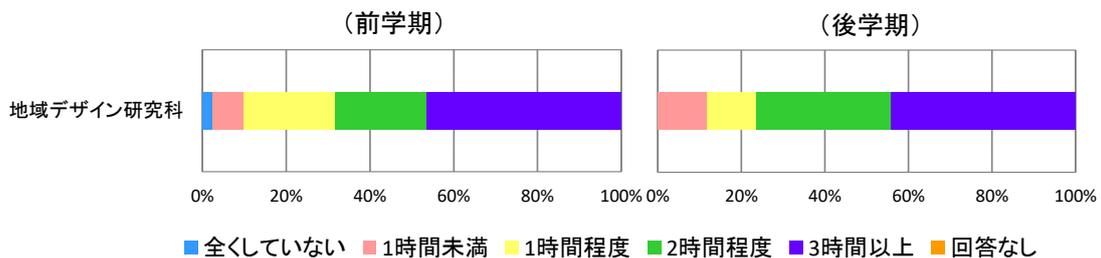
## A. あなた自身について

### A-1 出席率はどのくらいですか



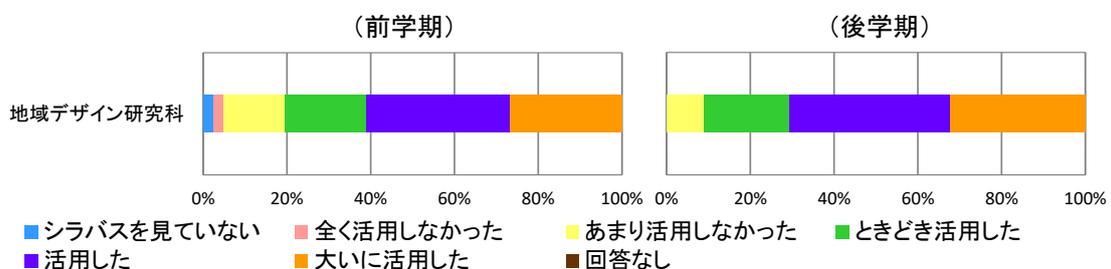
・概ね出席しており、良好である。

### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



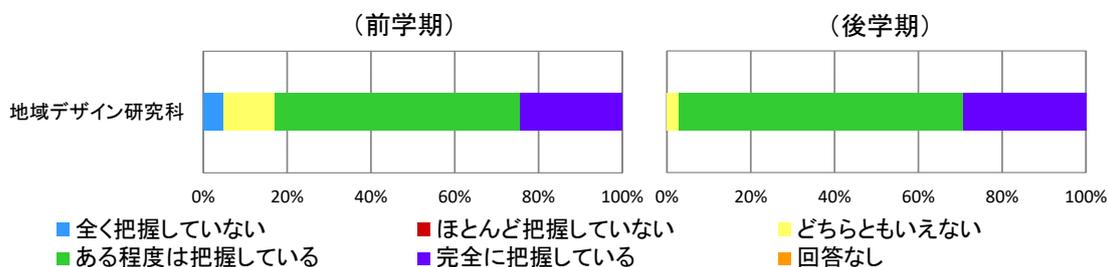
・前期・後期とも3時間以上と答えた割合が約5割と高く、概ね良好といえる。

### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



・昨年度のデータに比べてみると、昨年度年よりも「大いに活用した」「活用した」の割合が増加しており、改善がみられた。

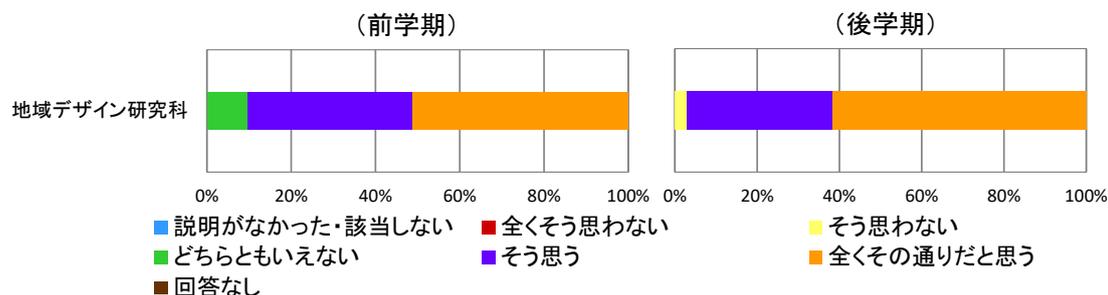
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



・「完全に把握している」「ある程度は把握している」の割合が高く、概ね良好と言えるが、一方では、「全く把握していない」という学生も僅かながら見られ、目標や評価基準の周知が必要である。

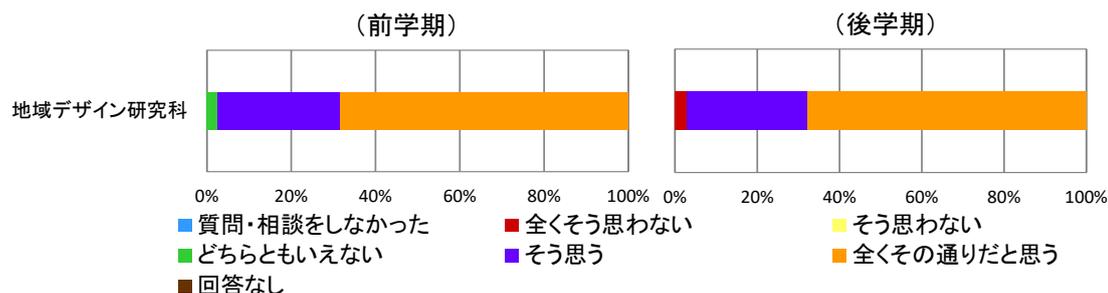
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



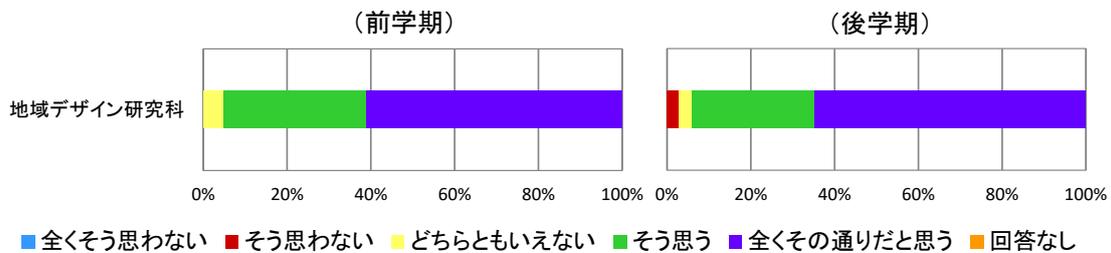
・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が概ね9割以上であることから、評価は良好と言える。しかし、前年度と比較すると、前期に関しては「全くその通りだと思う」の割合が若干減少している。前期科目の改善が必要である。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が概ね9割以上であることから、評価は良好と言える。しかし前年度と比較すると、前期に関しては「全くその通りだと思う」の割合が若干減少している。前期科目の改善が必要である。

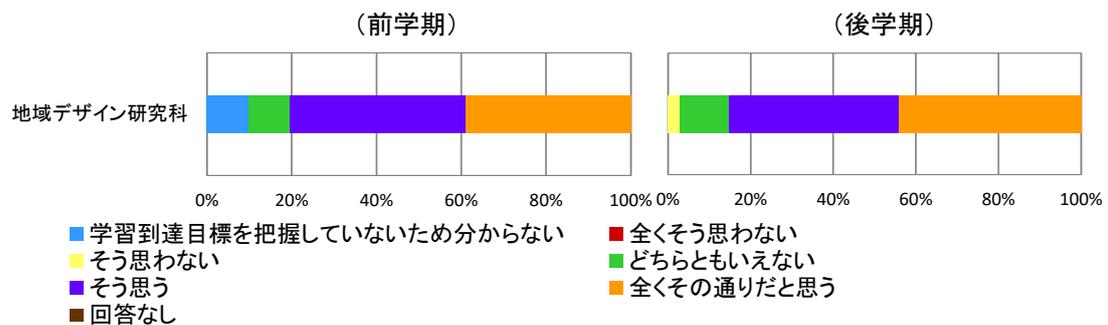
### B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が概ね9割以上であることから、評価は良好と言える。しかし前年度と比較すると、前期・後期ともに「全くその通りだと思う」の割合が若干減少している。改善が必要である。

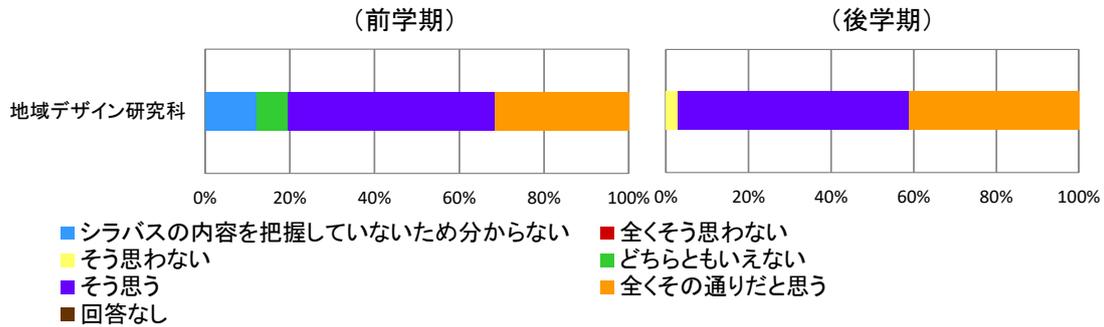
## C. 授業内容および授業方法について

### C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



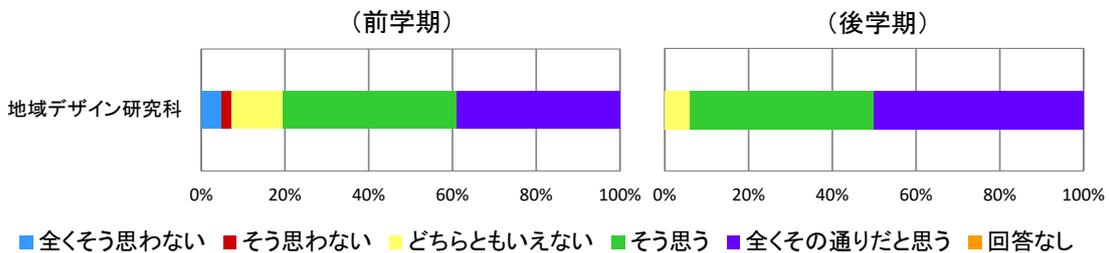
・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が概ね8割以上であることから、評価は良好と言える。しかし前年度と比較すると、前期・後期ともに「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計の割合が若干減少している。改善が必要である。

## G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



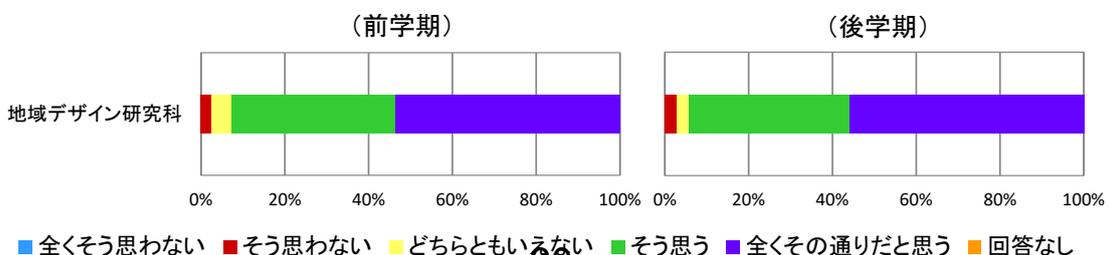
・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が概ね8割以上であることから、評価は良好と言える。しかし前年度と比較すると、前期の「全くその通りだと思う」の割合が若干減少している。その一方で後期の「全くその通りだと思う」の割合が若干増加している。

## G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が概ね8割以上であることから、評価は良好と言える。しかし前年度と比較すると、前期の「全くその通りだと思う」の割合が若干減少している。

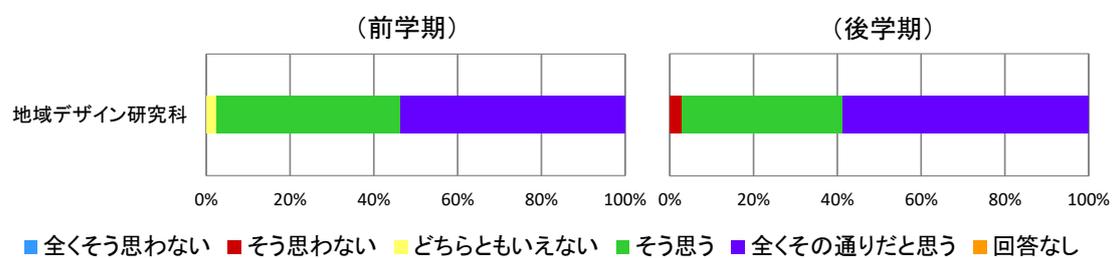
## G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



・前年度と比較すると、前期・後期ともに「全くその通りだと思う」の割合が減少しており、改善が必要である。

#### D. 満足度

##### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



・前年度と比較すると、前期・後期ともに「全くその通りだと思う」の割合が減少しており、改善が必要である。

佐賀大学経済学部

平成 29 年度「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

## 経済学部組織別授業評価分析結果

経済学部では、授業を学年および学科別に1年次科目（全学科）、2年次以上の科目（経済学科科目、経営学科科目、経済法学科科目）に分けるとともに、科目分類別に入門科目（1年次科目）、基礎科目（2年次科目）、展開科目（3・4年次科目）、コア科目（2年次後学期以上の科目）に分けて、アンケートを集計している。全体的に見れば、学科別の集計結果は前・後学期において若干差異が見られるものの、前・後学期を平均すると差異はあまり見られず、科目分類別（学年別）ではやや大きな差異が見られた。以下、アンケート項目ごとに、平成28年度との比較を中心として分析を行う。

### A. あなた自身について

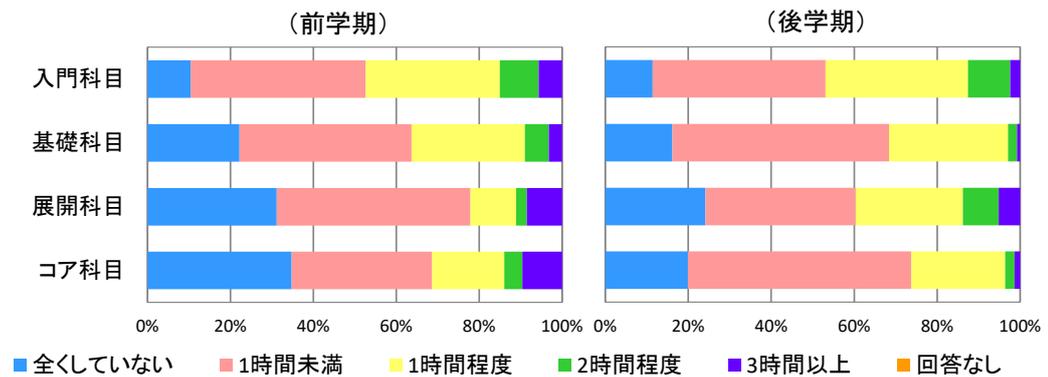
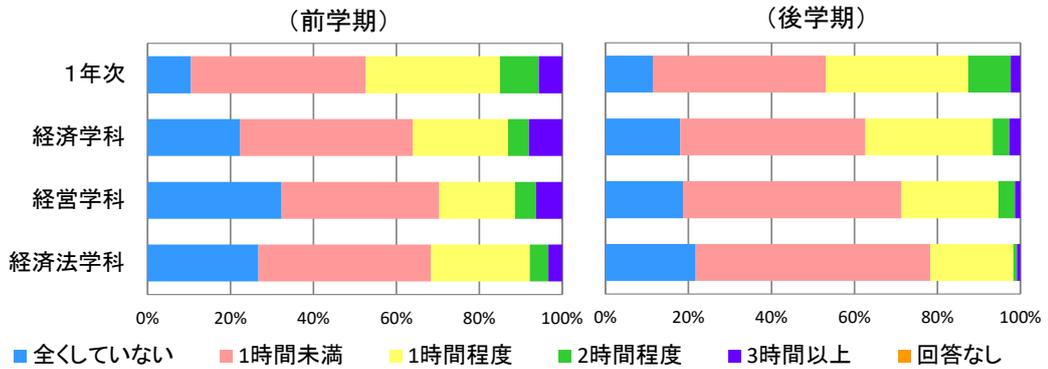
#### A-1 出席率はどのくらいですか



平成29年度は経済学部全体で前・後学期を平均すると約8割が「80%以上」の出席率となっている。平成28年度と比較すると、全体的に出席率の向上が見られている。授業点検および改善が功を奏しているといえる。平成28年度と同様に、入門科目、基礎科目では、後学期になると出席率が低下する傾向にあるが、この低下傾向は平成28年度よりは小さくなっており、この点も改善されている。展開科目およびコア科目では、平成28年度と同様に、年間を通して出席率が相対的に高くなっている。とくにコア科目では出席率が40%に

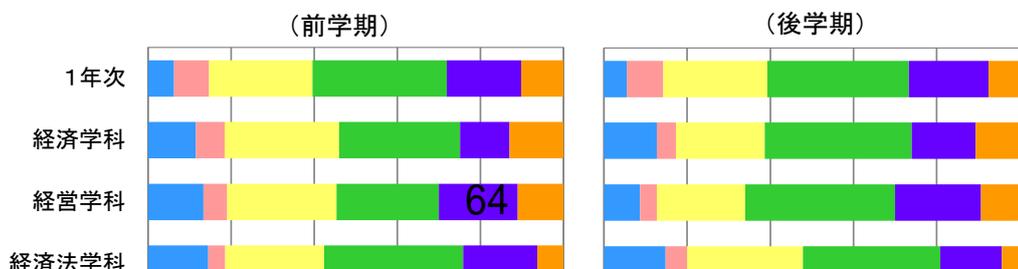
満たない学生がほぼおらず、他の科目分類に比して高い出席率となっている。

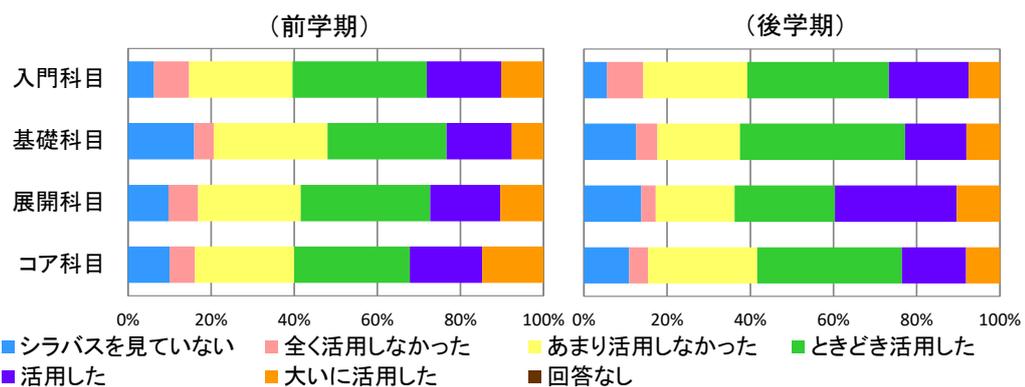
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



平成 29 年度は平均して時間外学習を「全くしていない」割合が約 20%、「1 時間未満」が約 45%、「1 時間程度」が約 25%となっており、8 割の学生は何らかの時間外学習を行っていた。平成 28 年度と比較すると、前期においては、時間外学習を「全くしていない」割合が全体的に平成 29 年度のほうが高い結果となった。しかし 1 年生対象の入門科目については、全体的に時間外学習の割合は高くなっており、とくに上級生について時間外学習を促す取り組みが必要である。後期においては、平成 28 年度と比較して時間外学習を「全くしていない」割合は平成 29 年度では低下しており、この点は、平成 29 年度における改善点として評価できる。しかし、「3 時間以上」の時間外学習を行った割合は平成 28 年度から低下しており、時間外学習の質について検討が必要である。

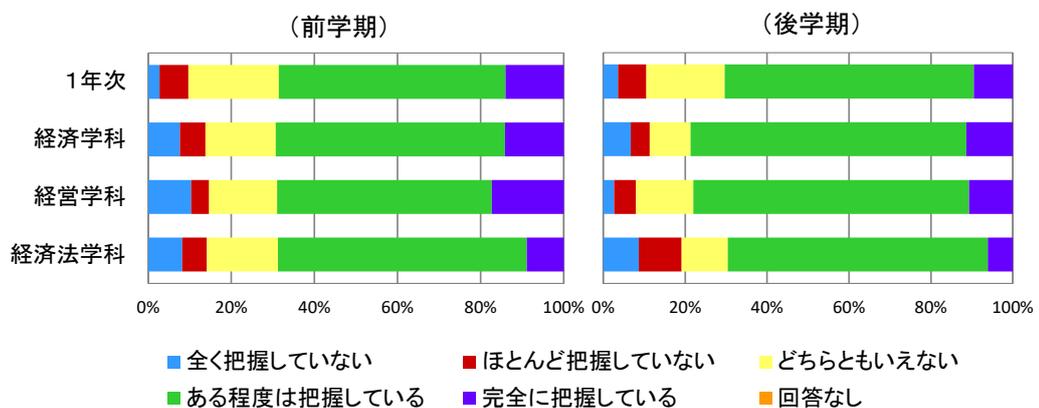
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

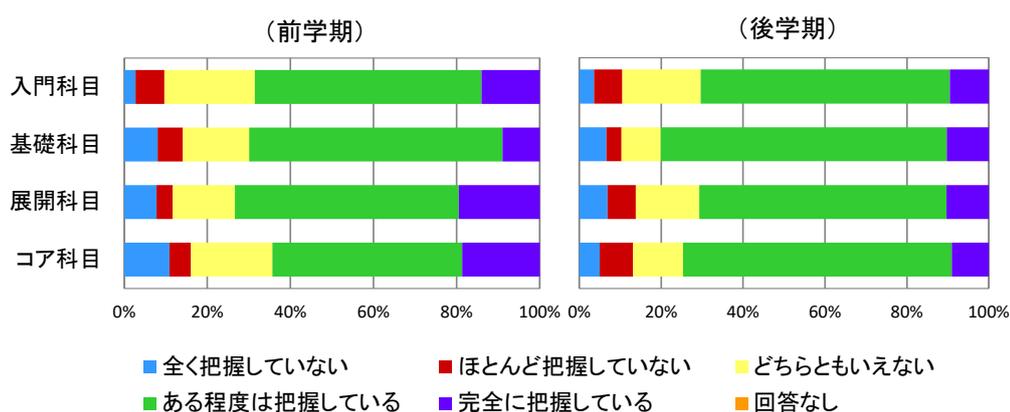




平成 29 年度は、全体を平均すると 10%の学生が「シラバスを見ていない」、6%の学生が「全く活用していない」状況にある。平成 28 年度は、「シラバスを見ていない」学生は 14%、「全く活用していない」学生は、9%であったことから、平成 28 年度と比較すると、平成 29 年度においてシラバスの活用度は大きく改善されている。「あまり活用しなかった」学生の割合も低下しており、全体的にシラバスの活用度に改善が見られており、シラバス点検の効果が出ているといえる。ただし「活用した」学生の割合は微増したものの依然として低い。ため、シラバスの活用度をより高めるための取り組みを継続して行う必要がある。

#### A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

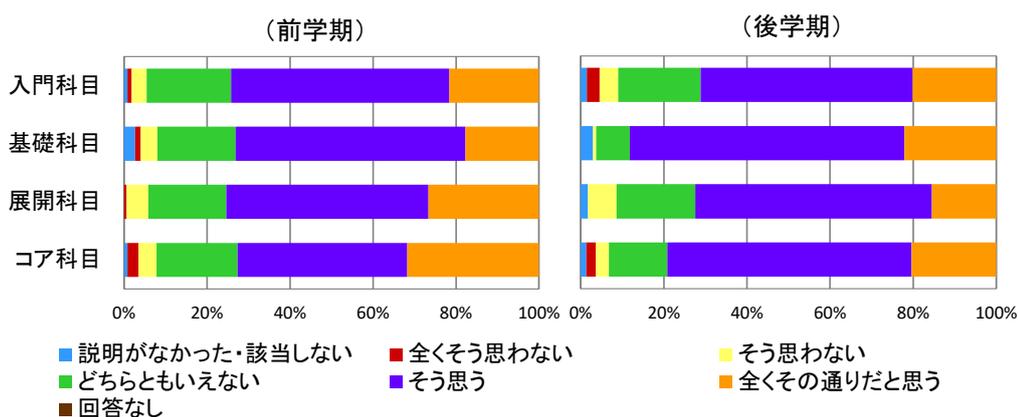
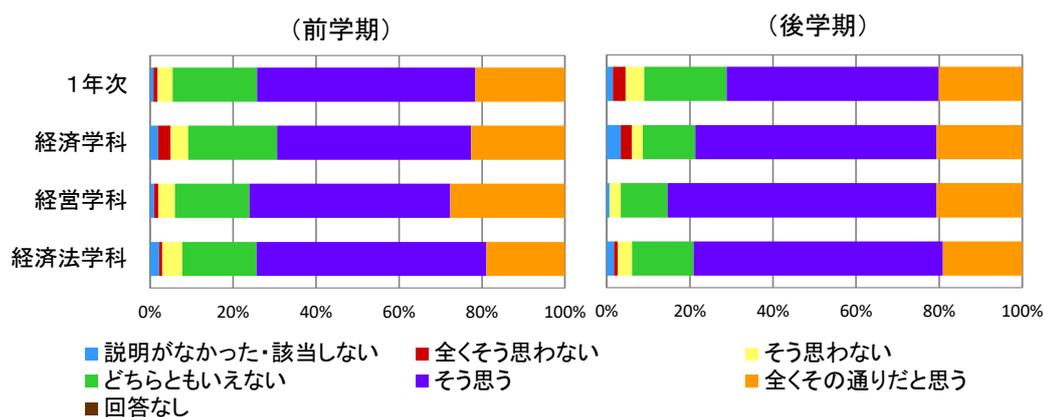




平成 29 年度においては、全体を平均して約 75%の学生が授業の学習到達目標や成績評価基準を「ある程度」または「完全に把握している」と回答している。平成 28 年度は約 70%であったことから、学習到達目標および成績評価基準の周知について改善が見られたといえる。とくに 1 年次および入門科目と基礎科目については、全体として「まったく把握していない」割合が顕著に低下し、学習到達目標および成績評価基準を把握している学生の割合に上昇が見られている。この点もまた、シラバス点検および授業点検が功を奏しているといえる。ただし、3 年次以上を対象とする前期コア科目については、昨年度よりも「まったく把握していない」層が大きく増えており、この点は改善を要する。

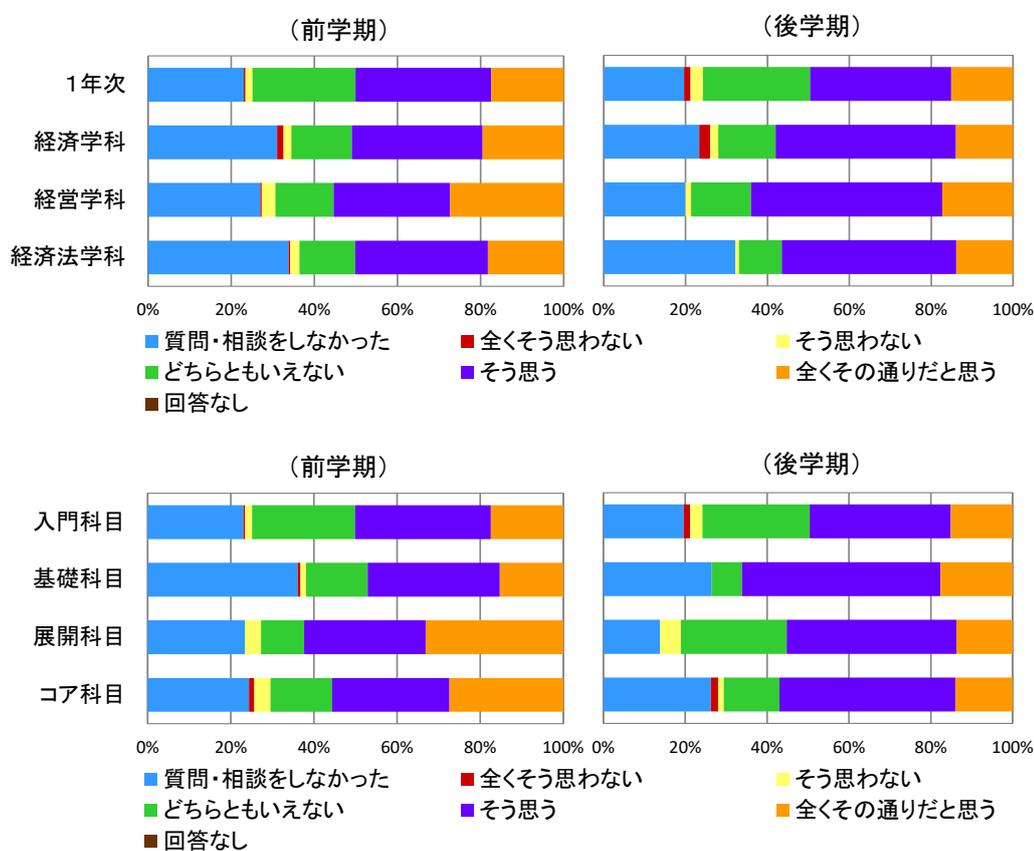
## B. 教員の対応

### B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



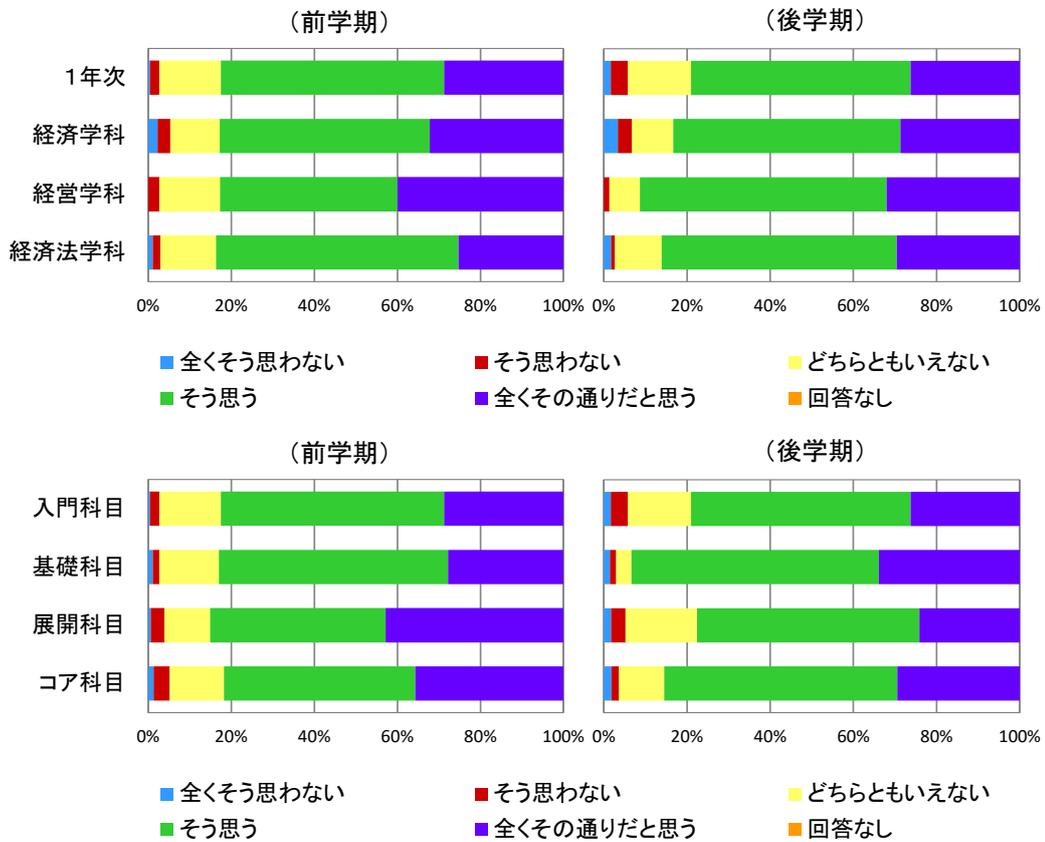
平成 29 年度は、全体を平均して 7 割以上の学生が、教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明が有益だと感じている。平成 28 年度と比較すると、全体的に見てほぼ同水準かやや改善が見られた。後期 2 年次以上対象の基礎科目については、「そう思う」の割合が顕著に増加している。しかし、「どちらともいえない」・「そう思わない」・「まったくそう思わない」・「説明がなかった」と回答する学生も依然として少なからず存在することから、教育方法や成績評価方法に関する学生への周知の徹底について、継続的な取り組みが必要である。

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



平成 29 年度は、全体を平均して「質問・相談をしなかった」割合が約 24%であり、平成 28 年度とほぼ同水準である。しかし平成 28 年度との比較では、1 年次および入門科目において「そう思う」・「まったくそのとおりだと思う」の割合が大きく増加している。他方、基礎科目やコア科目など 2 年次以上の対象科目において、「質問・相談をしなかった」という割合に上昇が見られており、とりわけ上級生に向けて、質問や相談をするように促す取り組みが必要である。

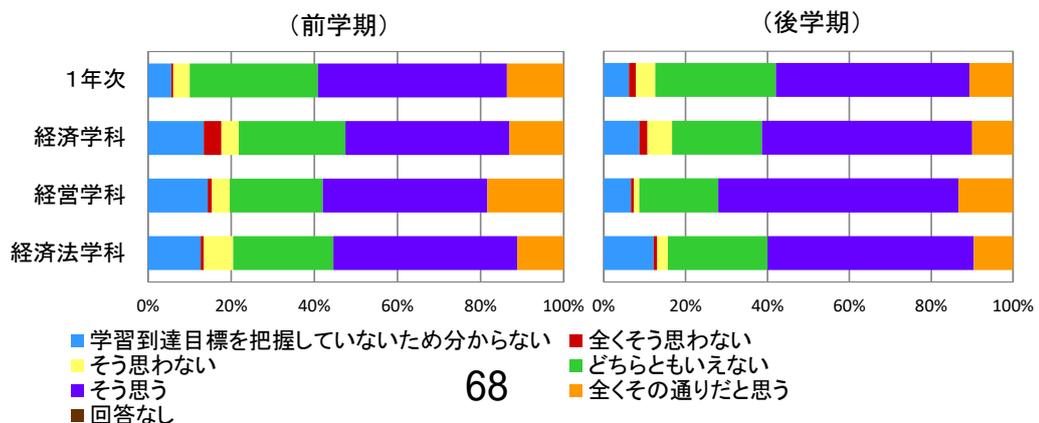
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

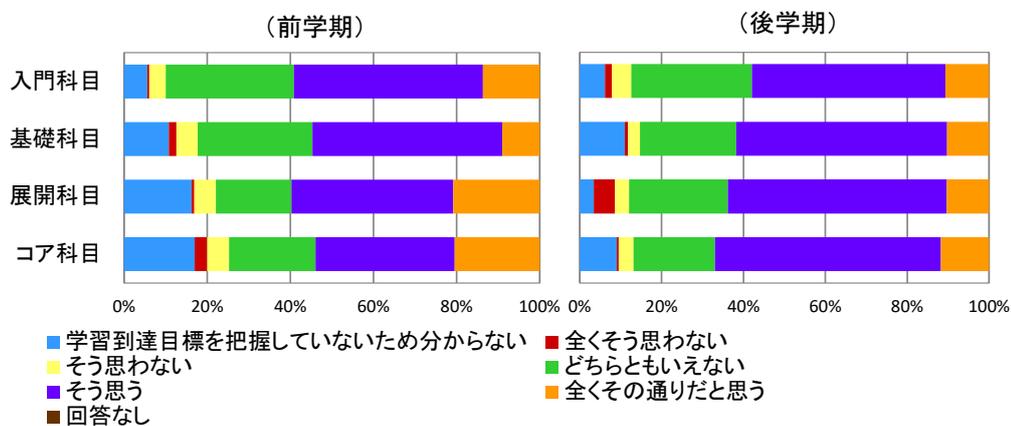


平成 29 年度は、全体を平均して「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が約 8 割、「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が約 5%となっている。数値としては平成 28 年度よりも改善しており、全体として教員の意欲や熱意が学生に十分に伝わっていることが窺える。平成 28 年度と比較すると、平成 29 年度において、とりわけ 2 年次以上を対象とする後期基礎科目において、「そう思う」・「全くそのとおりだと思う」の割合が大きく増加している。しかし、3 年次以上を対象とする後期展開科目においては、「どちらともいえない」の割合が若干増加しており、この点については改善を要する。

C. 授業内容および授業方法について

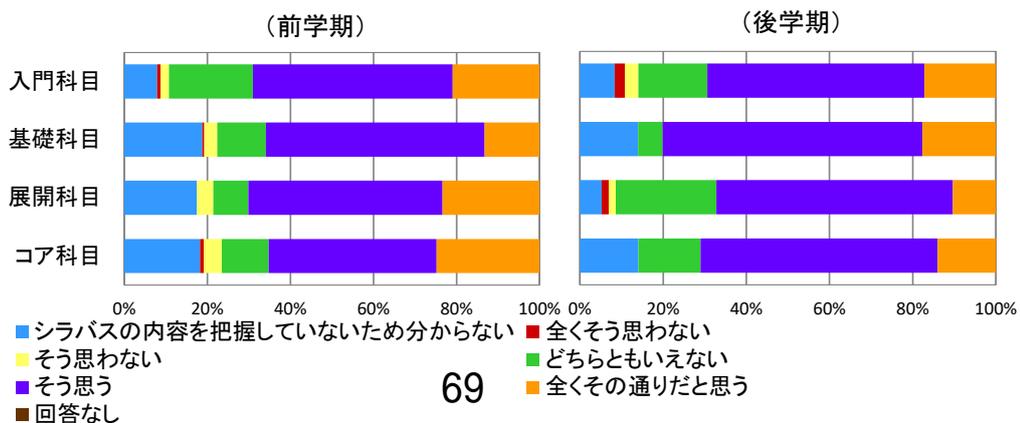
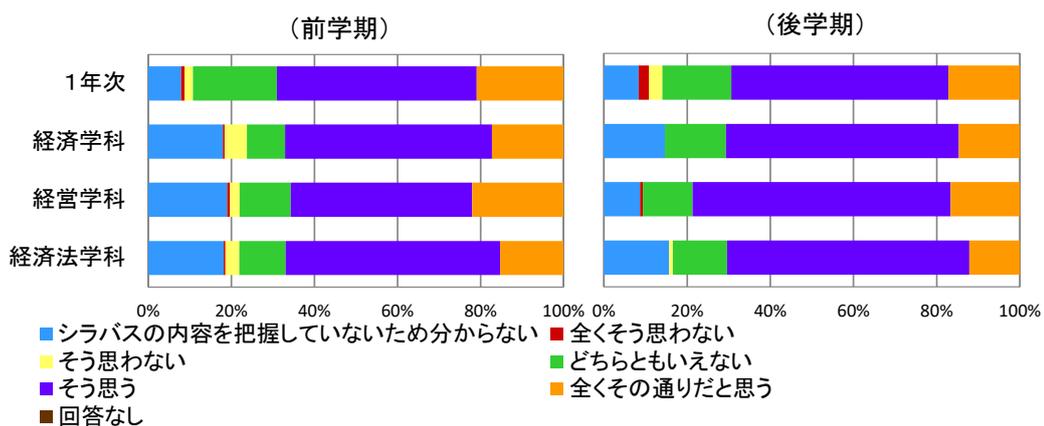
C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか





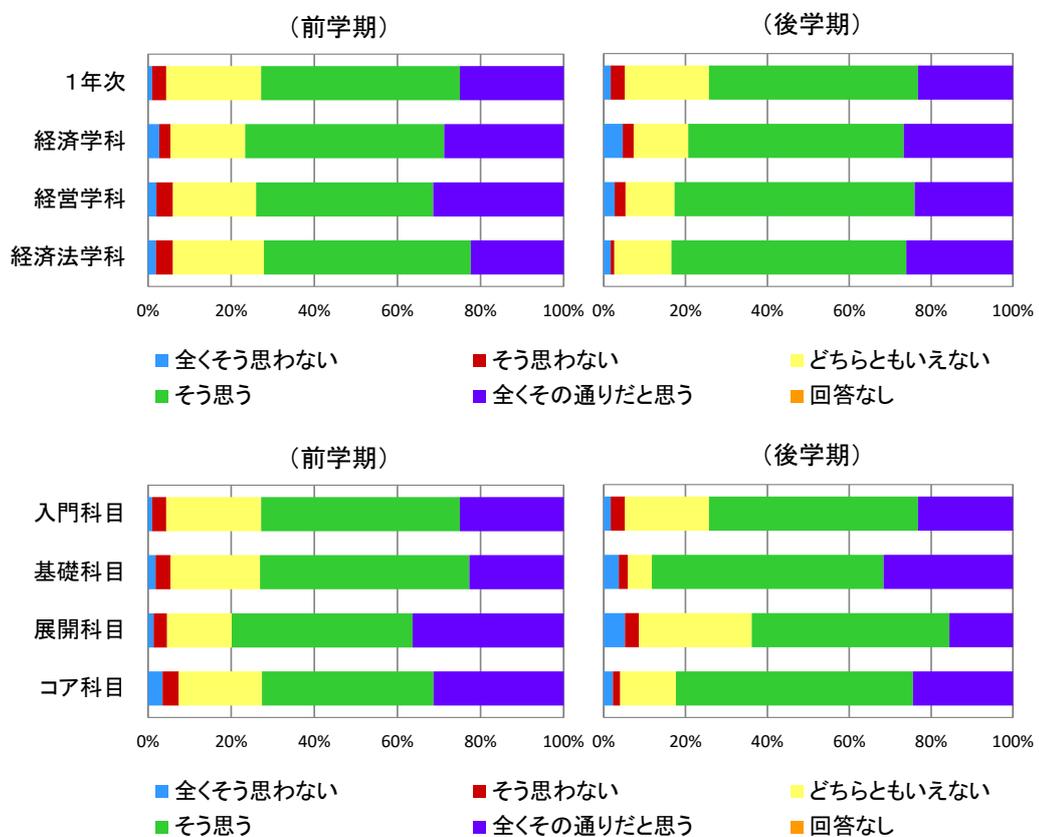
平成 29 年度は、全体の平均を見ると「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 6 割強、「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が約 6% となっており、平成 28 年度と比較すると、若干の改善が見られている。とくに 2 年次以上を対象とする各科目において、学習到達目標を達成したと思う学生の割合が増えている。しかし内訳を見ると、「学習到達目標を把握していないため分からない」の割合が増加している科目があり、また 1 年次については「どちらともいえない」の割合が増加している。これらについては改善を要する。

## G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



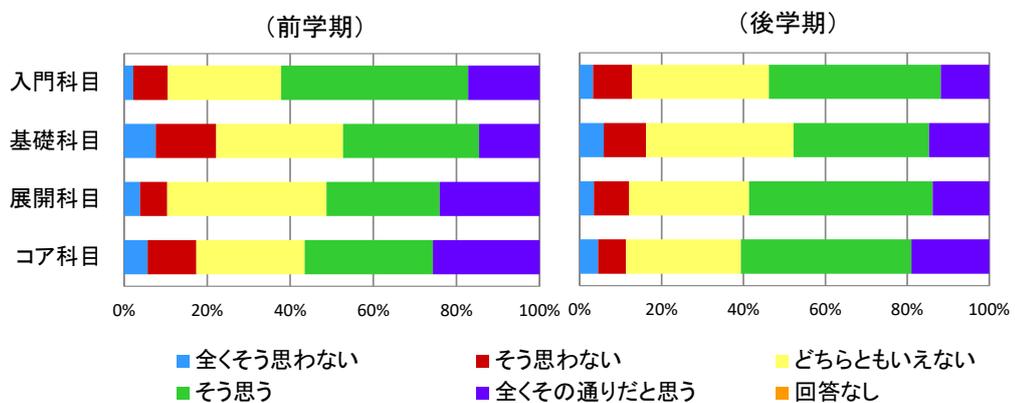
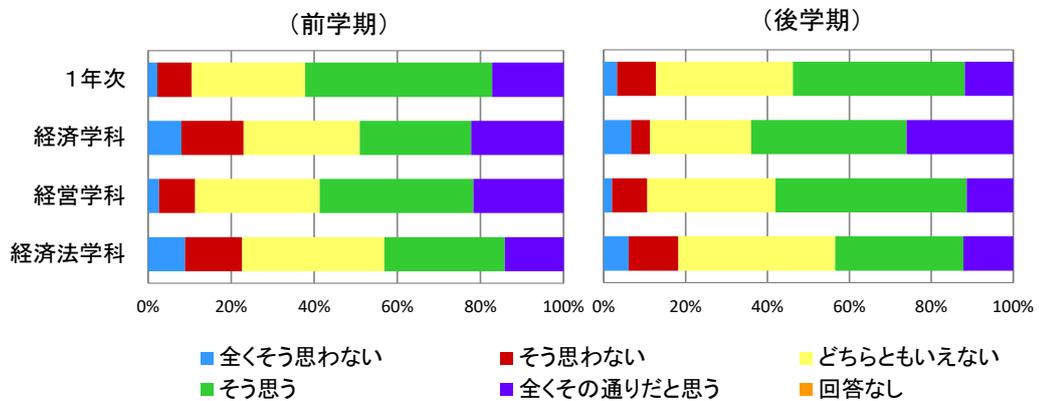
平成 29 年度は全体を平均して「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が約 70%となっており、平成 28 年度よりも 4 ポイント増加している。また平成 28 年度と比較して「全くそう思わない」・「どちらともいえない」の割合も減少しているため、シラバス点検によりシラバス内容が拡充されたことが反映されているといえるだろう。ただし、「シラバスの内容を把握していないため分からない」の割合が、基礎科目、コア科目といった 2 年次以上を対象とする科目において平成 28 年度よりも増加している点は、改善を要する。

G-3 教材（教科書、配布資料）や ICT 環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



平成 29 年度は、全体を平均して「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合は約 76%であり、平成 28 年度と比較すると、約 4 ポイントの上昇となっている。全体として教材や ICT 環境が充実されて、授業内容の理解度向上に貢献していることが窺える。ただし「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が約 5.7%となっており、平成 28 年度とほぼ同水準の値となっている。依然として ICT 環境について学生に向けた周知や教育が必要であるといえよう。

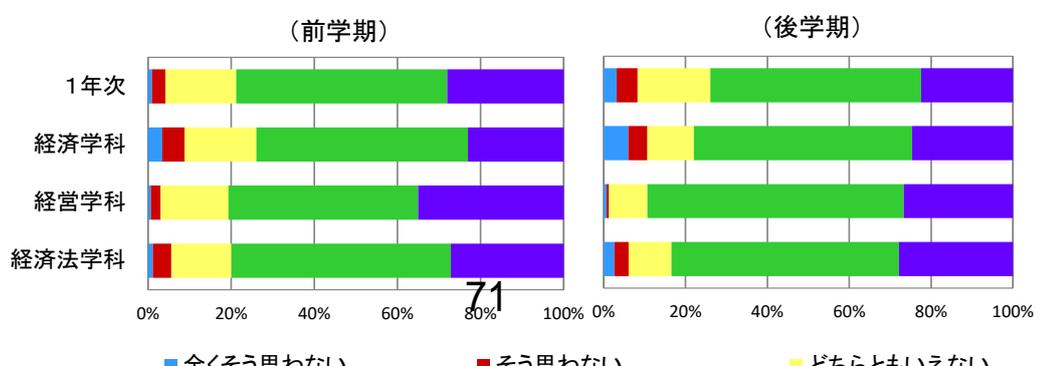
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

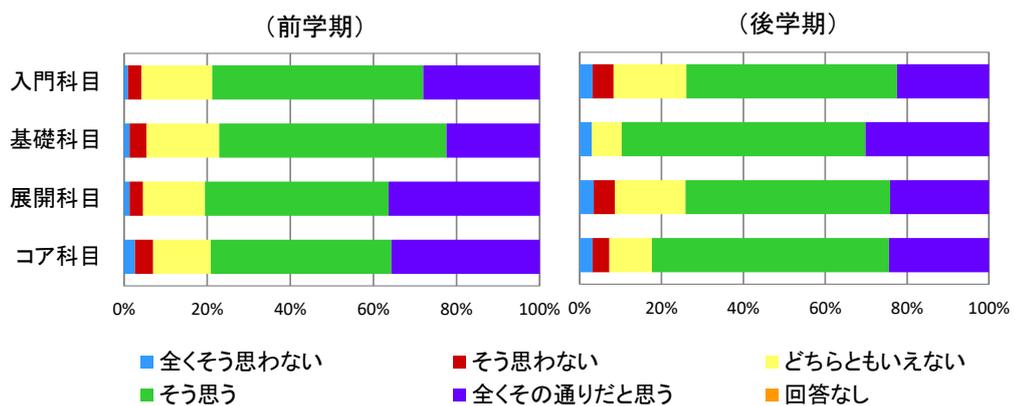


平成 29 年度は、全体を平均して「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が約 6 割、「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が 14.1%となっている。平成 28 年度と比較すると、前者は大きく改善され、後者は 0.4 ポイントほど改善している。入門ゼミ・演習の少人数授業が集計結果から除外されていることに鑑みると、アクティブ・ラーニングに関する FD 活動の結果として、大人数の授業であっても学生の思考を促す取り組みが積極的に導入されていることが窺える。ただし、内訳を見ると、平成 28 年度と比較して、入門科目においては、各項目の割合がほとんど変わっていない。とくに 1 年次を対象とする入門科目について、アクティブ・ラーニングをより積極的に導入していく必要がある。

#### D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか





平成 29 年度は、全体を平均して「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 79.5%、「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合は 6%となっている。平成 28 年度と比較すると、前者は 5 ポイントの改善、後者は 1.1 ポイントの改善となっており、総じて満足度は改善の傾向にあるといえる。授業点検ならびに FD 活動が功を奏しているといえよう。ただし、「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合は依然として 6%もあり、また「全くそのとおりだと思う」の割合は平成 28 年度からほとんど変化していないことから、今後も継続して活発な授業改善の取り組みが必要である。

佐賀大学理工学部・工学系研究科  
平成 29 年度「学生による授業評価アンケート」  
組織別分析結果報告

各学科・専攻においてFD活動により授業が改善された例を以下に挙げる。

### (1.1) 学士課程

#### 数理科学科

基礎数学：毎回紙を配って出席をとり，その際に質問などを書かせ，その回答を次週配布した。

微分積分学基礎 I：定期試験の過去問をすべて Web 上に公開している。

#### 物理科学科

力学 A：講義初回に独自アンケートで，学生の知識範囲や本講義に望むこと等を調査し，それらの意見を参考にしながら，既に用意しておいた講義内容の中に盛り込む形で反映させていった。

#### 知能情報システム学科

線形数学 I：毎週，具体的に宿題を出し，その内容に関する小テストを行った。授業の後半では，演習を行い，TA とともにその内容を確認し，すべてができるまで指導した。また，小テストの成績が悪い学生には，宿題を提出させるようにして，その内容を確認した。さらに，小テストの詳細な解答と誤答例も公開し，復習しやすい環境を用意した。講義をビデオで録画して，Web 上で配信し，再試験実施時には自習を義務付けた。

基礎解析学 I・II：毎週，具体的に予習宿題を出し，その内容に関する小テストを行った。また，TBL 型の講義にし，グループワーク形式で課題に取り組みせ，学生に発表させた後に教員が解説することにより，その場で理解が深まるような配慮をした。さらに，小テスト・確認テストの成績が悪い学生には，宿題を提出させた。これに加えて，再試験を実施する前には，自習を義務付けた。

#### 機能物質化学科

有機化学・有機化学 I：重要な点を黒板に板書し，全員が書き留めることを確認した。また，講義内容に関する最先端の研究事例を紹介し，勉学に対する意欲を駆り立てるようにした。

機能有機化学 I：昨年度に引き続き，演習を授業に取り入れるようにした。今年度はより長く演習時間を確保するように努めた。

高分子物性化学：授業内容をわかりやすくパワーポイントで図示しながら分かり易く提示する，授業中に例題を解かす，内容に関するクイズ形式の問題を出題することを継続する共に，教室での授業二回分を演習に充て理解が深まるようにした。

溶液化学：各講義の重要な項目を課題レポートとし，その提出は LiveCampus から Online で行った。

高分子化学：授業前に基本的な内容に触れさせることを目的に，課題を出して復習をさせた。

有機金属化学 I：重要な部分をレポートにまとめ提出させるようにした。

分子分光化学：毎回の講義で小テストを実施し，履修した学生間で教えたり教えてもらったりするようにさせ，内容の理解の向上を図った。

化学工学基礎 I・化学工学 I：講義のあとに演習を行った。

分離化学：毎回の講義の振り返りで次の時間に小テストを実施した。

分離工学：授業ごとに演習問題を課し、自分で問題を解く習慣を身に着けるようにさせた。

### 機械システム工学科

機械工作実習 I：レポート課題について、学生間でコピーが多数なされていたが、今年度より課題のバリエーションを増やし、学生個人に考えさせるようにした。また技術職員の負担軽減のため、実習プログラムを一部変更した。

工業力学 II：演習問題を先に提示しておくことで、予習のモチベーションを向上させた。

基礎電気電子工学：科目受講をすると、どのような資格取得へ結びつくのか、具体的に提示した。

確率・統計：高校での習熟状況にあわせるため、センター試験をベースに導入部を構成し直した。

### 電気電子工学科

「平成 29 年度佐賀大学 FD/SD セミナー「学生主体」の授業デザインと運営手法～アクティブラーニング導入のコツ～」に参加し、毎回の授業で実施しているテストにおいて、本人が解答後に別の学生に採点させ、採点後に本人に返却することで、授業中にテストの解答および採点という主体的活動を取り入れた。

平成 29 年 9 月 8 日開催の FD セミナー「ICT 活用教育実践に伴う著作権研修」を受講し、学生に見せるスライドなどについて著作権に配慮するよう心がけた。

平成 30 年 3 月 6 日開催の FD セミナー「導入・LTD 話し合い学習法」を受講し、電磁気学 D 及び演習におけるアクティブラーニング導入の参考とした。

授業参観の結果、以下のような授業の工夫が学科で共有された：

1. 小テストの最後 2 分間程度は、周りの学生と教えあう時間を設定して、アクティブラーニングの要素を取り入れる。
2. スライドと同じ内容の資料を配布する。重要な箇所は下線のみにして、学生に書き込ませる（穴埋めドリル方式）。これにより、学生は全てを書き写す必要はなく説明を十分に聞くことが出来ると共に、書き込みをする必要があるので居眠りしない。
3. 授業中に発言すると加点するようにして、学生が積極的に発言する。
4. 黒板を利用するときは、スクリーンを上げて黒板を広く使う。
5. 小テストの解説を実施し、学生は説明を聞いて、友人と相談しながら理解している。時間を置いて小テストを回収することで、小テストを理解する時間を与える。
6. ゆっくりと問いかけるように話して、授業が非常に聞きやすい。わからないことがないか頻繁に確認する。黒板を消すときに必ず書き写したか学生に確認する。
7. 基本的に学生に問いかけるような姿勢で講義して、学生の反応を見ながら解説する。
8. 教科書の図面をプロジェクタに映し、そこに書き込みを入れて説明する。

### 都市工学科

都市環境基盤特別講義（社会基盤プロジェクト演習）：演習内容に対する助言をいただくた

めに、国土交通省や佐賀県庁の現役職員・OB 職員に講義に参加してもらい、より実践的な内容の演習を行った。

都市計画：講義の後半3コマをグループワークとし、都市における課題を見つけ都市計画的な改善案を提案することで、都市計画制度の有効性と限界を理解するための機会を設けた。

## (1.2) 博士前期課程

### 数理科学専攻

代数学特論 I：授業内容及び補足のプリントを Web で公開した。

代数学特論 II：授業の教材を作成、配布するとともに、全講義録を Web で公開して自由に学習できるようにした。

### 物理科学専攻

素粒子物理学：自作のテキストを充実させることで、学生に自己学習させて発表させ、履修者間での質疑応答の機会を作るなど、対話型の授業ができた。また、テキストを学生の学力にあわせて改訂した。

### 知能情報システム学専攻

計算機アルゴリズム特論：学部における科目の復習として、十分な数の例題を示すとともに、プログラミングスキル向上のために、課題を与えた。

### 循環物質工学専攻

基礎無機化学特論・基礎有機化学特論・基礎物理化学特論・基礎反応化学特論：学問的基礎を体系的に整理させ、博士前期課程での研究に活かせるように指導した。

### 機械システム工学専攻

機械システム工学特論 I（機械システム工学 PBL 特講）：学部生の「機械システム工学 PBL 演習」に大学院生がリーダー役で参加する形態の地域連携実践的キャリア科目を昨年度から継続して実施した。

### 電気電子工学専攻

- ・脳型情報処理特論：資料、スライドは英語で作成した。英語を読み上げるとともに、日本語訳を話し、日本人学生の英語学習にも役立つように配慮した。
- ・平成 30 年 2 月 5 日に開催された TP を基にした教育改善に関する FD 講演会を聴講して、講義内容を分かりやすくするために、身近な例を紹介しながら解説を行った。
- ・適応システム特論：FD 講演会でのアクティブラーニングの話を参考に、演習と解説を交互に行うようにした。
- ・線形代数学の授業参観におけるプロジェクター(スライド)の使い方を参考にして、スライドを用いていたインターフェース科目において、ゆっくりと説明しながら1行ずつ表示するように変えた。

### 都市工学専攻

都市構成システム論：PPGA 科目として実施したため、授業は英語で行ったが、日本人学生

と留学生が共に内容を理解できるように、日本語・英語両方の配布資料を用意した。

### 先端融合工学専攻

医工流体応用学特論：英語と日本語を使って留学生と日本人学生がともにわかりやすい資料の作成を心がけた。プレゼンテーションでは各自が内容をよく練った非常に興味深い内容となった。医工流体機器特論：講義形式で行うとともに、毎回講義後に小テストを行い、授業の理解力の向上を図った。

バイオメディカルフォトニクス特論：毎回、講義中に演習問題を解いてもらい、理解度の向上に努めた。

## 授業改善の取り組み状況に係る優れた点（学部・研究科等別）

### (1) 学士課程

#### 数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

#### 物理科学科

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

#### 知能情報システム学科

・eラーニングや紙での独自アンケート・コミュニケーションカード・小テスト時の自由記述欄などで学生の意見を吸い上げ、業改善を行っている。

・一部科目では、毎回の小テスト・宿題により講義内容の理解度・出席率を高めるとともに、採点結果を返却し復習に役立たせた。

・学習アドバイザー（プログラミング系・数学系）による学習支援を行っている。成績不振の学生を優先して指定しており、成績に反映させている。

・プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自習（問題数 200 題程度、回答し正解した問題総数が半期で約 1000 題ほど、1 人平均で年間 30 問ぐらい解いている）。

・eラーニングシステムを活用することで課題提出の管理を向上させた。

・一部演習の電子化により、フィードバックが多少改善された。

・毎回の授業後に Moodle 小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに、学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答えは自動採点され、学生にフィードバックされるとともに、成績にも反映される。

・「Moodle 版大福帳」を活用して、学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し、次回の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると、学生が質問する際のハードルは低い。また、教員の側も、質問を収集することで学生の理解状況が分かる。

- ・ PowerPoint スライドで授業をしているが、一部を空欄にして学生に書き取りをさせる方法は、学生の評判も良い。居眠りを減らす効果もある。
- ・ 提示資料を講義終了後にホームページにアップロードしたことで、講義中にノートを取る学生が多くいるなど、意欲を高める効果があったと考える。
- ・ 授業の難易度が多少高くても、意味のある内容であることをきちんと説明すれば、学生は納得もするし、ついてもきている。

#### **機能物質化学科**

実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、平成 19 年度より独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。平成 23 年度からは教育改善委員会を新たに設置し、要改善の科目については、次年度の授業改善を担当教員に報告してもらい、教育改善委員会でその妥当性についてチェックしている。

#### **機械システム工学科**

学期ごとに提出する FD レポートにおいて各教員が各講義の改善点をあげ、改善に取り組んでいる。また FD 委員が FD レポートを取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては改善を行うようにしている。

#### **電気電子工学科**

学生による授業評価の高い授業を選出し、その授業を公開してもらって学科教員が参観している。参観した教員はその授業の良い点などを書いた報告書を FD 委員に提出し、FD 委員は総評を作成して学科に公開している。これによって、学科の全教員に対して、評価の高い授業の授業方法を参考にして自身の授業を改善する機会を提供している。

#### **都市工学科**

学科内で教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

なお、JABEE を実施している 4 学科に関しては、JABEE の基準に従い、定期的に教育の改善に関する会議を開催し、逐次、教育改善を進めているはずである。

### **(2) 博士前期課程**

#### **数理科学専攻**

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

#### **物理科学専攻**

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

### 知能情報システム学専攻

概ね良好であるため維持したい。個別の授業科目について具体的な意見を得るためのアンケートを独自に実施し、その結果を受けていくつかの科目で講義内容・講義計画の改善に取り組んでいる。

### 循環物質化学専攻

母体とする機能物質化学科と同様に、分野別教員会議や教育 FD 委員会において、専門に近い教員グループにより授業の改善を続けている。

### 機械システム工学専攻

専攻として組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の授業改善目標を設定している。

### 電気電子工学専攻

授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

### 都市工学専攻

専攻内で教育システム委員会を開催し、学部から大学院までの体系的な教育方法の検討などを行っている。

### 先端融合工学専攻

先端融合工学専攻では、26年度より電気系、機械系、化学系の学生が融合して実験や演習を行う科目としてプロジェクトスタディを開設し、各系の学生が3～5人一組になって、各系の研究内容を体験させ、さらに27年度より学生に本来の専門を超えた知識を得るため電気系、機械系、化学系の教員が協力して行う先端融合工学特別講義Ⅰの他専攻にはない科目を実施している。“この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか”という質問に対して、プロジェクトスタディは高い評価(4.273(全体平均 3.935))を得ており、教員各位の工夫が見受けられる。これらの講義の満足度も増加傾向にあり(プロジェクトスタディ:3.846(2015年度)→3.667(2016年度)→4.091(2017年度)、先端融合工学特別講義Ⅰ:3.417(2015年度)→3.700(2016年度)→4.091(2017年度))、教員各位の継続的な講義の改善結果が表れている。

### ○博士後期課程

学生数に近い論文発表件数、学生数の2倍近い学会発表件数から分かるように、高い研究水準の教育がなされている。

平成29年度 授業評価報告書

佐賀大学農学部

佐賀大学大学院農学研究科

## はじめに

大学法人化後、佐賀大学は、高等教育機関としての機能を強化・充実することで社会的責任を果たすことを求められてきた。その方策のひとつとして、教育活動の実態を適確に把握し、課題を整理し、問題を解決するために、全ての授業科目について全学共通の様式を用いた「学生による授業評価アンケート」とその集計結果をうけての「科目担当教員による授業点検評価報告」による授業改善システムを構築し、運用を行ってきた。

農学部および農学研究科では、カリキュラムの見直しや単位実質化に関する改善など、教育改革や内部質保証のためのさまざまな取り組みとともに、平成18年度から授業評価アンケートを実施し、アンケート結果の集計・公表と、授業改善への利活用を進めている。

本報告には、平成29年度農学部及び農学研究科の開講科目に関する授業評価アンケートの結果(学科・コース別)取り纏めと、アンケート結果の分析に基づく授業改善を進めるための提言を記している。アンケートでは、学生側の課題として、学習到達目標や成績評価基準の理解度、出席率、授業時間外学習の時間、シラバスの活用度、満足度などについて調査し、分析した。教員側の課題としては、教育方法や成績評価方法の説明、シラバスに準拠した授業の実施、教材の満足度、アクティブラーニングへの配慮、質問や相談への対応などについて調査し、分析した。授業評価アンケートは、大学院農学研究科(修士課程)についても学部開講科目と同様の内容のアンケートを行い、取り纏めと結果の分析を行った。

以上の様な取り組みを通して、活力のある教育システムを構築・実践し、農学部・農学研究科で掲げる教育目標の実質化及び質の向上を達成することによって、教育・研究活動に貢献することを目指している。

平成30年10月

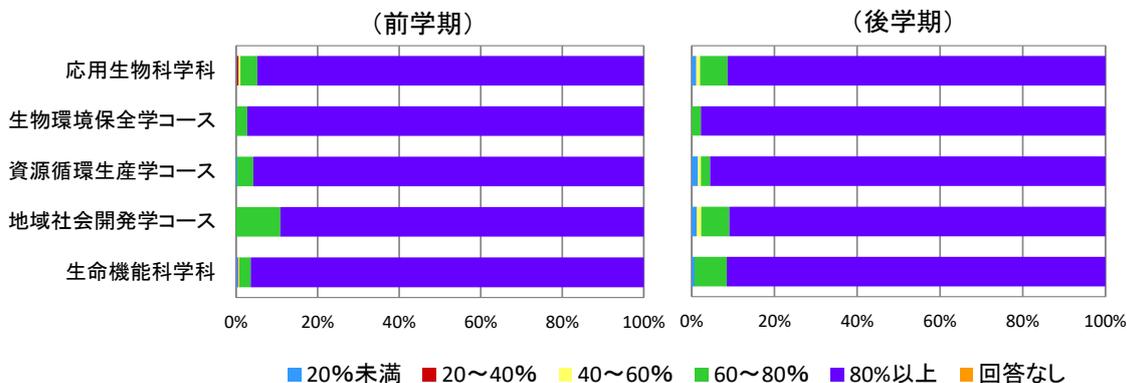
農学部FD委員会

大学院農学研究科 FD 委員会

## 農学部組織別授業評価分析結果

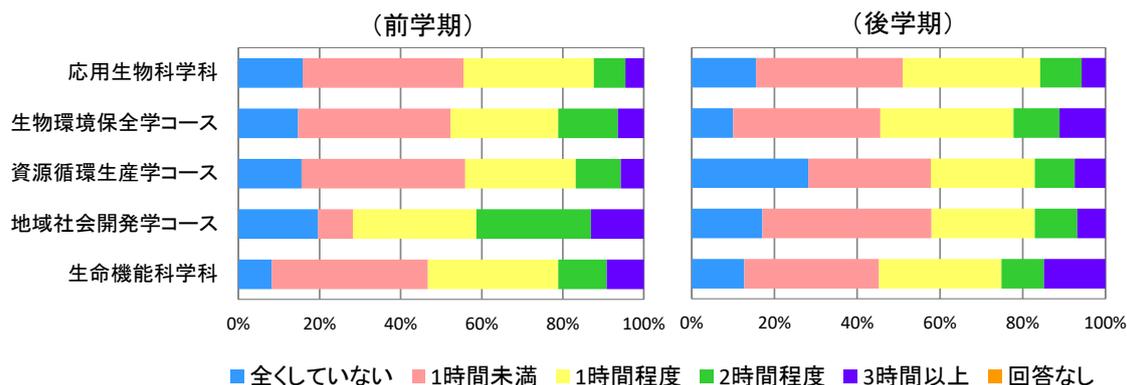
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



出席率が80%以上の学生は、前期では、応用生物科学科が94.8%、生物環境保全学コースが97.2%、資源循環生産学コースが95.8%、地域社会開発学コースが89.1%、生命機能科学科が96.4%であり、後期では、応用生物科学科が91.4%、生物環境保全学コースが97.8%、資源循環生産学コースが95.6%、地域社会開発学コースが90.9%、生命機能科学科が91.5%であった。いずれの学科・コースも出席状況は良好であったと言える。

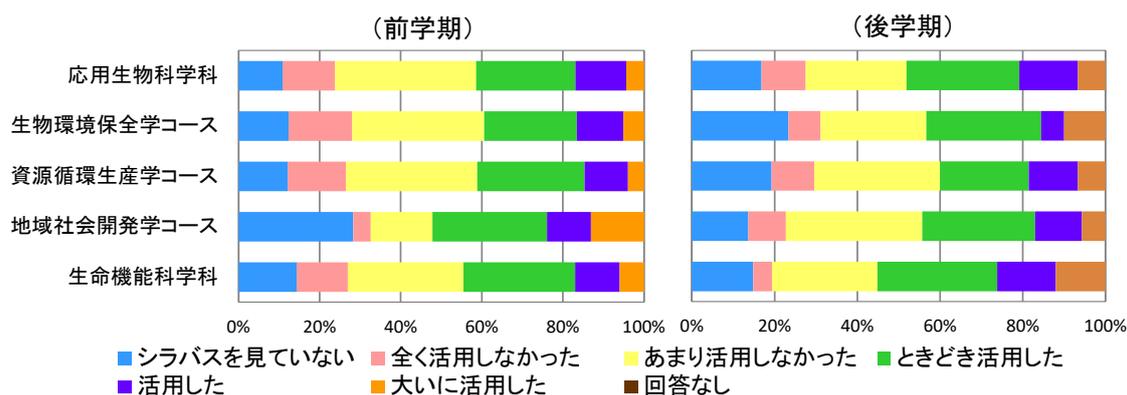
#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



「全くしていない」と回答した学生は、前期では、応用生物科学科が15.8%、生物環境保全学コースが14.7%、資源循環生産学コースが15.6%、地域社会開発学コースが19.6%、生命機能科学科が8.2%であり、後期では、応用生物科学科が15.5%、生物環境保全学コースが10.0%、資源循環生産学コースが28.1%、地域社会開発学コースが17.0%、生命機能科学科が12.7%であった。これは概ね前年度と同様の割合である。一部のコースでは、前期

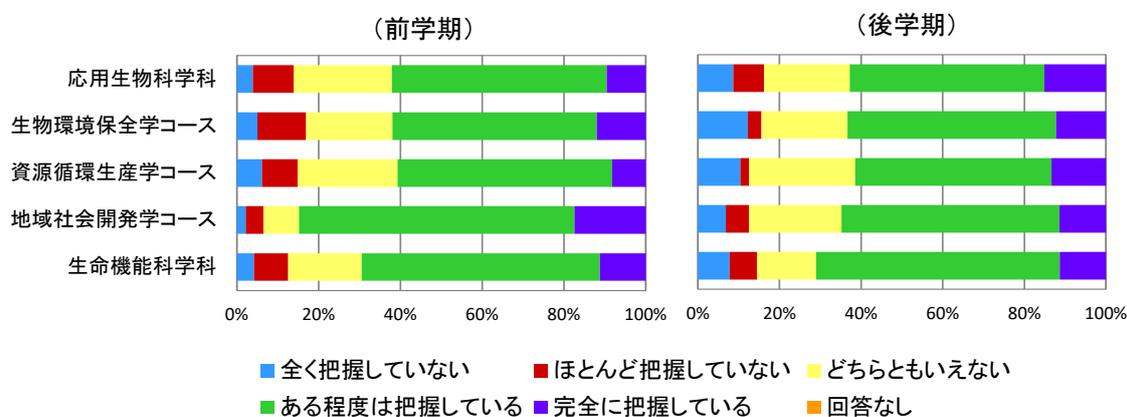
よりも後期で割合が増加する傾向が見られるため、継続的な学習意欲を促す取り組みが重要である。一方、今年度は、前年度に比べて2時間以上の時間外学習をした学生の割合が上昇している。これは、教員側から繰り返し予習・復習の重要性を説明している結果が反映されている可能性がある。今後とも、学生の授業時間外学習を促す指導を継続していくことが重要である。

### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」、と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が41.4%、生物環境保全学コースが39.4%、資源循環生産学コースが41.1%、地域社会開発学コースが52.2%、生命機能科学科が44.5%であり、後期では、応用生物科学科が48.1%、生物環境保全学コースが43.3%、資源循環生産学コースが40.0%、地域社会開発学コースが44.3%、生命機能科学科が55.1%であった。前年度と同様に、シラバスを活用している学生は依然として全体の約半数に留まっている。この結果からは、シラバスの活用がまだ十分であるとは言い難い状況であり、学生に引き続きシラバスの活用を促していく必要があると考えられる。

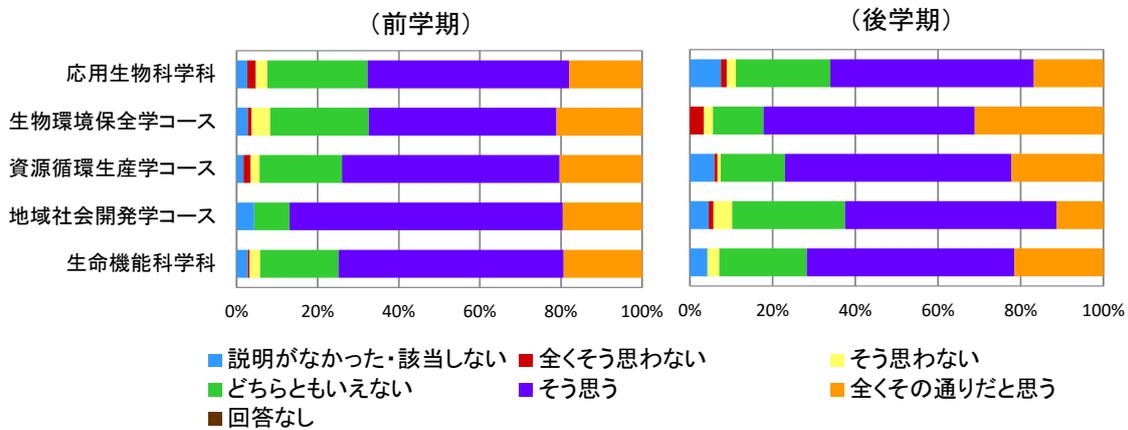
### A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」、と答えた学生の合計は、前期では応用生物科学科が 62.0%、生物環境保全学コースが 61.9%、資源循環生産学コースが 60.6%、地域社会開発学コースが 84.8%、生命機能科学科が 69.5%、後期では、応用生物科学科が 62.7%、生物環境保全学コースが 63.3%、資源循環生産学コースが 61.5%、地域社会開発学コースが 64.8%、生命機能科学科が 71.0%であった。この結果は前年度と同様、あるいは若干低下している傾向が認められる。ある程度の学生は学習到達目標や成績評価基準を把握していると考えられるが、今後も教員が講義中に十分に周知をはかることにより、把握率を高める必要がある。

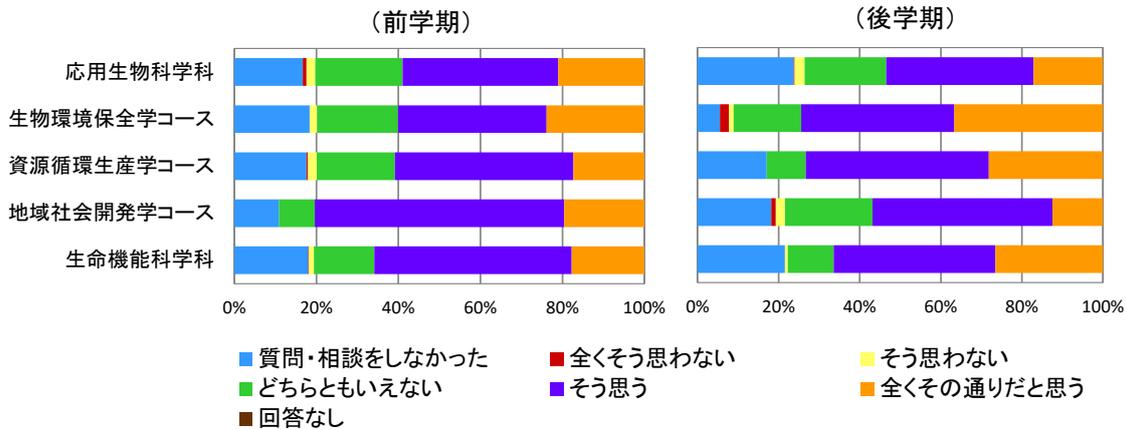
## B. 教員の対応

### B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



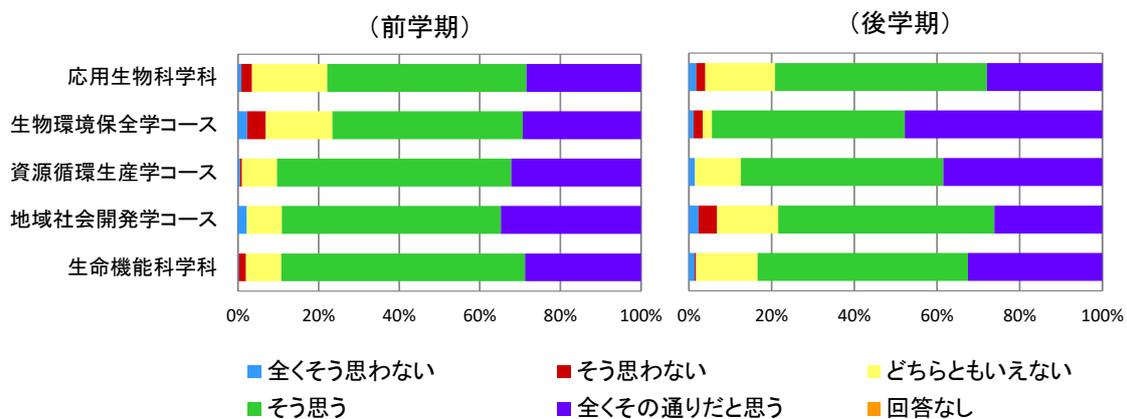
教育方法や成績評価方法等の説明が有益でしたかという問いに、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と答えた学生の合計は、前期では応用生物科学科が 67.7%、生物環境保全学コースが 67.4%、資源循環生産学コースが 74.0%、地域社会開発学コースが 87.0%、生命機能科学科が 74.9%、後期では、応用生物科学科が 66.1%、生物環境保全学コースが 82.2%、資源循環生産学コースが 77.0%、地域社会開発学コースが 62.5%、生命機能科学科が 71.7%であった。しかし、「全くそう思わない」、「そう思わない」、「どちらともいえない」と回答した学生も一定数いることから、今後もさらなる改善を図っていく必要があると考えられる。

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



質問や相談に適切に対応してくれたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 66.1%、生物環境保全学コースが 82.2%、資源循環生産学コースが 77.0%、地域社会開発学コースが 62.5%、生命機能科学科が 73.3%、後期では、応用生物科学科が 53.4%、生物環境保全学コースが 74.4%、資源循環生産学コースが 70.7%、地域社会開発学コースが 56.8%、生命機能科学科が 66.4% であり、多くの学科・コースで前年度よりも割合が上昇した。一方、「質問・相談をしなかった」学生の割合が、前期では応用生物科学科が 16.7%、生物環境保全学コースが 18.3%、資源循環生産学コースが 17.6%、地域社会開発学コースが 10.9%、生命機能科学科が 18.0%、後期では、応用生物科学科が 23.7%、生物環境保全学コースが 5.6%、資源循環生産学コースが 17.0%、地域社会開発学コースが 18.2%、生命機能科学科が 21.6% あり、より学生の積極性を高めるとともに、質問しやすい環境を整えることによりこの割合を減らしていくことも重要である。

## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

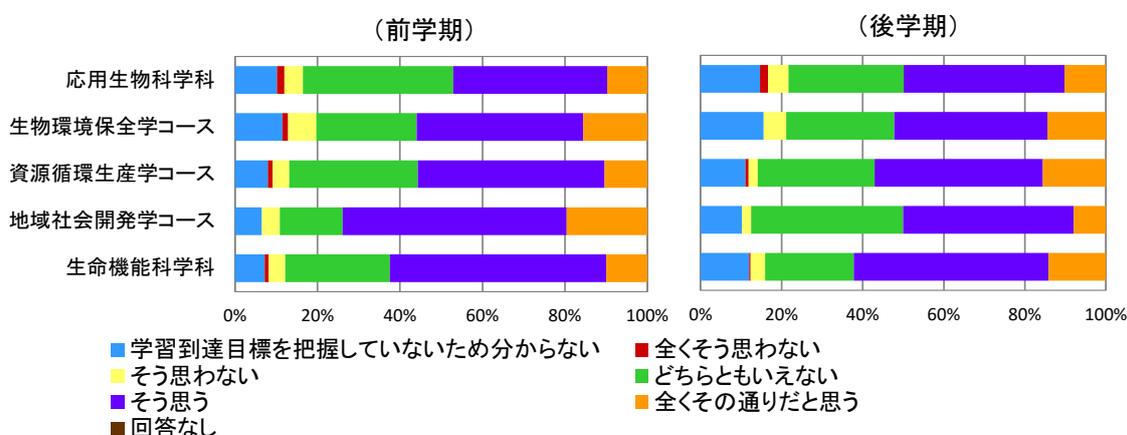


意欲や熱意が感じられたという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と

回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が77.9%、生物環境保全学コースが76.6%、資源循環生産学コースが90.3%、地域社会開発学コースが89.1%、生命機能科学科が89.2%、後期では、応用生物科学科が79.2%、生物環境保全学コースが94.4%、資源循環生産学コースが87.4%、地域社会開発学コースが78.4%、生命機能科学科が83.4%であった。前年度に引き続き、いずれのコースも高い割合を維持していると言える。一方で、「全くそう思わない」、「そう思わない」とした学生もわずかではあるが存在するため、現状に満足せず、引き続き改善に努めることが必要である。

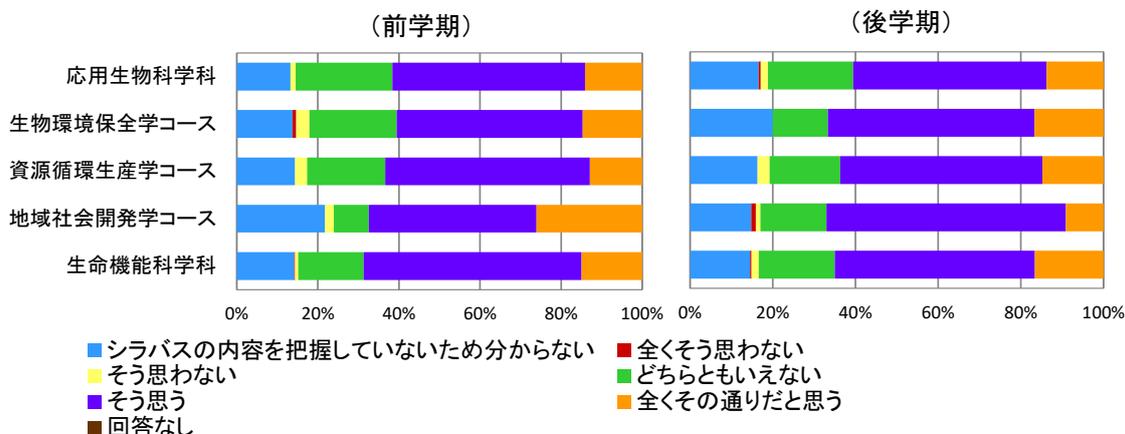
### C. 授業内容および授業方法について

#### C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



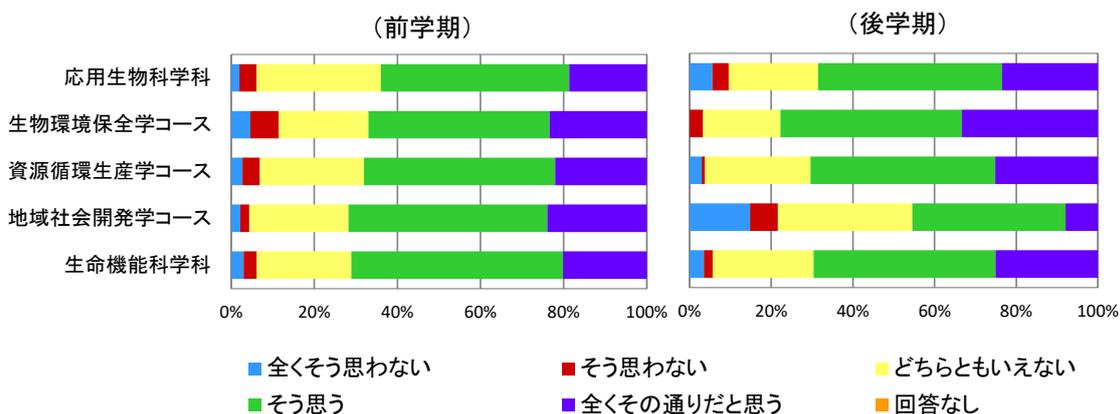
学習到達目標を達成できたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が47.1%、生物環境保全学コースが56.0%、資源循環生産学コースが55.7%、地域社会開発学コースが73.9%、生命機能科学科が62.5%、後期では、応用生物科学科が49.9%、生物環境保全学コースが52.2%、資源循環生産学コースが57.0%、地域社会開発学コースが50.0%、生命機能科学科が62.2%であった。一方、「学習到達目標を把握していないため分からない」という回答も一定数見られ、目標の十分な周知も重要であると考えられる。

## G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



授業内容がシラバスに基づいていたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 61.6%、生物環境保全学コースが 60.6%、資源循環生産学コースが 63.4%、地域社会開発学コースが 67.4%、生命機能科学科が 68.7%、後期では、応用生物科学科が 60.5%、生物環境保全学コースが 66.7%、資源循環生産学コースが 63.7%、地域社会開発学コースが 67.0%、生命機能科学科が 65.0%であった。一方、「シラバスの内容を把握していないため分からない」と回答した学生も一定数いたことから、今後もシラバス活用の周知を一層図っていく必要がある。

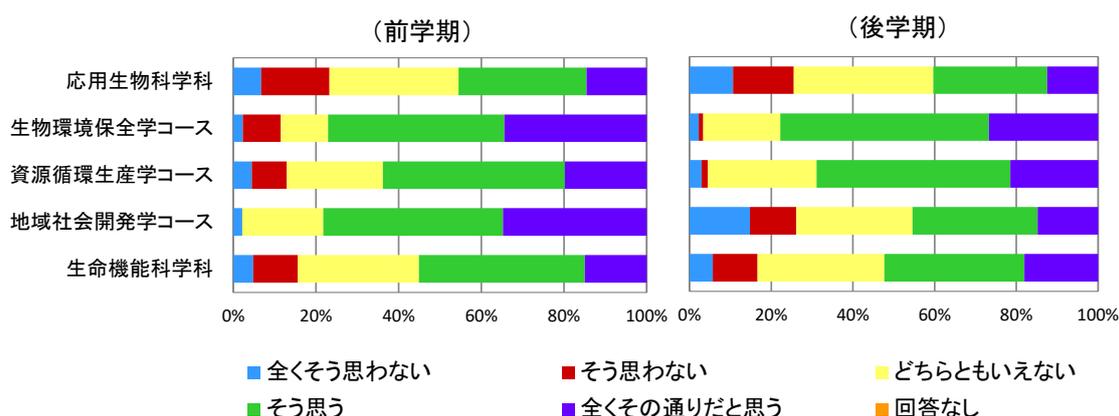
## G-3 教材（教科書、配布資料）や ICT 環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材や ICT 環境が授業の理解に役立ったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 64.0%、生物環境保全学コースが 67.0%、資源循環生産学コースが 68.1%、地域社会開発学コースが 71.7%、生

命機能科学科が 71.1%、後期では、応用生物科学科が 68.5%、生物環境保全学コースが 77.8%、資源循環生産学コースが 70.4%、地域社会開発学コースが 44.5%、生命機能科学科が 69.6%であった。前年度に引き続き、概ね満足は得られているようであるが、学生の理解を高める資料の作成など、各教員が引き続き取り組む必要がある。

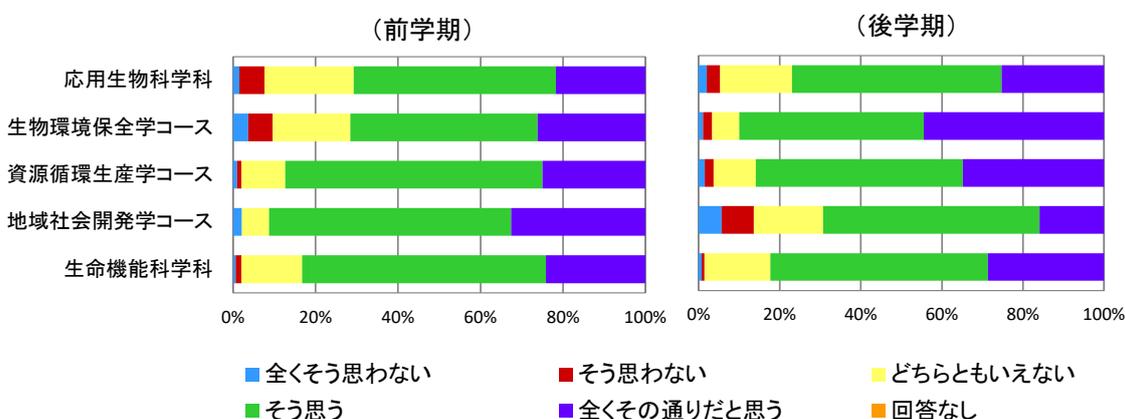
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 45.6%、生物環境保全学コースが 77.1%、資源循環生産学コースが 63.9%、地域社会開発学コースが 78.3%、生命機能科学科が 55.1%、後期では、応用生物科学科が 40.4%、生物環境保全学コースが 77.8%、資源循環生産学コースが 68.9%、地域社会開発学コースが 45.5%、生命機能科学科が 52.3%であり、概ね前年度よりと同様の割合であった。引き続き、各教員がアクティブラーニングの積極的な導入を意識して授業に取り組む必要がある。

#### D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



授業に全体として満足できた（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）と答えた学生の割合は、前期では応用生物科学科が 70.7%、生物環境保全学コースが 71.6%、資源循環生産学コースが 87.4%、地域社会開発学コースが 91.3%、生命機能科学科が 83.2%、後期では、応用生物科学科が 76.9%、生物環境保全学コースが 90.0%、資源循環生産学コースが 85.9%、地域社会開発学コースが 69.3%、生命機能科学科が 82.3%であった。いずれも前年度とほぼ同様の割揃いであり、大部分の学生が授業に満足していると判断できる。引き続きこの割合を高める努力をしていく必要がある。

## 総括

### 「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

前年度までの報告でも述べたとおりであるが、学部内・学科内における各学科の内容（必須科目・非必須科目の違いを含む）や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは現状では困難である。しかし、現状で入手できる資料を用いて基準を精査することは重要である。

選考基準の一つとして、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問したアンケートの質問事項B～Dにおいて高い評価を得ている科目が挙げられる。次に、講義だけでなく、自学によって高度な知識や見識を身に付けたり、知的好奇心が満たされたりすることから得られる満足感を評価する必要があると考えられるため、授業時間外学習が確保されている科目も選考基準の一つとして挙げられる。そして、学生によるアンケート入力率が高い科目も選考基準の一つとして考慮すべきであろう。

### 「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

出席率に関しては、出席率80%以上の学生が前後期通じて89.1%～97.8%となり、前年度に引き続き高い値を示した。授業時間外学習に関しては、「全くしていない」と回答した学生は、平均すると前年度とほぼ同じような少ない割合であり、各教員が予習復習の重要性を説明している結果がでていいると考えられる。なお、今年度は、2時間以上の時間外学習をした学生の割合が前年度に比べて上昇していた。これは、各教員が学生意欲を高める取り組みを意識している結果だと考えられる。今後は、この割合を、より高めていくことが望まれる。また、教員の授業に対する意欲や熱意に関する満足度も去年に引き続き良好であり、授業に全体として満足できたとする割合も高かったことは評価できる。しかし、一方で、シラバスの活用度に関しては、平均して前年度から特に向上していないことから、授業内でシラバスの積極的活用をより一層促すなどの改善を行う必要があると考えられる。

### 「次年度の授業改善目標」

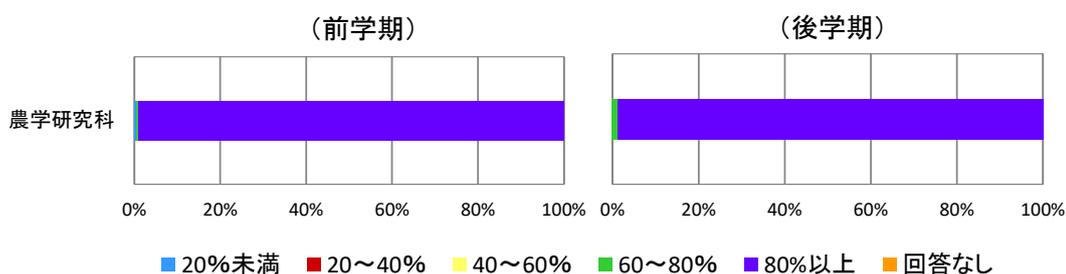
上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上に取り組み、学習管理を支援するラーニングポートフォリオの活用を促す。また、該当する科目について、ルーブリック評価の導入・定着を図る。

## 大学院農学研究科授業評価分析結果

農学研究科は、応用生物科学、生物環境保全学、資源循環生産学、地域社会開発学、生命機能科学の5コースから構成される。授業評価アンケートは5コースの教員が担当する授業科目を一つに集約した結果に基づいて報告する。

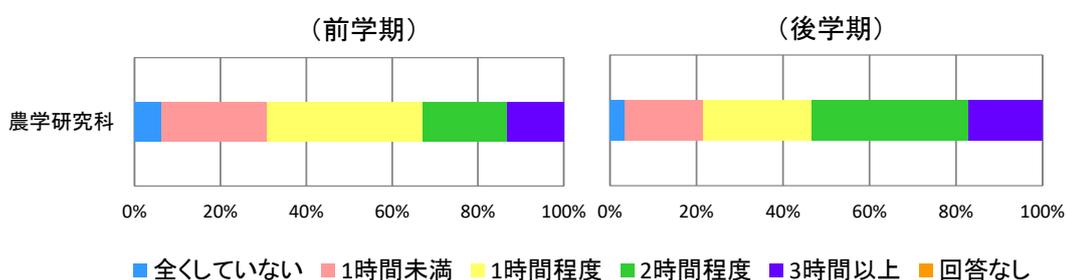
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



出席率が80%以上の学生は、前期・後期とも98.9%であり、出席状況は極めて良好であった。

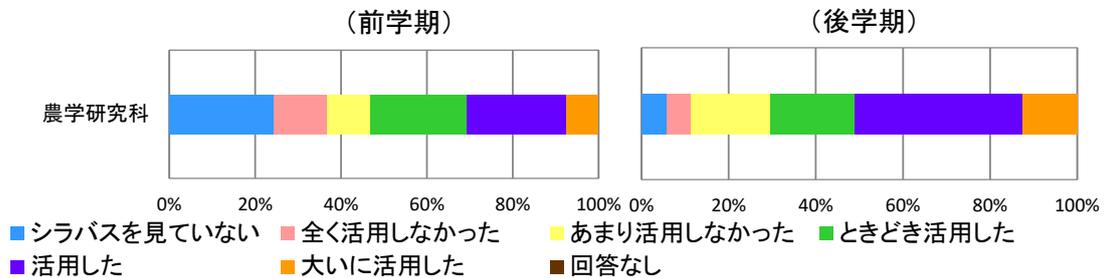
#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



全くしていないと答えた学生は、前期では6.4%、後期では3.4%であった。また、1時間未満と答えた学生は、前期では24.5%、後期では18.2%であった。これは昨年度とほぼ同様の割合であり、授業時間外学習が不足している学生が、依然として一定数存在することがわかった。一方で、3時間以上と答えた学生も、前期では13.3%、後期では17.0%おり、前

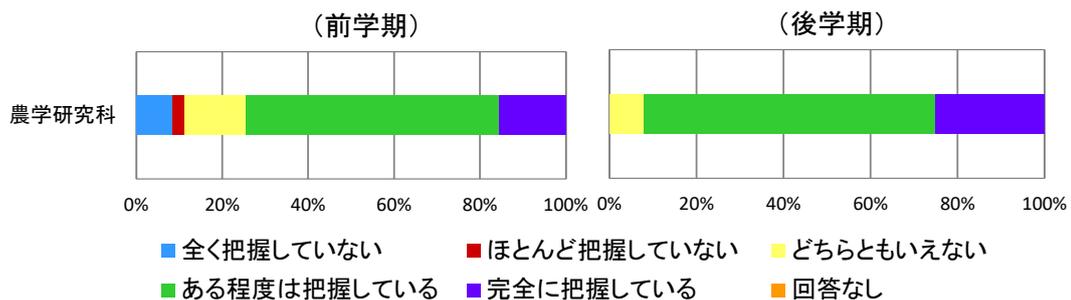
年度同様、学生によって授業時間外学習の幅に大きな違いがあることが明らかになった。

### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」、と回答した学生の合計は、前期では 30.9%、後期では 51.1%であり、依然として十分とは言い難い。学生に引き続きシラバスの活用を促していく必要がある。

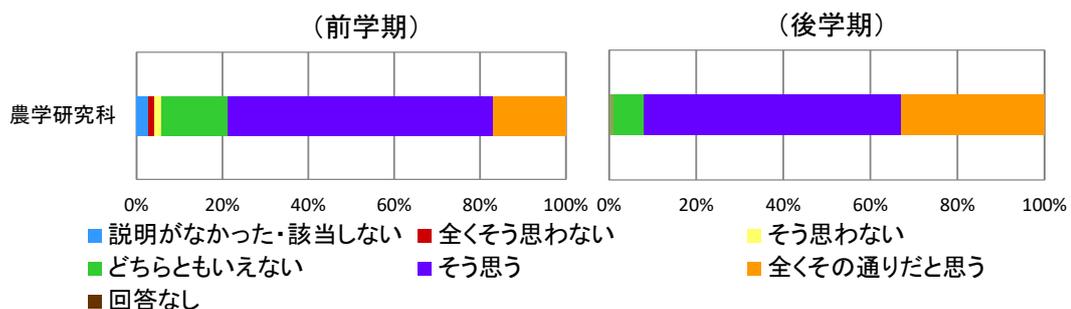
### A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」、と答えた学生の合計は、前期では 74.5%、後期では 92.0%であった。これは前年度とほぼ同様の割合であり、大部分の学生はこれらの情報を把握していると考えられた。

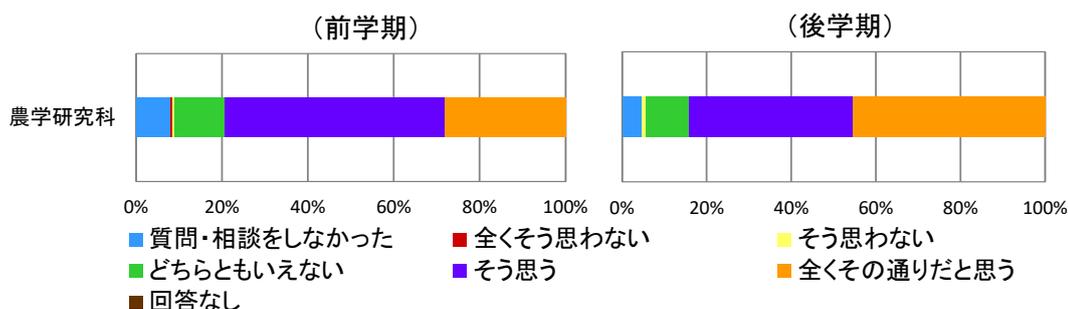
## B. 教員の対応

### B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



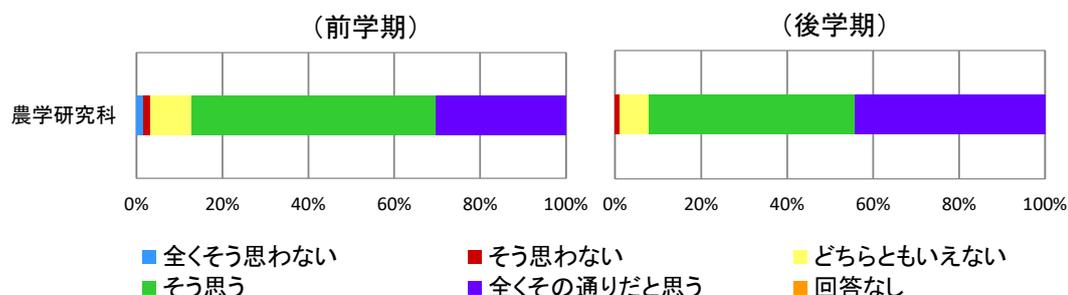
教育方法や成績評価方法等の説明が有益でしたかという問いに、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と答えた学生の合計は、前期では 78.7%、後期では 92.0%であった。いずれもほぼ満足が得られていると考えられた。

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



質問や相談に適切に対応してくれたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 79.3%、後期では 84.1%であり、高い満足感が得られていることがわかった。一方で、質問・相談をしなかった学生の割合が前期では 8.0%、後期では 4.5%となっており、学生が積極的に質問や相談できる環境を整えていく必要があると考えられる。

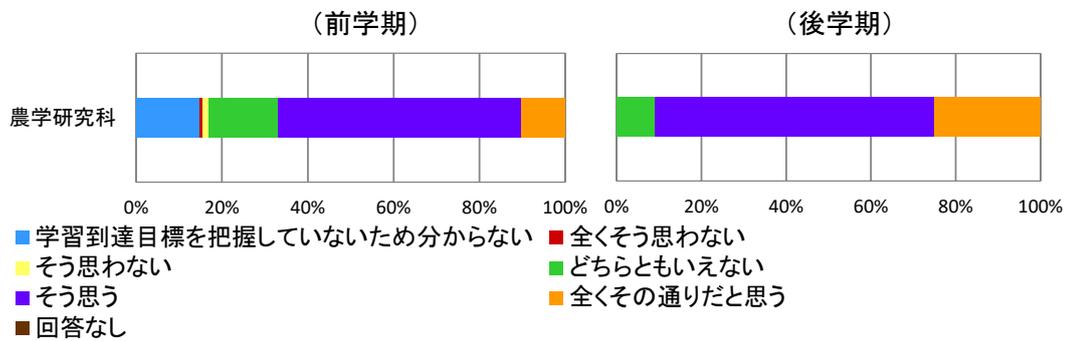
## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



意欲や熱意が感じられたという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 87.2%、後期では 92.0%であり、前年度に引き続き、高い満足感が得られていることがわかった。一方で、「全くそう思わない」、「そう思わない」とした学生もごくわずかであるが存在するため、厳しい評価となった科目に関しては引き続き改善が必要であると考えられる。

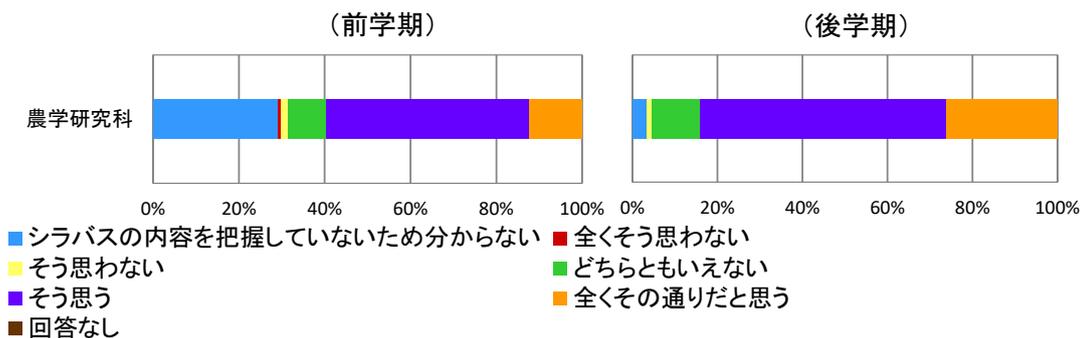
## C. 授業内容および授業方法について

### C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



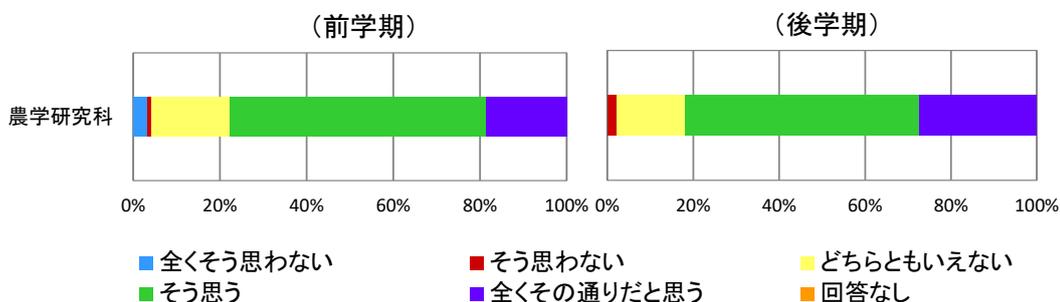
学習到達目標を達成できたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 67.0%、後期では 90.9%であり、特に後期に関してはほとんどの学生が目標を達成できたと考えていることがわかった。

### C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



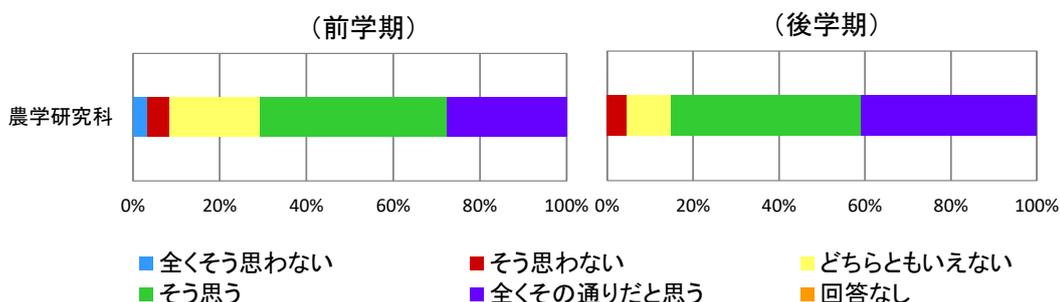
授業内容がシラバスに基づいていたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 59.6%、後期では 81.8%であり、前学期に比べて後学期の方がシラバス活用の周知が行き届いていることがわかった。入学直後からシラバスの活用を促すような配慮が必要であると考えられる。

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材やICT環境が授業の理解に役立ったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では77.7%、後期では81.8%であり、前年度に引き続き、かなり高い満足感が得られていることがわかった。

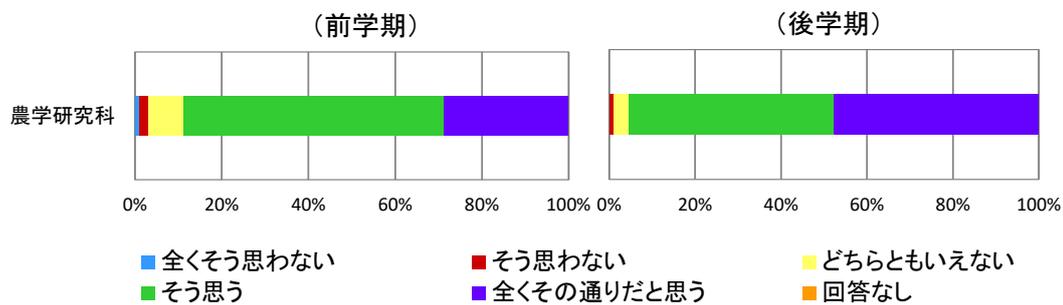
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では89.4%、後期では85.3%であり、前年度に引き続き、おおむね良好な結果だと考えられる。今後、一層、この割合を高めていく必要がある。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



授業に全体として満足できた（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）と答えた学生の割合は、前期では 88.8%、後期では 95.5%であり、前年度に引き続き、ほとんどの学生が高い満足度を得ていることがわかった。

## 総括

「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

「学生から高い評価を得ている授業科目」については、学部の総括でも述べたとおり、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難であると判断した。特に、農学研究科では1科目の受講者数が少ないため、授業科目を選択することは適切ではないと考えられる。

「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

出席率は、出席率80%以上の学生が、前期、後期とも98.9%と極めて高く、教員の授業に対する意欲や熱意、並びに授業の全体としての満足度も良好であった。授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに関しては、比較的良好な結果が得られたが、アクティブラーニングをより浸透させる点から、この割合を今後とも一層高めている努力が必要であると考えられる。一方、授業時間外学習については、全くしていない、あるいは1時間未満と答えた学生が、前期で合計30.9%、後期で合計21.6%であり、依然として一定数存在することが明らかになった。大学院が自ら学ぶ場であることを考えた場合、この割合は満足できる値とは言い難いため、今後も引き続き時間外学習を促すような指導を行っていく必要があると考えられる。また、シラバスの活用もまだ十分とは言い難いため、引き続き授業中などにシラバスを活用するように呼びかけ、改善を図ることが必要であると考えられる。

「次年度の授業改善目標」

上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。また、該当する科目（特別研究）について、ルーブリック評価の導入・定着を図る。

佐賀大学全学教育機構

平成29年度 組織別授業評価報告書

## 1. 全学教育機構の状況

全学教育機構の授業評価と分析は、下記の分類に基づいて行われる。

共通基礎科目	<ul style="list-style-type: none"><li>・外国語科目</li><li>・健康・スポーツ科目（現：共通教職科目）</li><li>・情報リテラシー科目</li></ul>
基本教養科目	<ul style="list-style-type: none"><li>・自然科学と技術の分野</li><li>・文化の分野</li><li>・現代社会の分野</li></ul>
インターフェース科目	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境コース</li><li>・文化と共生コース</li><li>・生活と科学コース</li><li>・医療・福祉と社会コース</li><li>・地域・佐賀学コース</li></ul>

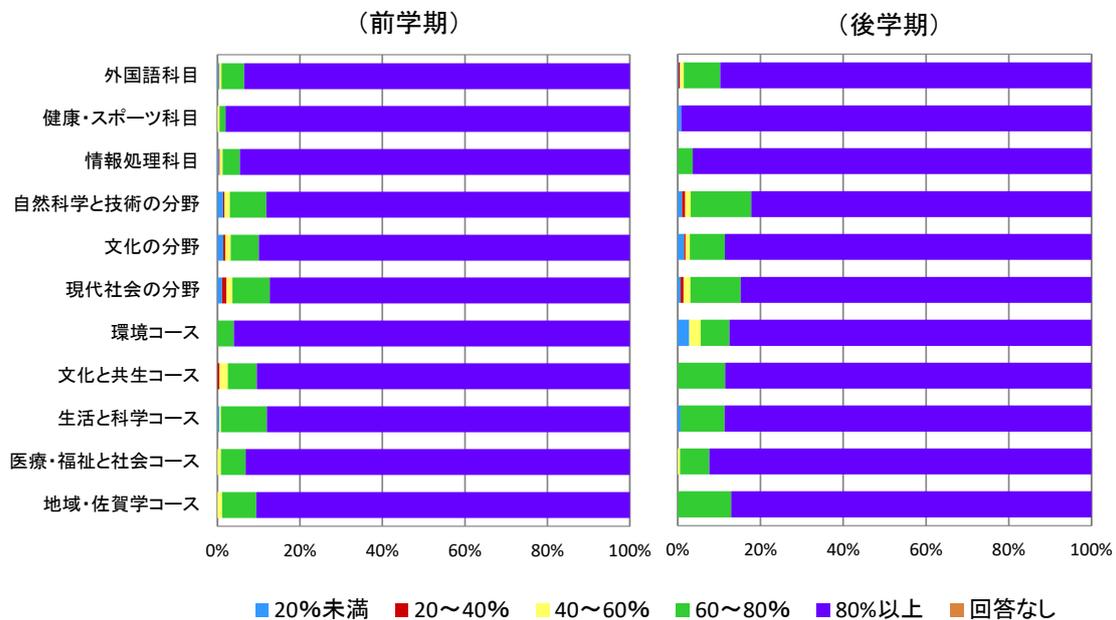
全学教育機構では、2017年度に前後期合わせて761科目が開講され、のべ受講者数は30,390名である。授業アンケートは全学的にオンラインにより全授業科目で行われおり、回答が無かった科目は存在しない。前後期合わせた総回答数は12,804件と、のべ受講者の約42%にとどまっている。少し回答数の上昇傾向はあるものの、まだ十分とは言えないため、履修登録と連動させるなどの、何か全学的に組織的な対応策を講じる必要がある。

回答の傾向としては、設問項目によっては分野による特徴が大きく現れる場合があるものの、いずれの分野・コースとも学生の授業への取り組みは良好であると思われる。特に、「出席率」や「教員の熱意」などの回答が良好であり、結果として「授業の満足度」が高く自己評価されている。一方で、授業時間外学習時間については演習的科目以外の分野では十分でないため、引き続き授業課題の設定などの見直しなどによる教育改善が必要だと思われる。

## 2. 授業アンケート結果と分析

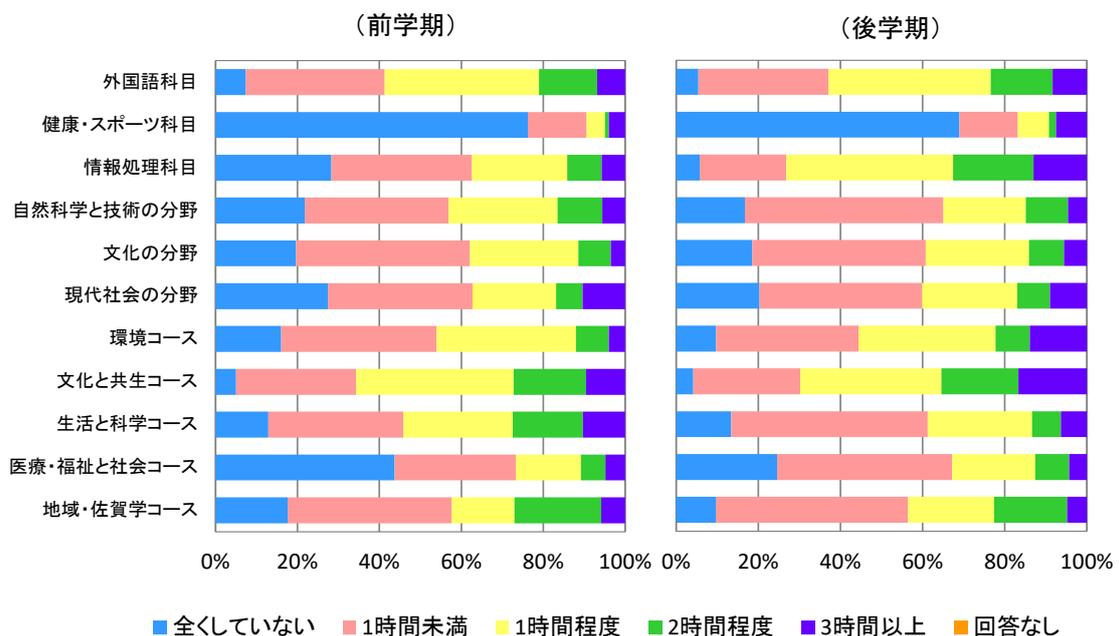
### A. あなた自身について

#### A-1 出席率はどのくらいですか



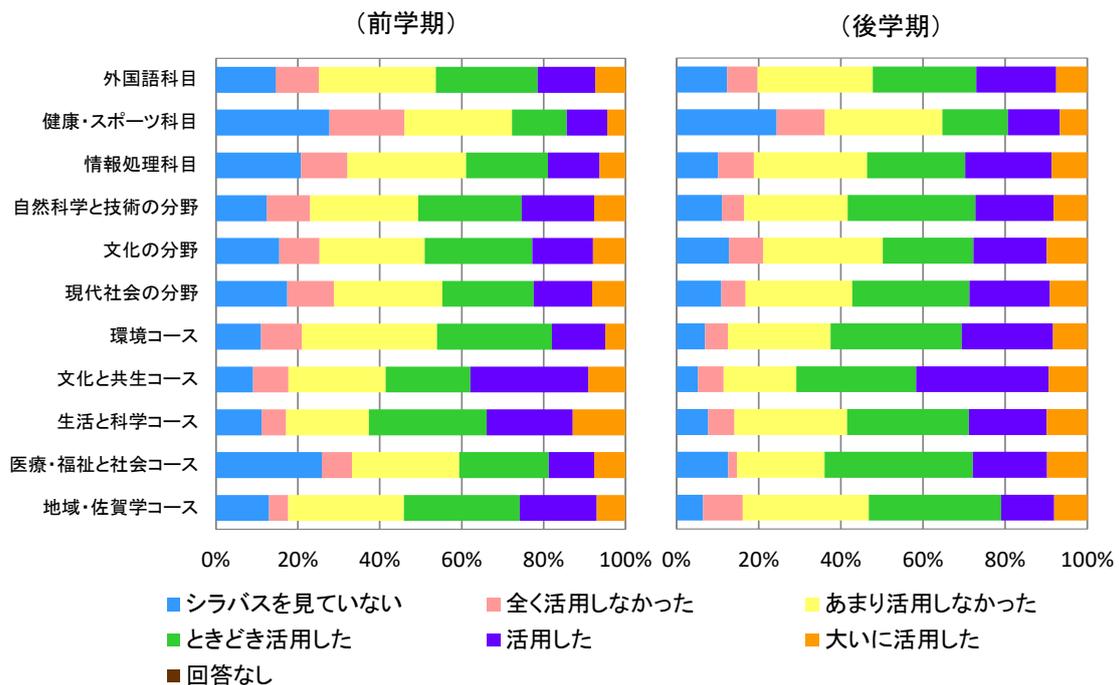
前期はいずれの科目群も「出席率 80%以上」が 9 割以上になっているが、後期は全体的に出席率がやや低下する傾向が見られる。特に、インターフェースプログラムの環境コースでは「20%未満」が急増している。一過性の事象かもしれないが、次年度以降も継続して注意する必要がある。

#### A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



標準的な2単位講義は90分の自学自習が必要であるが、グラフから分かるように1時間以下の割合がほぼ半分を占めている科目群がほとんどである。実習・演習を伴うであろう外国語科目、情報処理科目は他と異なり60~70%程度の学生が1時間以上の自習を行っているようである。このように、「明確な課題を課す」あるいは「予習をしておかないと次の講義に対応できない」など、課題と授業が連動するような工夫を通常講義にも取り入れようように改善を検討する必要がある。

### A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

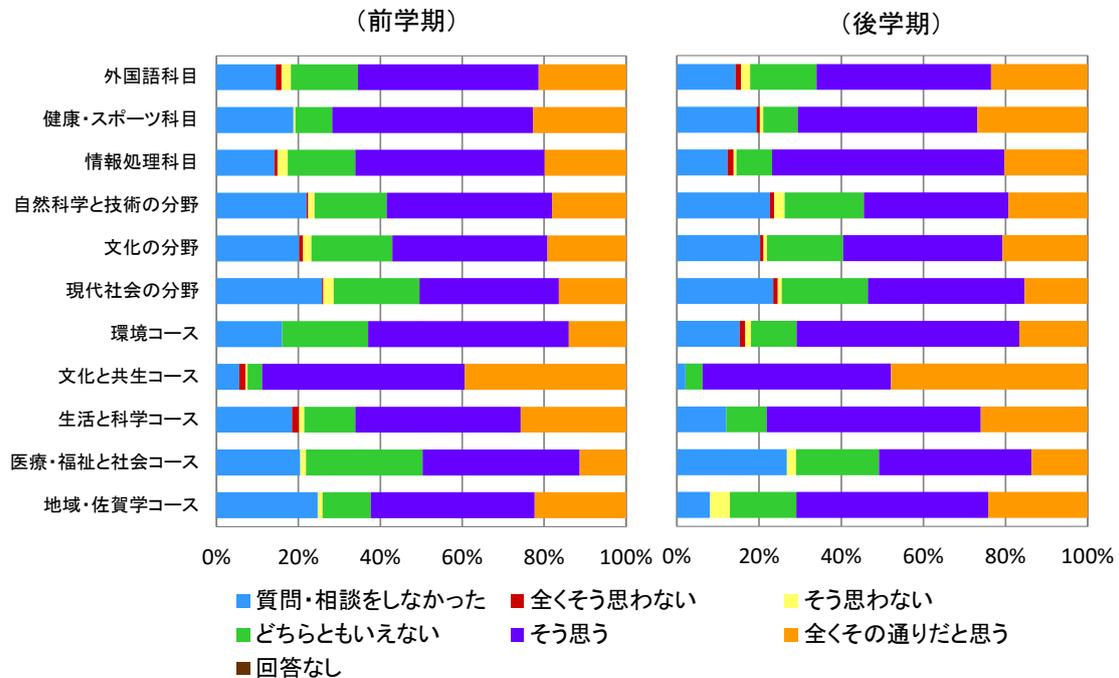


全体的に、約半数の学生がシラバスを活用していると判断できる。しかしながら、10%程度の学生はシラバスを見てもおらず、完全に受け身で授業を履修していることが分かる。現在は、ほとんどの授業で最初の時間にシラバスの説明が行われているはずなので、そのこととする記憶にないということになる。これはシラバスの問題というよりも、昨今全国的にも非常に問題になっている学生の学習意欲の低下と直結した問題だと判断される。学習意欲を引き出すための全学的な取り組みの必要性が感じられる。



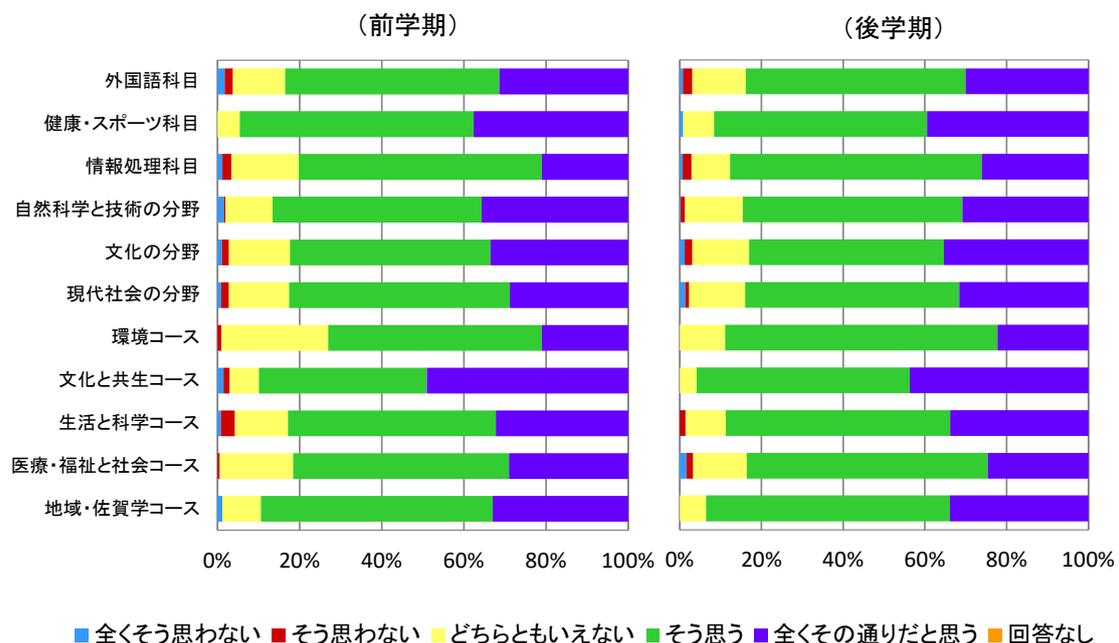
有益だと思われる回答が8割程度を占めており、批判的な回答は数%のようである。比較的積極的な学生がアンケートに回答していると考えられるため、このような結果になったと思われる。

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



相談をしなかった人が約20%で、専門科目の動向に比べると質問者数が少ない傾向があることが良くわかる。全体の6割（質問者の約8割）が教員の対応は適切であったと回答しており、丁寧な学習指導が行われていることがわかる。

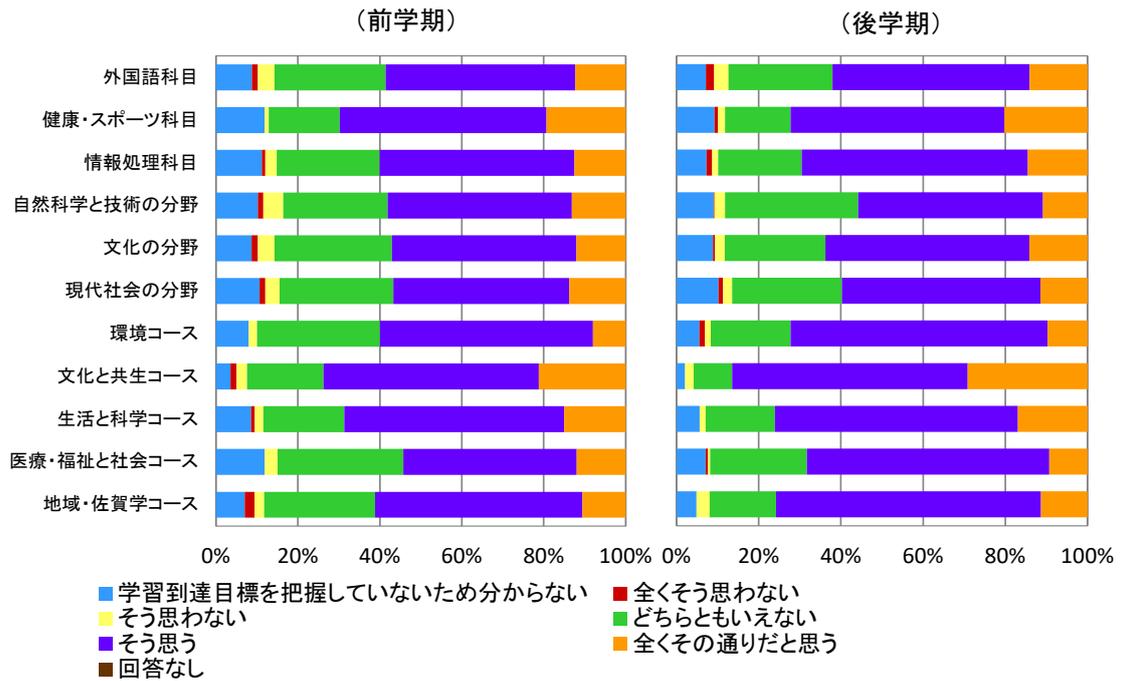
## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



8割以上の学生が、好意的な回答をしており、批判的な回答は数%であることから教員の授業に対する熱意は十分あるとみてよいだろう。

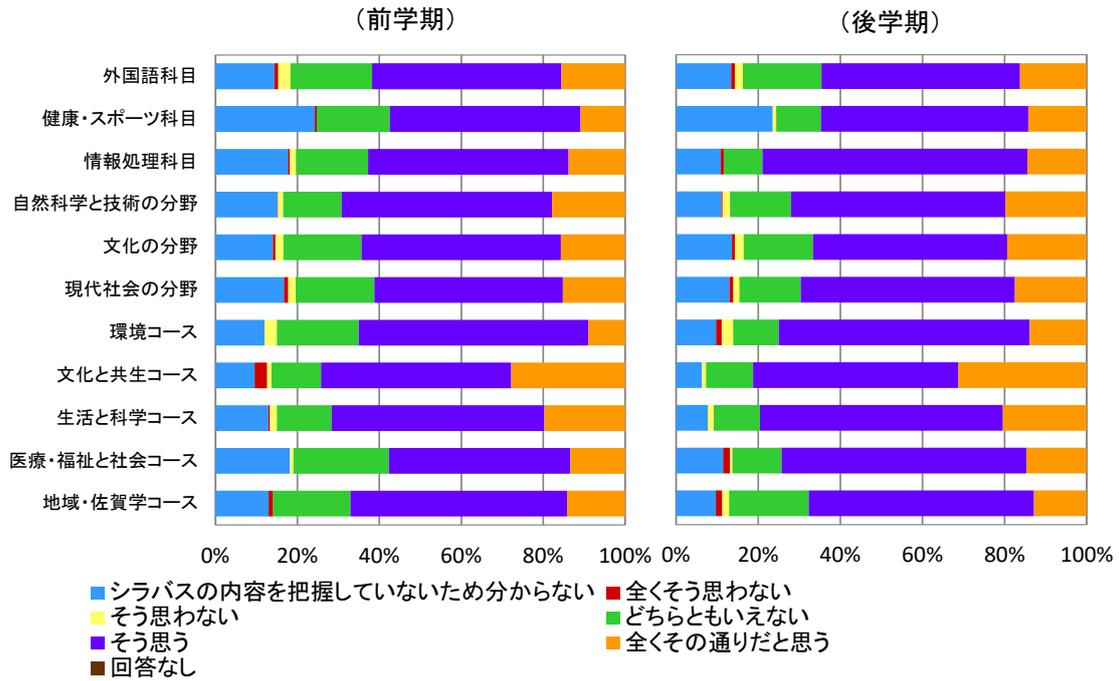
### C. 授業内容および授業方法について

#### C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



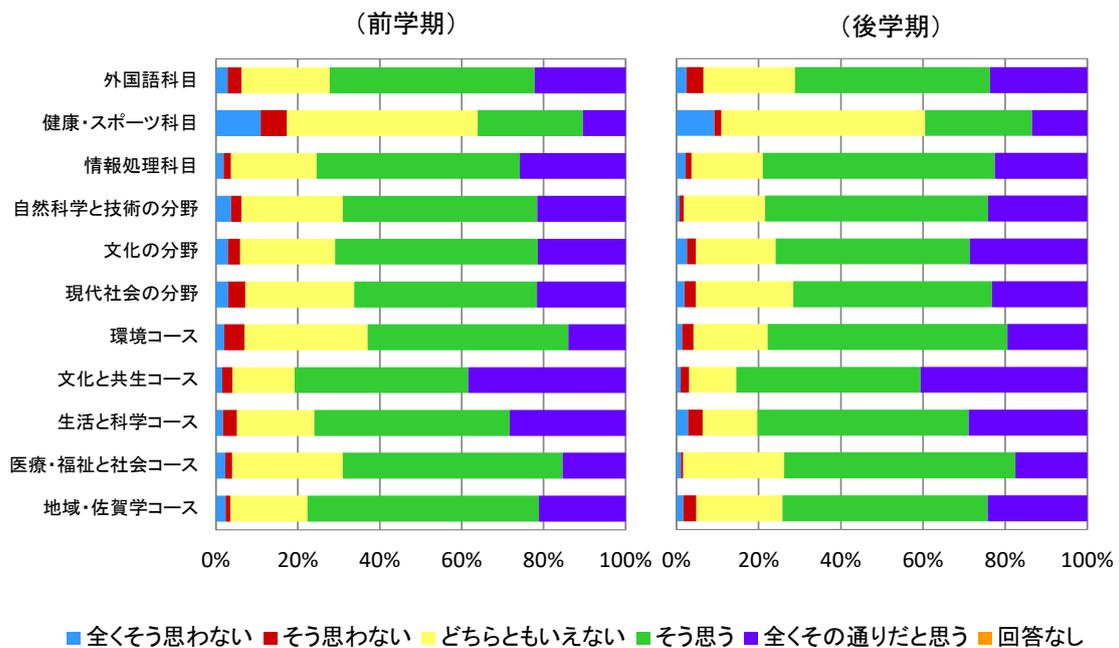
科目群によってばらつきはあるが、概ね6～8割の学生が学習到達目標を達成できたという実感しているようである。一方で実感できていない学生も1割程度存在していることから、これらの学生にもきちんと授業を理解させるような努力が必要であろう。

## G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



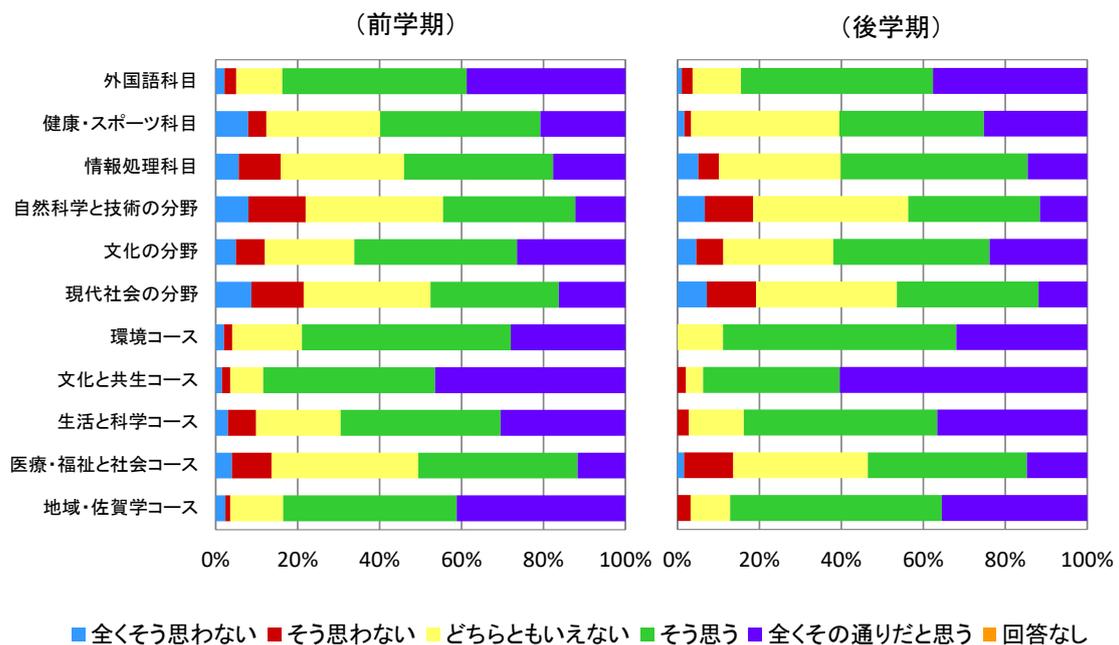
ほとんどの授業がシラバス通りに行われていたことが分かる。この設問も A-3 と連動しており相関が良く出ている。

## G-3 教材（教科書、配布資料）や I C T 環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



健康・スポーツ科目を除いて好意的な回答が約8割程度であるため、通常の講義・演習の教材や資料は適切であったと判断される。他と比較して健康・スポーツ科目で満足度が極端に異なっているのは、スポーツ施設の大きさや用具の種類・実数などが十分ではないのかもしれない。施設的な内容も含めて今後検討を要する。

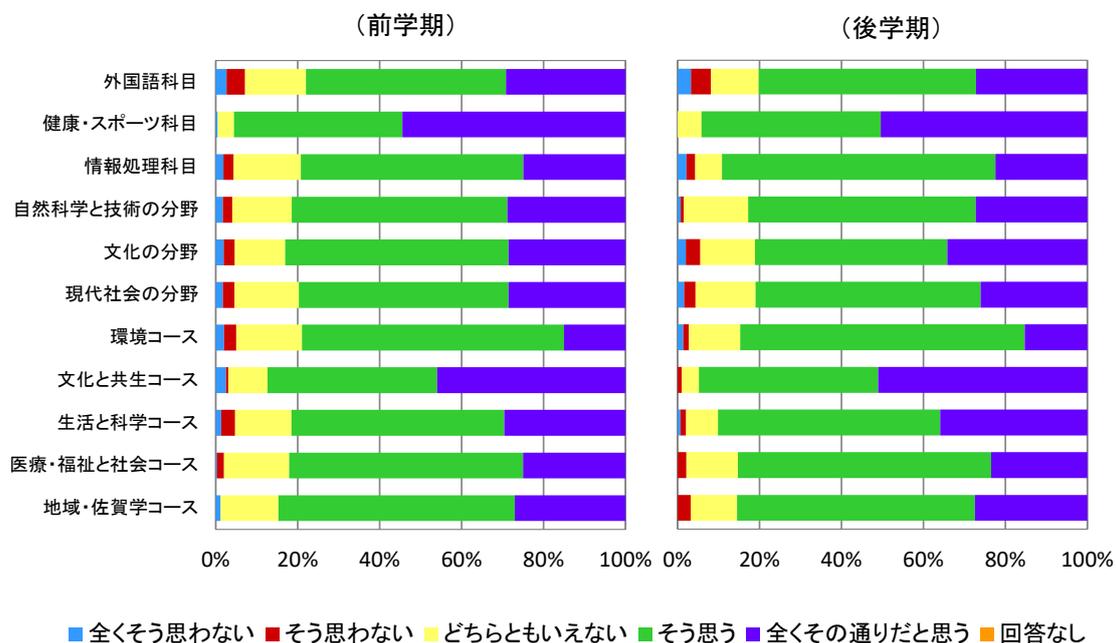
**G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか**



現在導入を進めているアクティブラーニングに関する設問である。分野ごとに非常にばらつきがある。外国語科目やインターフェース科目群では8割程度の学生が主体的な学びの時間を認識しており、講義の性質的にアクティブラーニングの導入が進んでいることが分かる。対して、基本教養の自然科学と技術の分野および現代社会の分野は、座学を中心とした講義設計に留まっているためか、半数程度しか主体的な学びを体験できていない。インターフェースの医療・福祉と社会コースも他のインターフェース科目と比べて状況が異なっているため、調査分析が必要である。意外な点は、健康・スポーツ科目や情報処理科目が6割程度にとどまっている点である。「学生自身が考えることを促す」という配慮が欠けていたのかもしれないが、質問文のグループワークやディスカッションに捉われてしまってこれらを行っていないと該当しない、と回答者が思っているのではないかと考えられる。

## D. 満足度

### D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



全体を通してどの分野とも8割以上の学生が授業に対する満足しており、特に健康・スポーツ科目や文化と共生コースの受講者は9割以上が満足している好結果となっている。健康・スポーツ科目は、教材面での満足度が一番低かったにも関わらず満足度は最も高いという点が興味深い。授業の満足度は教材の良否には左右されないという一例なのかもしれない。一方で、満足できなかった学生も分野によっては5~10%存在することも事実なので、各部会で分析を進めて改善につなげてもらいたい。

### 3. 学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

全学教育機構では、この項目に対する明確な選考基準の確定に至っていないが、佐賀大学教育功績等表彰（2号表彰）の選考時には授業アンケート結果も利用している。

### 4. 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

各開講科目分野の平均値を表に示す。平均値が「4以上」の項目を赤字、「2以下」の科目を青字表記としている。

H29 年度前期	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1
外国語科目	4.83	2.85	2.57	3.72	3.85	3.56	4.15	3.51	3.40	3.90	4.16	4.07
健康・スポーツ科目	4.98	1.38	1.65	3.58	3.91	3.39	4.35	3.51	2.92	3.22	3.59	4.52
情報処理科目	4.93	2.40	2.14	3.50	3.69	3.47	3.95	3.41	3.29	3.93	3.49	3.96
自然科学と技術の分野	4.85	2.61	2.56	3.67	3.90	3.16	4.15	3.37	3.49	3.89	3.40	4.18
文化の分野	4.83	2.32	2.44	3.55	3.73	3.04	4.10	3.37	3.38	3.86	3.73	4.06
現代社会の分野	4.80	2.27	2.40	3.61	3.82	3.05	4.15	3.42	3.33	3.86	3.57	4.10
環境コース	4.96	2.45	2.35	3.58	3.49	3.28	3.86	3.34	3.33	3.62	3.90	3.80
文化と共生コース	4.85	2.73	2.60	3.79	3.95	3.94	4.28	3.76	3.57	4.05	4.22	4.14
生活と科学コース	4.71	2.79	2.69	3.68	3.92	3.46	4.13	3.53	3.52	3.97	3.97	4.09
医療・福祉と社会コース	4.92	2.02	2.16	3.36	3.66	3.13	4.19	3.31	3.24	3.87	3.50	4.08
地域・佐賀学コース	4.92	2.67	2.62	3.85	3.96	3.45	4.32	3.56	3.47	3.95	4.27	4.13

H29 年度後期	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1
外国語科目	4.86	3.01	2.77	3.82	3.92	3.67	4.17	3.63	3.49	3.92	4.23	4.09
健康・スポーツ科目	4.96	1.66	2.00	3.81	3.98	3.23	4.29	3.60	3.02	3.38	3.82	4.45
情報処理科目	4.94	3.21	2.82	3.85	3.98	3.65	4.05	3.56	3.61	3.98	3.62	4.05
自然科学と技術の分野	4.81	2.47	2.52	3.68	3.68	3.07	3.98	3.41	3.45	3.93	3.27	3.88
文化の分野	4.85	2.62	2.65	3.73	3.95	3.51	4.26	3.65	3.63	4.08	3.96	4.26
現代社会の分野	4.81	2.53	2.84	3.78	3.93	3.14	4.22	3.49	3.56	3.96	3.49	4.14
環境コース	4.85	2.90	2.77	3.66	3.85	3.39	4.02	3.50	3.37	3.94	4.22	3.89
文化と共生コース	4.88	3.07	2.97	3.95	4.05	4.33	4.38	4.04	3.89	4.15	4.42	4.41
生活と科学コース	4.85	2.53	2.82	3.97	3.97	3.78	4.23	3.82	3.76	3.99	4.19	4.25
医療・福祉と社会コース	4.92	2.33	2.80	3.72	3.78	3.03	4.14	3.70	3.68	4.03	3.78	4.15
地域・佐賀学コース	4.88	2.55	2.50	3.89	4.06	3.82	4.24	3.79	3.54	3.93	4.12	4.11

優れた点：

表から分かるように、前後期ともにA-1（出席率）、B-3（教員の熱意）、D-1（満足度）が高い。昨年度結果と比較してもB-3やD-1は大きく向上しており、教員個人の熱意のある教育改善が行われた結果だと分析できる。また、C-4（グループワーク等）は、後期のイン

ターフェース科目で数値が高いが、これはインターフェース科目のⅠ～Ⅳの順次性の観点から、ⅠやⅢは導入教育や評価分析などが主であるのに対して、ⅡやⅣは実行や改善などの学生自身の活動が多くなることから、アクティブ・ラーニング的要素を学生自身が体験できていることを意味している。

改善すべき点：

組織的な授業改善に対する取り組みとして、シラバス組織的な点検、非常勤講師を対象としたシラバス作成と授業評価に関するFD講演会、教員会議におけるFD講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA実施報告書の作成、および授業点検・改善報告書のオンライン入力を行った。しかし、いまだに項目A-2（授業時間外学習時間）やA-3（シラバスの活用）についての数値が低いと、時間外学習を促す課題設定や講義内ガイダンスでのシラバス説明の徹底などに取り組む必要がある。特に健康・スポーツ科目においてはA-2、A-3の数値の低さが目立つが、授業の性質上なかなか簡単に解決する問題ではないと思われるため、他大学の状況などを情報共有して、抜本的な対策を導入するなどの検討が必要であろう。

## 5. 次年度の授業改善目標

平成30年度には、教員の退職・教員の配置換えなど大幅な異動、そしてインターフェース科目に新しくサブスペシャリティコースの設置が予定されているため、これらに伴う開講科目の数や内容の大幅な変更が行われる。このような状況下においても、質の高い授業を提供できるよう、必要に応じて開講数や担当者の調整を図りながら継続的な教育改善を実施する。

## おわりに

平成 29 年の授業評価アンケートは LiveCampus による共通アンケートシステムを用いて実施された。今回は、満足度とそれ以外の項目に対する相関係数を始めて確認し、検討が望まれる項目は B1「理念に基づいた説明」、C3「教材や ICT 環境」、C4「主体的・対話的な学び」の 3 項目であることが明らかになった。

平成 20 年度から義務化された FD 活動も見直しの時期に来ており、本学でも平成 23 年度の佐賀大学ポートフォリオ学習統合システムの運用開始、平成 24 年度のティーチング・ポートフォリオ実施要項および実施要領の策定など、FD 活動の改善を図っている。しかしながら、佐賀大学の全教員がその趣旨を理解し、授業改善に利用されているかと問われれば、まだまだ不十分であると言わざるを得ない。数字だけ見れば、簡易版ティーチング・ポートフォリオの作成率については、平成 28 年度末時点で 100%を達成し、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」に基づき実施されている「授業点検・評価報告書」の作成率はようやく 100%となった。今後は、これらの活動を有機的に結び付け、ルーブリック評価やアクティブ・ラーニングの全学的な導入と併せて、大学全体として教育力の向上を図る必要がある。

現に、認証評価基準において「教育の内部質保証」が重点項目になる見込みで、第 3 期中期目標・中期計画期間中は、これまで以上に教育の質保証が問われ、組織として、教育の質向上を図るための PDCA サイクルの実行が強く求められる。組織的な取り組みとしては、授業点検・改善報告書や簡易版 T P に加え、平成 26 年度開講科目より行った組織的なシラバスの点検や授業科目毎の成績分布の検証がある。これらの活動が、継続的に行われ、実を結び本学全体の教育力の向上につながることを切に願っている。

## 資料1 佐賀大学学生による授業評価実施要領

### 佐賀大学学生による授業評価実施要領

#### (趣旨)

第1条 授業改善を目的とする学生による授業評価（以下「授業評価」という。）の実施に関する事項は、この要領に定めるところによる。

#### (評価の実施)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、授業科目毎に授業評価（以下「個別授業評価」という。）を実施する。

2 学部及び学科等の教育組織（以下「教育組織」という。）は、前項の個別授業評価等进行分析し、教育組織毎に授業評価（以下「組織別授業評価」という。）を実施する。

#### (評価の支援)

第3条 大学は、授業評価の実施に必要な全学共通のアンケートシステム（以下「授業評価アンケートシステム」という。）を提供し、集計を行うなどの方法により、前条の授業評価の実施を支援する。

#### (個別評価結果の利用)

第4条 個別授業評価の結果は、授業担当者に提供し、授業担当者は、個別授業評価の結果を授業の改善等に利用するものとする。

2 前項の規定は、各授業担当者による評価結果の公表又は提供及び組織別授業評価のための集計を妨げるものではない。

3 個別授業評価の結果は、教員個人の評価には用いない。

4 個別授業評価の結果は、学生個人の成績評価に利用してはならない。

#### (組織別評価結果の利用)

第5条 教育改善のための調査研究を行う組織は、大学教育委員会の了承を得て、授業評価の結果を利用することができる。

#### (調査方法)

第6条 大学教育委員会は、個別授業評価のための授業評価アンケートシステムを利用した調査方法等について定める。

2 前項の規定は、教員又は教育組織が調査項目等を追加することを妨げるものではない。

#### (調査対象)

第7条 個別授業評価の対象となる授業科目は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 学部が開設する授業科目
- (2) 全学教育機構が開設する授業科目
- (3) 研究科が開設する授業科目

2 授業科目を開設する学部等（全学教育機構及び研究科を含む。）の長が、授業科目の特性により、授業評価アンケートシステムを用いて調査することが適切でないと判断した場合は、他の方法により調査することができるものとする。この場合において、授業評

価アンケートシステムを用いない授業担当者は、大学教育委員会が指定する日までに当該授業科目名を教務課に届け出るものとする。

(実施方法)

第8条 個別授業評価の実施、集計及び集計結果の公表の方法については、大学教育委員会の議を経て、委員長が別に定める。

2 前項の規定は、教員又は教育組織が、独自の調査を実施することを妨げるものではない。

(雑則)

第9条 この要領に定めるものの他、授業評価の実施に関して必要な事項は、大学教育委員会の議を経て、委員長が定める。

附 則

1 この要領は、平成18年10月1日から実施する。

2 この要領は、当分の間、医学部・医学系研究科には適用しない。

附 則 (平成22年11月22日改正)

この要領は、平成22年11月22日から実施する。

附 則 (平成25年2月5日改正)

この要領は、平成25年4月1日から実施する。

附 則 (平成26年2月18日改正)

この要領は、平成26年4月1日から実施する。

## 資料2 佐賀大学学生による授業評価結果を用いた授業改善実施要領

### 佐賀大学学生による授業評価結果を用いた授業改善実施要領

(平成18年12月22日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学学生による授業評価実施要領(平成18年6月27日制定。以下「授業評価実施要領」という。)第2条に定める個別授業評価及び組織別授業評価の結果は、授業評価実施要領に定めるもののほか、この要領の定めるところにより、授業の改善を通じて教育の質の向上に利用する。

(報告)

第2条 授業を担当する教員(非常勤講師を含む。)は、授業科目ごとに実施する授業評価の結果及び授業の改善目標について、学期ごとに、ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して、授業全体について又は授業科目別に報告する。

2 前項の規定にかかわらず、非常勤講師については、同項中「ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して」とあるのを「別紙様式に定める授業点検・評価報告書に準じて」と読み替えて適用する。

3 学部又は学科等(以下「教育組織」という。)は、個別授業評価及び組織別授業評価の結果に基づき、次に掲げる事項について組織別授業点検・評価報告書を作成する。

(1) 各種アンケートの学科等別及び授業科目別の集計結果

(2) 各種アンケートの結果から総合的に判断して、学生から高い評価を得ていると教育組織が認定する授業科目

(3) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目

(4) 教育組織の授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点

(5) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

(報告書等の利用)

第3条 教育組織の長は、前条第3項に定める組織別授業点検・評価報告書に基づき、必要に応じて教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策を講じる。

2 前条第1項及び第2項の規定による個別授業点検・評価報告書及び同条第3項の組織別授業点検・評価報告書は、教育組織が実施する研修会等に利用し、オンラインで公表する。

3 前条第3項第2号に該当する授業科目における取組は、授業の改善に広く資するよう、教育組織が実施する研修会等又は公開授業により周知する。

附 則

1 この要領は、平成18年12月22日から実施する。

2 この要領は、当分の間、医学部及び医学系研究科において実施される授業評価には適用しない。

附 則

この要領は、平成20年2月8日から実施する。

附 則(平成25年9月12日改正)

この要領は、平成25年9月12日から実施する。



ホーム



スケジュール



各種申請



フォーラム



連絡通知



施設予約



教務・就職・図書館他へはこちら



FAQ



リンク



アンケート



レポート



授業カードダウンロード

ホーム &gt; 授業評価アンケートメニュー &gt; 授業評価アンケート管理メニュー &gt; 授業評価アンケート詳細 &gt; 授業評価アンケート設問一覧 &gt; 授業評価アンケートプレビュー



アンケート 授業評価アンケートプレビュー

一覧へ戻る

結果公開中

平成29年度前学期「学生による授業アンケート」

提出有効期限 2017/07/21 【09:30】 - 2017/09/03 【00:00】

匿名区分 実名

## プレビュー

このアンケートは授業改善に役立てることを目的としています。回答は、成績評価に影響することは一切ありません。This survey is used to improve the classes. This survey is never connected with your grading.

## 参考資料

## A あなた自身について

出席率はどのくらいですか。/ What is the percentage of your own class attendance during the whole class?

- A-1 ※
- |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
| <input type="radio"/> 20%未満<br>(under 20%) | <input type="radio"/> 20~40%未満<br>(20~40%) | <input type="radio"/> 40~60%未満<br>(40~60%) | <input type="radio"/> 60~80%未満<br>(60~80%) | <input type="radio"/> 80%以上<br>(more than 80%) |
|--|--|--|--|--|

授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。/ How many hours did you spend doing your homework (the preparation and review of lessons, the writing of research papers, etc.) for each lesson?

- A-2 ※
- |   |   |   |  |  |
|---|---|---|--|--|
| <input type="radio"/> 全くしてない<br>(0 hours) | <input type="radio"/> 1時間未満<br>(under 1 hour) | <input type="radio"/> 1時間程度<br>(about 1 hour) | <input type="radio"/> 2時間程度<br>(about 2 hours) | <input type="radio"/> 3時間以上<br>(more than 3 hours) |
|---|---|---|--|--|

この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。/ Did you make use of a syllabus to choose this class or to prepare and review the lessons?

- A-3 ※
- |   |  |  |   |   |   |
|---|--|--|---|---|---|
| <input type="radio"/> シラバスを見<br>ていない (no<br>idea) | <input type="radio"/> 全く活用し<br>なかった<br>(never) | <input type="radio"/> あまり活用<br>しなかつた<br>(little) | <input type="radio"/> ときどき活用<br>した<br>(sometimes) | <input type="radio"/> 活用した<br>(to some<br>extent) | <input type="radio"/> 大いに活<br>用した<br>(much) |
|---|--|--|---|---|---|

この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。/ I understand the objectives and assessment of academic achievement of this class.

- A-4 ※
- |   |  |  |  |   |
|---|--|--|--|---|
| <input type="radio"/> 全く把握してない<br>(Strongly Disagree)完<br>全 | <input type="radio"/> ほとんど把握<br>してない<br>(Disagree) | <input type="radio"/> どちらとも<br>いえない<br>(Neutral) | <input type="radio"/> ある程度は把<br>握している<br>(Agree) | <input type="radio"/> 完全に把握して<br>いる (Strongly<br>Agree) |
|---|--|--|--|---|

## B 教員の対応

教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。/ The teacher's explanation of his/her teaching methods and information about the assessment based on his/her teaching philosophy was useful.

- B-1 ※
- |  |   |  |  |   |  |
|--|---|--|--|---|--|
| <input type="radio"/> 説明がなかつ<br>た・該当しない<br>(no idea) | <input type="radio"/> 全くそう思わ<br>ない (Strongly<br>Disagree) | <input type="radio"/> そう思わ<br>ない<br>(Disagree) | <input type="radio"/> どちらとも<br>いえない<br>(Neutral) | <input type="radio"/> そう<br>思う<br>(Agree) | <input type="radio"/> 全くその通りだ<br>と思う (Strongly<br>Agree) |
|--|---|--|--|---|--|

担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。/ The teacher's responsiveness to students' questions and concerns was appropriate.

- B-2 ※
- |  |   |  |  |   |  |
|--|---|--|--|---|--|
| <input type="radio"/> 質問・相談を<br>しなかつた (no<br>idea) | <input type="radio"/> 全くそう思わ<br>ない (Strongly<br>Disagree) | <input type="radio"/> そう思わ<br>ない<br>(Disagree) | <input type="radio"/> どちらとも<br>いえない<br>(Neutral) | <input type="radio"/> そう<br>思う<br>(Agree) | <input type="radio"/> 全くその通りだ<br>と思う (Strongly<br>Agree) |
|--|---|--|--|---|--|

教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。/ The teacher appeared enthusiastic and interested.

- B-3 ※
- |   |   |   |  |  |
|---|---|---|--|--|
| <input type="radio"/> 全くそう思わ<br>ない (Strongly<br>Disagree) | <input type="radio"/> そう思わ<br>ない (Disagree) | <input type="radio"/> どちらとも<br>いえない (Neutral) | <input type="radio"/> そう思<br>う (Agree) | <input type="radio"/> 全くその通りだ<br>と思う (Strongly<br>Agree) |
|---|---|---|--|--|

## C 授業内容および授業方法について

この授業の学習到達目標を達成できましたか。/ I reached the class objectives.

- C-1 ※
- |   |   |  |  |   |  |
|---|---|--|--|---|--|
| <input type="radio"/> 学習到達目標を把握<br>してないため分<br>からない (no<br>idea) | <input type="radio"/> 全くそう思わ<br>ない (Strongly<br>Disagree) | <input type="radio"/> そう思<br>わない<br>(Disagree) | <input type="radio"/> どちらと<br>もいえない<br>(Neutral) | <input type="radio"/> そう<br>思う<br>(Agree) | <input type="radio"/> 全くその通り<br>だと思う<br>(Strongly Agree) |
|---|---|--|--|---|--|

授業の内容はシラバスに基づいていましたか。/ The class was conducted based on the syllabus.

- C-2 ※
- |  |   |  |  |   |  |
|--|---|--|--|---|--|
| <input type="radio"/> シラバスの内容を把握<br>してないため分<br>からない (no<br>idea) | <input type="radio"/> 全くそう思わ<br>ない (Strongly<br>Disagree) | <input type="radio"/> そう思<br>わない<br>(Disagree) | <input type="radio"/> どちらと<br>もいえない<br>(Neutral) | <input type="radio"/> そう<br>思う<br>(Agree) | <input type="radio"/> 全くその通り<br>だと思う<br>(Strongly Agree) |
|--|---|--|--|---|--|

教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。/ The learning materials (textbooks, handouts, etc.) and the ICT environment (LiveCampus, Web pages for each class, e-learning, etc.) were useful.

- C-3 ※
- |   |   |   |  |  |
|---|---|---|--|--|
| <input type="radio"/> 全くそう思わ<br>ない (Strongly<br>Disagree) | <input type="radio"/> そう思わ<br>ない (Disagree) | <input type="radio"/> どちらとも<br>いえない (Neutral) | <input type="radio"/> そう思<br>う (Agree) | <input type="radio"/> 全くその通りだ<br>と思う (Strongly<br>Agree) |
|---|---|---|--|--|

- C-4 ※
- この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか。/ To support learning autonomy, the teacher prepared "writing",

"speaking", and "presentation" activities with other students.

<input type="radio"/> 全くそう思わない (Strongly Disagree)	<input type="radio"/> そう思わ ない (Disagree)	<input type="radio"/> どちらとも えない (Neutral)	<input type="radio"/> そう思 う (Agree)	<input type="radio"/> 全くその通りだと思 う (Strongly Agree)
---	---	--	--	---

D 満足度

この授業は全体として満足できるものでしたか。 / Overall, the class was satisfactory.

D-1 ※

<input type="radio"/> 全くそう思わない (Strongly Disagree)	<input type="radio"/> そう思わ ない (Disagree)	<input type="radio"/> どちらとも えない (Neutral)	<input type="radio"/> そう思 う (Agree)	<input type="radio"/> 全くその通りだと思 う (Strongly Agree)
---	---	--	--	---

E 指定項目①

指定項目① (この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given.  
(Use this column according to the teacher's instruction)

E-1

<input type="radio"/> 該当しない・ わからない (no idea)	<input type="radio"/> 全くそう思わ ない (Strongly Disagree)	<input type="radio"/> そう思わ ない (Disagree)	<input type="radio"/> どちらとも いえない (Neutral)	<input type="radio"/> そう 思う (Agree)	<input type="radio"/> 全くその通りだ と思う (Strongly Agree)
--	---	---	---	--	--

指定項目① (この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given.  
(Use this column according to the teacher's instruction)

E-2

<input type="radio"/> 該当しない・ わからない (no idea)	<input type="radio"/> 全くそう思わ ない (Strongly Disagree)	<input type="radio"/> そう思わ ない (Disagree)	<input type="radio"/> どちらとも いえない (Neutral)	<input type="radio"/> そう 思う (Agree)	<input type="radio"/> 全くその通りだ と思う (Strongly Agree)
--	---	---	---	--	--

指定項目① (この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given.  
(Use this column according to the teacher's instruction)

E-3

<input type="radio"/> 該当しない・ わからない (no idea)	<input type="radio"/> 全くそう思わ ない (Strongly Disagree)	<input type="radio"/> そう思わ ない (Disagree)	<input type="radio"/> どちらとも いえない (Neutral)	<input type="radio"/> そう 思う (Agree)	<input type="radio"/> 全くその通りだ と思う (Strongly Agree)
--	---	---	---	--	--

指定項目① (この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given.  
(Use this column according to the teacher's instruction)

E-4

<input type="radio"/> 該当しない・ わからない (no idea)	<input type="radio"/> 全くそう思わ ない (Strongly Disagree)	<input type="radio"/> そう思わ ない (Disagree)	<input type="radio"/> どちらとも いえない (Neutral)	<input type="radio"/> そう 思う (Agree)	<input type="radio"/> 全くその通りだ と思う (Strongly Agree)
--	---	---	---	--	--

指定項目① (この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given.  
(Use this column according to the teacher's instruction)

E-5

<input type="radio"/> 該当しない・ わからない (no idea)	<input type="radio"/> 全くそう思わ ない (Strongly Disagree)	<input type="radio"/> そう思わ ない (Disagree)	<input type="radio"/> どちらとも いえない (Neutral)	<input type="radio"/> そう 思う (Agree)	<input type="radio"/> 全くその通りだ と思う (Strongly Agree)
--	---	---	---	--	--

F 指定項目②

指定項目② (この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given.  
(Use this column according to the teacher's instruction)

F-1

<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

指定項目② (この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given.  
(Use this column according to the teacher's instruction)

F-2

<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

指定項目② (この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given.  
(Use this column according to the teacher's instruction)

F-3

<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

指定項目② (この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given.  
(Use this column according to the teacher's instruction)

F-4

<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

指定項目② (この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given.  
(Use this column according to the teacher's instruction)

F-5

<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

この授業科目について気づいたことがあれば、何でもお書き下さい。 / Please give your comments  
about this class freely.

自由記述欄

※999文字以内で入力してください。  
※スペースや改行 (Enterキー) も文字としてカウント  
されます。

◀ 一覧へ戻る

各種設定 ▶

Copyright (c) 2015 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

※学籍番号(8ケタ)を記入し、鉛筆で数字をマークしてください。

実施年月日：平成 年 月 日

## 資料4 共通様式以外のアンケート様式 〈医学部アンケート様式〉

※ 学 籍 番 号							
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

授 業  
科目名

### 〔 注 意 事 項 〕

- 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- < > の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。

良い例  悪い例

1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高	やや高い	中	やや低い	低
1) 講義に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度(1回あたり、5[3時間以上]4[2時間程度]3[1時間程度]2[1時間未満]1[全くしていない])	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容の修得，理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高	やや高い	中	やや低い	低
1) この授業に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容に対して抱いた興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 講義の編成や内容における一貫性，統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) 講義の工夫，講義資料等の活用・有効性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この授業に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可），その記号をマークして下さい。
<input type="checkbox"/> A) 学習要項(シラバス)と講義の内容が一致していない <input type="checkbox"/> B) 講義の内容がばらばらである <input type="checkbox"/> C) 講義内容に無意味な重複がある <input type="checkbox"/> D) 一方的な講義で追いついていけない <input type="checkbox"/> E) 講義資料が分かりにくい <input type="checkbox"/> F) スライド，OHPなどが分かりにくい <input type="checkbox"/> G) 講義内容が多すぎる <input type="checkbox"/> H) 授業時間が多すぎる <input type="checkbox"/> I) もっと授業時間を増やして欲しい <input type="checkbox"/> J) 現行より早い時期に開講して欲しい <input type="checkbox"/> K) 現行より遅い時期に開講して欲しい

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

.....

.....

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。

.....

.....

※このアンケートと成績は関係ありません。

# 学生による授業評価アンケートⅡ (実習科目)

※学籍番号(8ケタ)を記入し、鉛筆で数字をマークしてください。

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

※学籍番号							
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

〔注意事項〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) < > の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。



1. この実習に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高	やや高い	中	やや低い	低
1) 実習に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度(1回あたり,5[3時間以上]4[2時間程度]3[1時間程度]2[1時間未満]1[全くしていない])	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容の修得, 理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この実習全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高	やや高い	中	やや低い	低
1) この実習に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの実習の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容に対して抱いた興味	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 実習の編成や内容における一貫性, 統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) 実習の工夫, 実習書や配布資料の活用・有効性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この実習に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
7) 実習環境の充実性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。

<A> 学習要項(シラバス)と実習の内容が一致していない	<B> 実習内容が多すぎる	<C> 実習時間が多すぎる
<D> もっと実習時間を増やして欲しい	<E> 現行より早い時期に開講して欲しい	<F> もっと遅い時期に開講して欲しい
<G> もっと指導教員の数を増やして欲しい	<H> 実習書が分かりにくい	<I> 機材が不足している
<J> グループの人数が多すぎる		

2-3. この実習について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

---



---



---

2-4. この実習について、よかったと思うことを書いて下さい。

---



---



---

# 学生による授業評価アンケートⅢ (PhaseⅢ授業科目)

※学籍番号(8ケタ)を記入し、鉛筆で数字をマークしてください。

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

※学籍番号							
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

〔注意事項〕

- 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- < > の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。

良い例 悪い例 < > < X >

1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高	やや高い	中	やや低い	低
	い		間		い
1) 講義に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度(1回あたり、5[3時間以上]4[2時間程度]3[1時間程度]2[1時間未満]1[全くしていない])	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容の修得，理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高	やや高い	中	やや低い	低
	い		間		い
1) この授業に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容に対して抱いた興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 講義の編成や内容における統一性，統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) シナリオに対する興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この授業に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。		
<A> 講義の内容がばらばらである	<B> 講義内容に重複がある	<C> 講義内容が少なすぎる
<D> 講義分担教員が多すぎる	<E> シラバスが統一されていない	<F> シナリオが複雑すぎる
<G> シナリオが単純すぎる	<H> もっと授業時間を増やして欲しい	<I> もっと実習時間を増やして欲しい
<J> 現行より早い時期に開講して欲しい	<K> もっと遅い時期に開講して欲しい	

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

---



---

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。

---



---

※このアンケートと成績は関係ありません。

全体(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
文化教育学部	0.2%	0.2%	0.8%	11.4%	87.6%	0.0%
教育学部	0.3%	0.4%	1.6%	4.2%	93.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.6%	12.2%	87.2%	0.0%
経済学部	0.8%	0.6%	1.6%	9.5%	87.5%	0.0%
理工学部	1.0%	0.2%	0.6%	6.0%	92.2%	0.0%
農学部	0.2%	0.2%	0.2%	3.7%	95.7%	0.0%
全学教育機構	0.7%	0.4%	1.0%	6.6%	91.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
文化教育学部	15.2%	29.5%	31.4%	12.4%	11.4%	0.0%
教育学部	14.7%	30.6%	34.8%	13.8%	6.2%	0.0%
芸術地域デザイン学部	22.0%	25.0%	27.4%	15.9%	9.8%	0.0%
経済学部	17.4%	41.4%	27.9%	7.5%	5.8%	0.0%
理工学部	8.5%	29.1%	36.6%	15.5%	10.2%	0.0%
農学部	13.4%	38.3%	30.1%	11.4%	6.7%	0.0%
全学教育機構	22.2%	34.8%	26.5%	9.9%	6.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
文化教育学部	10.3%	9.6%	27.5%	22.2%	21.3%	8.9%	0.2%
教育学部	14.0%	10.9%	24.2%	26.8%	16.3%	7.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	15.9%	13.4%	34.1%	20.1%	9.8%	6.7%	0.0%
経済学部	9.1%	7.2%	25.3%	30.9%	17.3%	10.2%	0.0%
理工学部	12.1%	11.4%	27.1%	27.5%	14.5%	7.4%	0.0%
農学部	12.9%	13.3%	31.4%	25.8%	11.4%	5.1%	0.0%
全学教育機構	16.8%	10.5%	27.1%	23.3%	14.7%	7.6%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
文化教育学部	3.1%	4.0%	18.8%	56.1%	17.7%	0.2%
教育学部	6.6%	5.9%	17.3%	58.5%	11.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	7.9%	9.1%	14.0%	50.6%	18.3%	0.0%
経済学部	5.2%	6.3%	19.7%	54.9%	13.8%	0.0%
理工学部	5.3%	5.5%	17.3%	59.7%	12.2%	0.0%
農学部	4.7%	9.3%	21.5%	54.4%	10.2%	0.0%
全学教育機構	7.9%	6.9%	19.7%	53.4%	12.2%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.6%	0.6%	1.6%	11.5%	54.4%	30.2%	0.2%
教育学部	2.7%	1.0%	2.3%	16.4%	52.6%	25.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	4.3%	1.2%	0.6%	12.8%	54.9%	26.2%	0.0%
経済学部	1.2%	1.2%	3.9%	19.8%	51.6%	22.3%	0.0%
理工学部	1.7%	1.5%	3.1%	22.4%	55.2%	16.0%	0.0%
農学部	2.5%	1.3%	2.8%	21.5%	52.5%	19.4%	0.0%
全学教育機構	2.9%	1.3%	3.3%	21.5%	52.0%	19.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	9.3%	0.2%	0.9%	6.8%	44.9%	37.6%	0.2%
教育学部	11.3%	0.9%	1.7%	14.6%	44.1%	27.4%	0.0%
芸術地域デザイン学部	15.2%	0.0%	0.6%	9.1%	42.1%	32.9%	0.0%
経済学部	26.1%	0.5%	2.0%	20.3%	31.7%	19.3%	0.0%
理工学部	15.3%	1.1%	2.2%	17.9%	45.9%	17.6%	0.0%
農学部	17.4%	0.4%	1.8%	18.2%	42.9%	19.4%	0.0%
全学教育機構	18.5%	0.8%	2.0%	17.8%	41.3%	19.6%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.5%	0.9%	5.6%	50.9%	42.0%	0.2%
教育学部	1.1%	1.9%	11.5%	49.7%	35.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	1.2%	0.6%	3.0%	50.6%	44.5%	0.0%
経済学部	0.7%	2.4%	14.2%	52.3%	30.4%	0.0%
理工学部	1.9%	3.1%	18.0%	54.1%	22.9%	0.0%
農学部	0.8%	2.0%	12.6%	54.8%	29.8%	0.0%
全学教育機構	1.2%	1.7%	14.0%	53.0%	30.1%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	4.2%	0.2%	2.3%	19.3%	53.3%	20.5%	0.2%
教育学部	9.1%	1.2%	2.5%	21.9%	50.8%	14.6%	0.0%
芸術地域デザイン学部	20.1%	0.6%	3.0%	19.5%	40.9%	15.9%	0.0%
経済学部	8.8%	1.1%	4.5%	28.0%	43.7%	13.9%	0.0%
理工学部	7.5%	1.8%	5.5%	24.9%	49.5%	10.8%	0.0%
農学部	8.8%	1.3%	4.5%	29.5%	44.8%	11.0%	0.0%
全学教育機構	9.8%	1.2%	3.5%	26.4%	46.0%	13.1%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスに基づいていない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	7.6%	0.8%	1.2%	13.1%	51.8%	25.3%	0.2%
教育学部	15.5%	0.9%	2.0%	18.2%	46.8%	16.6%	0.0%
芸術地域デザイン学部	22.6%	1.2%	1.2%	11.6%	45.7%	17.7%	0.0%
経済学部	12.2%	0.7%	2.7%	16.4%	48.1%	19.8%	0.0%
理工学部	11.9%	0.8%	1.7%	16.2%	54.1%	15.3%	0.0%
農学部	14.1%	0.2%	1.8%	19.6%	49.8%	14.5%	0.0%
全学教育機構	15.7%	0.7%	1.9%	18.4%	47.9%	15.5%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	2.6%	1.7%	16.6%	50.5%	28.3%	0.2%
教育学部	3.2%	2.4%	19.7%	47.9%	26.8%	0.0%
芸術地域デザイン学部	2.4%	3.7%	22.0%	45.7%	26.2%	0.0%
経済学部	1.5%	3.5%	21.7%	47.3%	26.0%	0.0%
理工学部	2.7%	3.5%	26.4%	49.0%	18.3%	0.0%
農学部	2.8%	4.2%	25.2%	47.1%	20.7%	0.0%
全学教育機構	2.9%	3.1%	23.7%	47.9%	22.4%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	2.2%	5.0%	12.9%	45.7%	34.1%	0.2%
教育学部	2.8%	5.0%	15.7%	44.3%	32.2%	0.0%
芸術地域デザイン学部	2.4%	8.5%	23.8%	37.2%	28.0%	0.0%

全体(前期)%

経済学部	4.0%	9.9%	28.7%	39.3%	18.1%	0.0%
理工学部	7.0%	9.6%	29.2%	38.6%	15.6%	0.0%
農学部	4.8%	11.3%	25.7%	39.0%	19.2%	0.0%
全学教育機構	5.2%	8.2%	24.0%	38.2%	24.4%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.8%	3.0%	6.8%	49.6%	39.7%	0.2%
教育学部	1.6%	2.9%	10.5%	45.6%	39.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	2.4%	3.0%	7.3%	47.6%	39.6%	0.0%
経済学部	1.2%	3.5%	16.7%	50.3%	28.3%	0.0%
理工学部	2.0%	4.6%	16.3%	56.0%	21.1%	0.0%
農学部	1.4%	3.2%	16.0%	55.2%	24.2%	0.0%
全学教育機構	1.9%	2.9%	14.5%	51.9%	28.9%	0.0%

全体(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
文化教育学部	1.6%	0.0%	2.4%	8.4%	87.6%	0.0%
教育学部	1.4%	0.2%	0.7%	7.2%	90.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.3%	0.3%	1.3%	8.4%	89.8%	0.0%
経済学部	2.1%	0.9%	2.8%	14.7%	79.5%	0.0%
理工学部	0.9%	0.3%	0.6%	6.7%	91.5%	0.0%
農学部	1.0%	0.0%	0.6%	6.0%	92.5%	0.0%
全学教育機構	0.7%	0.4%	1.0%	9.7%	88.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
文化教育学部	12.4%	31.9%	23.9%	17.1%	14.7%	0.0%
教育学部	12.0%	30.3%	29.3%	17.4%	11.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	15.5%	32.5%	25.6%	16.8%	9.6%	0.0%
経済学部	13.9%	44.6%	31.4%	8.0%	2.1%	0.0%
理工学部	5.7%	30.8%	37.0%	14.5%	12.1%	0.0%
農学部	16.0%	34.4%	30.5%	10.1%	9.0%	0.0%
全学教育機構	15.8%	37.5%	28.1%	10.9%	7.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
文化教育学部	12.7%	6.4%	27.5%	27.1%	11.6%	14.7%	0.0%
教育学部	14.2%	9.8%	26.2%	22.0%	16.3%	11.5%	0.0%
芸術地域デザイン学部	10.2%	11.2%	41.9%	21.8%	11.7%	3.3%	0.0%
経済学部	7.5%	7.4%	24.4%	34.3%	18.5%	7.8%	0.0%
理工学部	9.7%	8.6%	26.1%	26.6%	20.0%	9.0%	0.0%
農学部	16.9%	8.6%	26.3%	27.0%	12.9%	8.3%	0.0%
全学教育機構	11.7%	6.9%	26.8%	26.8%	19.2%	8.7%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
文化教育学部	4.0%	6.4%	11.6%	52.2%	25.9%	0.0%
教育学部	6.8%	5.3%	16.1%	54.7%	17.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	5.6%	6.1%	14.0%	64.5%	9.9%	0.0%
経済学部	4.3%	6.8%	16.8%	62.6%	9.6%	0.0%
理工学部	4.8%	4.1%	16.9%	60.4%	14.0%	0.0%
農学部	8.8%	6.1%	20.1%	51.8%	13.3%	0.0%
全学教育機構	5.6%	5.1%	16.4%	59.3%	13.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.8%	0.4%	2.0%	12.7%	43.4%	40.6%	0.0%
教育学部	2.3%	0.3%	2.9%	18.3%	49.4%	26.7%	0.0%
芸術地域デザイン学部	2.3%	1.3%	0.8%	17.5%	57.1%	21.1%	0.0%
経済学部	1.6%	2.5%	4.0%	17.6%	54.2%	20.1%	0.0%
理工学部	2.1%	1.4%	2.7%	19.4%	57.9%	16.4%	0.0%
農学部	5.5%	1.1%	2.4%	20.9%	50.5%	19.6%	0.0%
全学教育機構	1.5%	1.1%	2.5%	19.4%	55.3%	20.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	6.4%	0.4%	1.6%	9.6%	37.1%	45.0%	0.0%
教育学部	12.3%	0.5%	1.4%	13.7%	41.2%	31.0%	0.0%
芸術地域デザイン学部	11.2%	0.3%	0.3%	10.2%	48.5%	29.7%	0.0%
経済学部	21.2%	1.4%	2.5%	22.1%	37.7%	15.2%	0.0%
理工学部	11.4%	1.2%	2.3%	15.3%	50.7%	19.2%	0.0%
農学部	20.2%	0.4%	1.5%	16.2%	39.3%	22.3%	0.0%
全学教育機構	18.4%	1.0%	1.5%	16.9%	41.3%	20.9%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.0%	0.4%	8.0%	36.7%	55.0%	0.0%
教育学部	0.6%	1.9%	10.0%	46.3%	41.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.0%	1.3%	5.8%	51.3%	41.6%	0.0%
経済学部	1.7%	3.4%	13.4%	54.1%	27.5%	0.0%
理工学部	1.6%	2.1%	15.7%	56.6%	24.0%	0.0%
農学部	1.6%	1.6%	14.1%	50.5%	32.1%	0.0%
全学教育機構	0.9%	1.5%	12.6%	53.3%	31.7%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないのだから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	5.6%	0.8%	3.6%	18.7%	39.8%	31.5%	0.0%
教育学部	7.3%	0.3%	3.2%	22.7%	46.3%	20.1%	0.0%
芸術地域デザイン学部	4.8%	2.0%	1.5%	23.9%	53.0%	14.7%	0.0%
経済学部	7.0%	1.5%	4.3%	27.0%	49.3%	10.8%	0.0%
理工学部	6.8%	1.8%	3.3%	24.9%	52.5%	10.8%	0.0%
農学部	13.2%	1.1%	4.1%	27.3%	42.2%	12.1%	0.0%
全学教育機構	8.1%	1.0%	2.5%	24.6%	50.3%	13.5%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容に基づいていないのだから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	9.2%	0.0%	3.6%	10.8%	45.8%	30.7%	0.0%
教育学部	13.2%	0.2%	1.6%	16.4%	46.9%	21.6%	0.0%
芸術地域デザイン学部	13.7%	1.5%	0.8%	17.3%	51.3%	15.5%	0.0%
経済学部	9.7%	1.8%	2.3%	15.5%	54.3%	16.4%	0.0%
理工学部	10.2%	0.8%	1.7%	15.6%	56.7%	15.0%	0.0%
農学部	16.1%	0.4%	1.7%	18.5%	48.7%	14.5%	0.0%
全学教育機構	12.6%	0.8%	1.7%	15.6%	51.6%	17.7%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	2.8%	2.0%	15.9%	47.8%	31.5%	0.0%
教育学部	1.9%	2.1%	16.8%	49.0%	30.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	2.3%	4.3%	34.5%	38.1%	20.8%	0.0%
経済学部	2.1%	3.1%	18.1%	52.7%	24.0%	0.0%
理工学部	2.9%	3.5%	20.4%	53.8%	19.4%	0.0%
農学部	5.0%	3.2%	23.9%	44.2%	23.7%	0.0%
全学教育機構	2.2%	2.7%	21.9%	48.9%	24.3%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.8%	2.8%	15.9%	33.5%	47.0%	0.0%
教育学部	1.4%	4.5%	20.7%	40.5%	32.9%	0.0%
芸術地域デザイン学部	1.0%	3.6%	20.3%	47.0%	28.2%	0.0%

全体(後期)%

経済学部	3.8%	9.1%	32.6%	41.1%	13.4%	0.0%
理工学部	4.4%	7.0%	23.9%	45.9%	18.9%	0.0%
農学部	7.9%	10.6%	30.6%	34.4%	16.5%	0.0%
全学教育機構	3.7%	6.9%	24.6%	40.1%	24.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.8%	1.6%	5.6%	37.5%	54.6%	0.0%
教育学部	0.7%	2.9%	10.6%	47.5%	38.3%	0.0%
芸術地域デザイン学部	0.5%	1.0%	8.6%	53.8%	36.0%	0.0%
経済学部	3.1%	4.4%	15.4%	53.4%	23.7%	0.0%
理工学部	2.3%	3.7%	14.2%	58.8%	21.0%	0.0%
農学部	1.8%	2.8%	15.4%	51.8%	28.3%	0.0%
全学教育機構	1.8%	3.0%	12.3%	53.6%	29.4%	0.0%

## 教育(前期)%

## A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
全体	0.3%	0.4%	1.6%	4.2%	93.5%	0.0%
幼小連携教育コース	0.1%	0.2%	1.6%	3.2%	94.9%	0.0%
小中連携教育コース	0.3%	0.5%	1.8%	4.8%	92.7%	0.0%

## A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
全体	14.7%	30.6%	34.8%	13.8%	6.2%	0.0%
幼小連携教育コース	14.3%	32.5%	34.6%	13.7%	5.0%	0.0%
小中連携教育コース	15.5%	29.1%	34.5%	14.2%	6.7%	0.0%

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
全体	14.0%	10.9%	24.2%	26.8%	16.3%	7.8%	0.0%
幼小連携教育コース	14.0%	11.5%	25.2%	26.1%	15.8%	7.4%	0.0%
小中連携教育コース	13.7%	10.4%	23.4%	26.9%	17.1%	8.5%	0.0%

## A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
全体	6.6%	5.9%	17.3%	58.5%	11.7%	0.0%
幼小連携教育コース	5.9%	7.1%	18.9%	58.5%	9.6%	0.0%
小中連携教育コース	6.6%	6.0%	16.2%	58.3%	13.0%	0.0%

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.7%	1.0%	2.3%	16.4%	52.6%	25.0%	0.0%
幼小連携教育コース	2.0%	1.1%	2.8%	16.4%	55.1%	22.7%	0.0%
小中連携教育コース	2.7%	1.2%	2.2%	15.7%	51.8%	26.5%	0.0%

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	11.3%	0.9%	1.7%	14.6%	44.1%	27.4%	0.0%
幼小連携教育コース	12.5%	0.9%	2.0%	15.5%	45.4%	23.8%	0.0%
小中連携教育コース	11.0%	0.9%	1.7%	14.3%	43.1%	29.0%	0.0%

## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.1%	1.9%	11.5%	49.7%	35.8%	0.0%
幼小連携教育コース	0.7%	2.1%	12.3%	50.9%	33.9%	0.0%
小中連携教育コース	1.0%	1.8%	11.4%	48.4%	37.4%	0.0%

## C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	9.1%	1.2%	2.5%	21.9%	50.8%	14.6%	0.0%
幼小連携教育コース	9.0%	1.0%	2.6%	23.0%	51.0%	13.4%	0.0%
小中連携教育コース	9.4%	1.3%	2.6%	21.7%	49.2%	15.8%	0.0%

## C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	15.5%	0.9%	2.0%	18.2%	46.8%	16.6%	0.0%
幼小連携教育コース	15.3%	0.9%	2.8%	19.4%	45.9%	15.8%	0.0%
小中連携教育コース	15.2%	0.9%	2.1%	18.2%	46.5%	17.1%	0.0%

## C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	3.2%	2.4%	19.7%	47.9%	26.8%	0.0%
幼小連携教育コース	2.7%	2.8%	20.3%	48.7%	25.5%	0.0%
小中連携教育コース	3.5%	2.4%	19.1%	47.0%	27.9%	0.0%

## C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.8%	5.0%	15.7%	44.3%	32.2%	0.0%
幼小連携教育コース	3.2%	6.0%	18.3%	44.1%	28.4%	0.0%
小中連携教育コース	2.9%	5.5%	14.8%	45.4%	31.3%	0.0%

## D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.6%	2.9%	10.5%	45.6%	39.5%	0.0%
幼小連携教育コース	1.5%	3.3%	11.5%	46.0%	37.7%	0.0%
小中連携教育コース	1.6%	2.9%	10.4%	43.6%	41.5%	0.0%

教育(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
全体	1.4%	0.2%	0.7%	7.2%	90.5%	0.0%
幼小連携教育コース	1.7%	0.2%	1.0%	7.5%	89.6%	0.0%
小中連携教育コース	1.5%	0.1%	0.4%	7.2%	90.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
全体	12.0%	30.3%	29.3%	17.4%	11.0%	0.0%
幼小連携教育コース	11.4%	30.3%	30.7%	19.3%	8.3%	0.0%
小中連携教育コース	11.2%	28.6%	30.3%	17.5%	12.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
全体	11.5%	30.5%	25.6%	19.0%	13.4%	0.0%	0.0%
幼小連携教育コース	14.3%	10.8%	29.7%	21.4%	15.1%	8.7%	0.0%
小中連携教育コース	14.2%	10.0%	26.2%	22.3%	15.0%	12.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
全体	6.8%	5.3%	16.1%	54.7%	17.0%	0.0%
幼小連携教育コース	5.8%	7.3%	17.2%	57.5%	12.2%	0.0%
小中連携教育コース	6.9%	4.0%	16.3%	54.3%	18.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.4%	3.0%	18.7%	50.6%	27.4%	0.0%	0.0%
幼小連携教育コース	1.9%	0.6%	4.1%	22.6%	49.6%	21.2%	0.0%
小中連携教育コース	2.7%	0.4%	2.4%	16.9%	49.9%	27.6%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.5%	1.6%	15.6%	47.0%	35.4%	0.0%	0.0%
幼小連携教育コース	15.4%	0.6%	2.1%	16.0%	40.7%	25.3%	0.0%
小中連携教育コース	10.8%	0.6%	0.9%	13.8%	41.2%	32.7%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.6%	1.9%	10.0%	46.3%	41.3%	0.0%
幼小連携教育コース	0.6%	2.3%	13.3%	47.7%	36.1%	0.0%
小中連携教育コース	0.6%	1.8%	9.1%	45.3%	43.2%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.4%	3.5%	24.5%	49.9%	21.7%	0.0%	0.0%
幼小連携教育コース	8.1%	0.2%	3.9%	25.9%	48.1%	13.7%	0.0%
小中連携教育コース	6.4%	0.4%	2.8%	21.7%	47.1%	21.4%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.3%	1.9%	18.9%	54.0%	24.9%	0.0%	0.0%
幼小連携教育コース	14.9%	0.2%	2.1%	18.0%	48.3%	16.4%	0.0%
小中連携教育コース	11.8%	0.3%	1.5%	15.4%	48.3%	22.6%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.9%	2.1%	16.8%	49.0%	30.3%	0.0%
幼小連携教育コース	1.5%	2.7%	18.9%	51.5%	25.5%	0.0%
小中連携教育コース	2.2%	1.8%	16.2%	48.1%	31.6%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.4%	4.5%	20.7%	40.5%	32.9%	0.0%
幼小連携教育コース	1.2%	6.4%	23.4%	41.7%	27.2%	0.0%
小中連携教育コース	1.6%	3.6%	18.7%	41.5%	34.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.7%	2.9%	10.6%	47.5%	38.3%	0.0%
幼小連携教育コース	0.8%	4.4%	12.4%	49.8%	32.6%	0.0%
小中連携教育コース	0.9%	2.2%	10.2%	47.1%	39.6%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
学校教育課程	0.4%	0.0%	0.8%	3.8%	95.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	1.2%	11.0%	87.8%	0.0%
人間環境課程	0.0%	0.5%	0.5%	15.5%	83.5%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	0.0%	45.2%	54.8%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育課程	15.0%	34.6%	25.0%	12.9%	12.5%	0.0%
国際文化課程	5.2%	19.8%	40.7%	18.6%	15.7%	0.0%
人間環境課程	25.0%	33.0%	31.0%	6.5%	4.5%	0.0%
美術・工芸課程	9.7%	22.6%	32.3%	12.9%	22.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育課程	6.7%	4.6%	24.6%	22.9%	26.7%	14.6%	0.0%
国際文化課程	2.3%	8.1%	26.7%	27.3%	25.6%	9.9%	0.0%
人間環境課程	19.5%	16.5%	32.5%	17.0%	12.0%	2.0%	0.5%
美術・工芸課程	22.6%	12.9%	22.6%	22.6%	16.1%	3.2%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育課程	2.5%	2.9%	13.8%	62.1%	18.8%	0.0%
国際文化課程	0.6%	1.2%	17.4%	55.2%	25.6%	0.0%
人間環境課程	4.0%	7.5%	26.0%	52.0%	10.0%	0.5%
美術・工芸課程	16.1%	6.5%	19.4%	41.9%	16.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.3%	0.4%	0.8%	12.1%	56.7%	28.8%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	1.2%	8.7%	54.1%	36.0%	0.0%
人間環境課程	2.5%	1.5%	3.0%	12.0%	52.5%	28.0%	0.5%
美術・工芸課程	6.5%	0.0%	0.0%	19.4%	51.6%	22.6%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	8.8%	0.4%	0.8%	5.4%	46.7%	37.9%	0.0%
国際文化課程	7.6%	0.0%	0.6%	8.7%	41.9%	41.3%	0.0%
人間環境課程	12.0%	0.0%	1.5%	7.5%	46.0%	32.5%	0.5%
美術・工芸課程	6.5%	0.0%	0.0%	3.2%	41.9%	48.4%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.8%	0.8%	7.9%	53.8%	36.7%	0.0%
国際文化課程	0.0%	1.2%	2.3%	43.0%	53.5%	0.0%
人間環境課程	0.5%	1.0%	6.0%	54.5%	37.5%	0.5%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	3.2%	48.4%	48.4%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.1%	0.4%	1.7%	16.7%	55.8%	23.3%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	1.2%	17.4%	60.5%	20.9%	0.0%
人間環境課程	8.0%	0.0%	3.0%	23.5%	47.0%	18.0%	0.5%
美術・工芸課程	19.4%	0.0%	9.7%	22.6%	35.5%	12.9%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	8.3%	0.0%	1.3%	12.5%	50.8%	27.1%	0.0%
国際文化課程	0.6%	0.0%	1.2%	9.3%	59.9%	28.5%	0.0%
人間環境課程	10.0%	2.0%	1.0%	18.0%	48.0%	20.5%	0.5%
美術・工芸課程	25.8%	0.0%	3.2%	6.5%	38.7%	25.8%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.5%	0.4%	10.4%	58.3%	28.3%	0.0%
国際文化課程	0.0%	2.3%	14.5%	47.1%	36.0%	0.0%
人間環境課程	3.0%	2.5%	24.0%	47.5%	22.5%	0.5%
美術・工芸課程	16.1%	3.2%	29.0%	29.0%	22.6%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.5%	5.4%	10.8%	47.5%	33.8%	0.0%
国際文化課程	0.0%	1.7%	8.7%	42.4%	47.1%	0.0%
人間環境課程	3.5%	7.5%	18.5%	46.5%	23.5%	0.5%
美術・工芸課程	3.2%	3.2%	16.1%	45.2%	32.3%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.7%	5.0%	8.3%	49.2%	35.8%	0.0%
国際文化課程	0.0%	1.7%	5.2%	47.7%	45.3%	0.0%
人間環境課程	0.5%	1.5%	7.0%	50.5%	40.0%	0.5%
美術・工芸課程	0.0%	3.2%	3.2%	58.1%	35.5%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	89.7%	0.0%
国際文化課程	3.9%	0.0%	9.8%	9.8%	76.5%	0.0%
人間環境課程	0.9%	0.0%	0.9%	5.5%	92.7%	0.0%
美術・工芸課程	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	76.9%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育課程	10.3%	25.6%	35.9%	20.5%	7.7%	0.0%
国際文化課程	5.9%	35.3%	17.6%	25.5%	15.7%	0.0%
人間環境課程	16.5%	33.0%	20.2%	12.8%	17.4%	0.0%
美術・工芸課程	15.4%	46.2%	7.7%	0.0%	30.8%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育課程	20.5%	2.6%	29.5%	28.2%	10.3%	9.0%	0.0%
国際文化課程	3.9%	5.9%	21.6%	35.3%	15.7%	17.6%	0.0%
人間環境課程	12.8%	8.3%	23.9%	23.9%	11.9%	19.3%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育課程	2.6%	1.3%	12.8%	67.9%	15.4%	0.0%
国際文化課程	2.0%	5.9%	3.9%	45.1%	43.1%	0.0%
人間環境課程	6.4%	10.1%	12.8%	44.0%	26.6%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	7.7%	23.1%	53.8%	15.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.3%	0.0%	3.8%	10.3%	48.7%	35.9%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	2.0%	13.7%	41.2%	43.1%	0.0%
人間環境課程	0.9%	0.9%	0.9%	12.8%	42.2%	42.2%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	30.8%	46.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	9.0%	0.0%	3.8%	6.4%	44.9%	35.9%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	2.0%	17.6%	31.4%	49.0%	0.0%
人間環境課程	8.3%	0.9%	0.0%	7.3%	35.8%	47.7%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	23.1%	61.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	1.3%	11.5%	29.5%	57.7%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	7.8%	39.2%	52.9%	0.0%
人間環境課程	0.0%	0.0%	5.5%	41.3%	53.2%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	7.7%	30.8%	61.5%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.3%	0.0%	2.6%	23.1%	46.2%	26.9%	0.0%
国際文化課程	3.9%	0.0%	7.8%	17.6%	35.3%	35.3%	0.0%
人間環境課程	10.1%	0.9%	1.8%	13.8%	37.6%	35.8%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	7.7%	7.7%	38.5%	38.5%	7.7%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	12.8%	0.0%	2.6%	14.1%	44.9%	25.6%	0.0%
国際文化課程	3.9%	0.0%	5.9%	3.9%	49.0%	37.3%	0.0%
人間環境課程	10.1%	0.0%	3.7%	11.0%	42.2%	33.0%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.6%	3.8%	15.4%	50.0%	28.2%	0.0%
国際文化課程	0.0%	3.9%	7.8%	58.8%	29.4%	0.0%
人間環境課程	4.6%	0.0%	16.5%	42.2%	36.7%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	10.3%	32.1%	57.7%	0.0%
国際文化課程	0.0%	5.9%	13.7%	33.3%	47.1%	0.0%
人間環境課程	1.8%	2.8%	20.2%	36.7%	38.5%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	7.7%	23.1%	15.4%	53.8%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.3%	3.8%	3.8%	30.8%	60.3%	0.0%
国際文化課程	0.0%	2.0%	11.8%	35.3%	51.0%	0.0%
人間環境課程	0.9%	0.0%	3.7%	43.1%	52.3%	0.0%
美術・工芸課程	0.0%	0.0%	7.7%	38.5%	53.8%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.0%	0.6%	12.2%	87.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	22.0%	25.0%	27.4%	15.9%	9.8%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
芸術地域デザイン学部	15.9%	13.4%	34.1%	20.1%	9.8%	6.7%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
芸術地域デザイン学部	7.9%	9.1%	14.0%	50.6%	18.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	4.3%	1.2%	0.6%	12.8%	54.9%	26.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	15.2%	0.0%	0.6%	9.1%	42.1%	32.9%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	1.2%	0.6%	3.0%	50.6%	44.5%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	20.1%	0.6%	3.0%	19.5%	40.9%	15.9%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	22.6%	1.2%	1.2%	11.6%	45.7%	17.7%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	2.4%	3.7%	22.0%	45.7%	26.2%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	2.4%	8.5%	23.8%	37.2%	28.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	2.4%	3.0%	7.3%	47.6%	39.6%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.3%	0.3%	1.3%	8.4%	89.8%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	15.5%	32.5%	25.6%	16.8%	9.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
芸術地域デザイン学部	10.2%	11.2%	41.9%	21.8%	11.7%	3.3%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
芸術地域デザイン学部	5.6%	6.1%	14.0%	64.5%	9.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	2.3%	1.3%	0.8%	17.5%	57.1%	21.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	11.2%	0.3%	0.3%	10.2%	48.5%	29.7%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	1.3%	5.8%	51.3%	41.6%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	4.8%	2.0%	1.5%	23.9%	53.0%	14.7%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	13.7%	1.5%	0.8%	17.3%	51.3%	15.5%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	2.3%	4.3%	34.5%	38.1%	20.8%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	1.0%	3.6%	20.3%	47.0%	28.2%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.5%	1.0%	8.6%	53.8%	36.0%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次	0.1%	0.2%	1.0%	8.4%	90.3%	0.0%
経済学科	3.1%	1.9%	2.7%	12.3%	80.1%	0.0%
経営学科	2.0%	1.0%	2.3%	8.0%	86.7%	0.0%
経済法学科	0.4%	0.7%	2.6%	13.0%	83.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次	10.4%	42.2%	32.4%	9.4%	5.6%	0.0%
経済学科	22.2%	41.8%	23.0%	5.0%	8.0%	0.0%
経営学科	32.3%	38.0%	18.3%	5.0%	6.3%	0.0%
経済法学科	26.8%	41.6%	23.8%	4.5%	3.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次	6.2%	8.4%	24.9%	32.3%	17.9%	10.2%	0.0%
経済学科	11.5%	6.9%	27.6%	29.1%	11.9%	13.0%	0.0%
経営学科	13.3%	5.7%	26.3%	24.7%	19.0%	11.0%	0.0%
経済法学科	14.5%	4.1%	23.8%	33.5%	17.8%	6.3%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
1年次	2.7%	7.0%	21.7%	54.6%	14.0%	0.0%
経済学科	7.7%	6.1%	16.9%	55.2%	14.2%	0.0%
経営学科	10.3%	4.3%	16.3%	51.7%	17.3%	0.0%
経済法学科	8.2%	5.9%	17.1%	59.9%	8.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	0.8%	1.0%	3.6%	20.3%	52.7%	21.6%	0.0%
経済学科	1.9%	3.1%	4.2%	21.5%	46.7%	22.6%	0.0%
経営学科	1.0%	1.0%	4.0%	18.0%	48.3%	27.7%	0.0%
経済法学科	2.2%	0.7%	4.8%	17.8%	55.4%	19.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	23.0%	0.4%	1.7%	24.8%	32.7%	17.4%	0.0%
経済学科	31.0%	1.5%	1.9%	14.6%	31.4%	19.5%	0.0%
経営学科	27.0%	0.3%	3.3%	14.0%	28.0%	27.3%	0.0%
経済法学科	33.8%	0.4%	2.2%	13.4%	32.0%	18.2%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	0.4%	2.3%	14.8%	53.7%	28.7%	0.0%
経済学科	2.3%	3.1%	11.9%	50.6%	32.2%	0.0%
経営学科	0.0%	2.7%	14.7%	42.7%	40.0%	0.0%
経済法学科	1.1%	1.9%	13.4%	58.4%	25.3%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	5.6%	0.5%	4.0%	30.8%	45.5%	13.6%	0.0%
経済学科	13.4%	4.2%	4.2%	25.7%	39.5%	13.0%	0.0%
経営学科	14.3%	1.0%	4.3%	22.3%	39.7%	18.3%	0.0%
経済法学科	12.6%	0.7%	7.1%	24.2%	44.2%	11.2%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	7.9%	0.8%	2.0%	20.2%	48.1%	20.9%	0.0%
経済学科	18.0%	0.4%	5.4%	9.2%	49.8%	17.2%	0.0%
経営学科	19.0%	0.7%	2.3%	12.3%	43.7%	22.0%	0.0%
経済法学科	18.2%	0.4%	3.3%	11.2%	51.7%	15.2%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	1.0%	3.4%	22.8%	47.9%	24.9%	0.0%
経済学科	2.7%	2.7%	18.0%	47.9%	28.7%	0.0%
経営学科	2.0%	4.0%	20.0%	42.7%	31.3%	0.0%
経済法学科	1.9%	4.1%	21.9%	49.8%	22.3%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	2.3%	8.3%	27.3%	45.0%	17.2%	0.0%
経済学科	8.0%	14.9%	28.0%	26.8%	22.2%	0.0%
経営学科	2.7%	8.7%	30.0%	37.0%	21.7%	0.0%
経済法学科	8.9%	13.8%	34.2%	29.0%	14.1%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	0.9%	3.2%	17.1%	50.8%	28.0%	0.0%
経済学科	3.4%	5.4%	17.2%	51.0%	23.0%	0.0%
経営学科	0.7%	2.3%	16.3%	45.7%	35.0%	0.0%
経済法学科	1.1%	4.5%	14.5%	52.8%	27.1%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
1年次	1.0%	1.0%	3.1%	14.8%	80.0%	0.0%
経済学科	4.0%	0.0%	2.7%	15.3%	78.0%	0.0%
経営学科	3.3%	0.7%	2.0%	14.0%	80.0%	0.0%
経済法学科	6.1%	1.7%	1.7%	13.9%	76.5%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次	11.4%	41.6%	34.3%	10.2%	2.4%	0.0%
経済学科	18.0%	44.7%	30.7%	4.0%	2.7%	0.0%
経営学科	18.7%	52.7%	23.3%	4.0%	1.3%	0.0%
経済法学科	21.7%	56.5%	20.0%	0.9%	0.9%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次	5.5%	8.8%	25.0%	34.0%	19.2%	7.5%	0.0%
経済学科	12.7%	4.7%	21.3%	35.3%	15.3%	10.7%	0.0%
経営学科	8.7%	4.0%	21.3%	36.0%	20.7%	9.3%	0.0%
経済法学科	14.8%	5.2%	27.8%	33.0%	14.8%	4.3%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
1年次	3.6%	7.0%	19.1%	60.8%	9.5%	0.0%
経済学科	6.7%	4.7%	10.0%	67.3%	11.3%	0.0%
経営学科	2.7%	5.3%	14.0%	67.3%	10.7%	0.0%
経済法学科	8.7%	10.4%	11.3%	63.5%	6.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	1.5%	3.0%	4.5%	19.9%	51.1%	20.1%	0.0%
経済学科	3.3%	2.7%	2.7%	12.7%	58.0%	20.7%	0.0%
経営学科	0.7%	0.0%	2.7%	11.3%	64.7%	20.7%	0.0%
経済法学科	1.7%	0.9%	3.5%	14.8%	60.0%	19.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	19.6%	1.6%	3.0%	26.2%	34.5%	15.2%	0.0%
経済学科	23.3%	2.7%	2.0%	14.0%	44.0%	14.0%	0.0%
経営学科	20.0%	0.0%	1.3%	14.7%	46.7%	17.3%	0.0%
経済法学科	32.2%	0.0%	0.9%	10.4%	42.6%	13.9%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	1.7%	4.0%	15.3%	52.7%	26.3%	0.0%
経済学科	3.3%	3.3%	10.0%	54.7%	28.7%	0.0%
経営学科	0.0%	1.3%	7.3%	59.3%	32.0%	0.0%
経済法学科	1.7%	0.9%	11.3%	56.5%	29.6%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	6.2%	1.7%	4.7%	29.5%	47.3%	10.7%	0.0%
経済学科	8.7%	2.0%	6.0%	22.0%	51.3%	10.0%	0.0%
経営学科	6.7%	0.7%	1.3%	19.3%	58.7%	13.3%	0.0%
経済法学科	12.2%	0.9%	2.6%	24.3%	50.4%	9.6%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	8.3%	2.5%	3.3%	16.6%	52.2%	17.2%	0.0%
経済学科	14.7%	0.0%	0.0%	14.7%	56.0%	14.7%	0.0%
経営学科	8.7%	0.7%	0.0%	12.0%	62.0%	16.7%	0.0%
経済法学科	15.7%	0.0%	0.9%	13.0%	58.3%	12.2%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	1.7%	3.5%	20.5%	51.1%	23.2%	0.0%
経済学科	4.7%	2.7%	13.3%	52.7%	26.7%	0.0%
経営学科	2.7%	2.7%	12.0%	58.7%	24.0%	0.0%
経済法学科	1.7%	0.9%	13.9%	57.4%	26.1%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	3.3%	9.5%	33.4%	42.0%	11.8%	0.0%
経済学科	6.7%	4.7%	24.7%	38.0%	26.0%	0.0%
経営学科	2.0%	8.7%	31.3%	46.7%	11.3%	0.0%
経済法学科	6.1%	12.2%	38.3%	31.3%	12.2%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	3.1%	5.2%	17.7%	51.5%	22.4%	0.0%
経済学科	6.0%	4.7%	11.3%	53.3%	24.7%	0.0%
経営学科	0.7%	0.7%	9.3%	62.7%	26.7%	0.0%
経済法学科	2.6%	3.5%	10.4%	55.7%	27.8%	0.0%

## A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数理科学科	1.8%	0.4%	0.9%	4.4%	92.4%	0.0%
物理科学科	0.6%	0.6%	0.0%	2.2%	96.6%	0.0%
知能情報システム学科	1.9%	0.2%	0.9%	10.0%	87.0%	0.0%
機能物質化学科	0.2%	0.0%	0.2%	5.4%	94.2%	0.0%
機械システム工学科	0.3%	0.0%	0.6%	3.8%	95.3%	0.0%
電気電子工学科	1.3%	0.0%	0.3%	8.8%	89.6%	0.0%
都市工学科	1.0%	0.7%	0.9%	4.7%	92.7%	0.0%

## A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	6.2%	21.8%	38.7%	19.6%	13.8%	0.0%
物理科学科	12.4%	28.7%	38.8%	11.8%	8.4%	0.0%
知能情報システム学科	4.0%	23.8%	39.1%	24.2%	8.9%	0.0%
機能物質化学科	1.9%	22.8%	40.0%	17.0%	18.3%	0.0%
機械システム工学科	9.2%	35.2%	38.5%	8.8%	8.3%	0.0%
電気電子工学科	7.2%	28.9%	38.4%	16.7%	8.8%	0.0%
都市工学科	15.3%	33.3%	29.5%	13.3%	8.5%	0.0%

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	11.6%	16.4%	36.0%	17.3%	13.8%	4.9%	0.0%
物理科学科	21.9%	13.5%	34.8%	17.4%	6.2%	6.2%	0.0%
知能情報システム学科	10.7%	9.5%	25.7%	31.9%	13.8%	8.4%	0.0%
機能物質化学科	7.1%	10.2%	27.0%	32.0%	14.7%	9.1%	0.0%
機械システム工学科	18.5%	15.3%	21.9%	24.4%	13.6%	6.3%	0.0%
電気電子工学科	8.0%	8.8%	24.1%	29.5%	20.4%	9.1%	0.0%
都市工学科	11.9%	10.3%	30.5%	28.0%	13.1%	6.3%	0.0%

## A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理科学科	5.8%	2.2%	27.6%	52.9%	11.6%	0.0%
物理科学科	6.7%	4.5%	16.9%	60.7%	11.2%	0.0%
知能情報システム学科	4.0%	4.6%	17.7%	62.9%	10.9%	0.0%
機能物質化学科	2.1%	3.5%	17.8%	63.9%	12.7%	0.0%
機械システム工学科	7.7%	6.7%	17.1%	57.1%	11.4%	0.0%
電気電子工学科	2.9%	4.7%	12.0%	64.0%	16.4%	0.0%
都市工学科	7.3%	8.0%	18.0%	56.0%	10.8%	0.0%

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.9%	1.8%	0.4%	34.7%	46.7%	15.6%	0.0%
物理科学科	1.1%	0.0%	2.8%	16.9%	57.9%	21.3%	0.0%
知能情報システム学科	2.6%	2.1%	4.4%	19.6%	55.2%	16.1%	0.0%
機能物質化学科	3.7%	0.4%	2.5%	16.2%	57.7%	19.5%	0.0%
機械システム工学科	1.3%	2.9%	3.2%	19.7%	57.2%	15.6%	0.0%
電気電子工学科	0.8%	1.1%	2.2%	21.5%	58.9%	15.4%	0.0%
都市工学科	1.4%	1.3%	4.0%	28.3%	51.5%	13.6%	0.0%

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	21.3%	2.2%	1.8%	12.9%	45.8%	16.0%	0.0%
物理科学科	10.1%	0.0%	1.7%	13.5%	43.8%	30.9%	0.0%
知能情報システム学科	14.9%	1.6%	3.3%	17.2%	44.8%	18.2%	0.0%
機能物質化学科	12.7%	0.8%	1.7%	14.5%	50.0%	20.3%	0.0%
機械システム工学科	16.5%	1.3%	3.2%	15.6%	45.4%	18.0%	0.0%
電気電子工学科	13.0%	0.6%	1.1%	22.3%	47.2%	15.7%	0.0%
都市工学科	17.3%	1.0%	2.0%	21.0%	44.1%	14.5%	0.0%

## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.0%	3.6%	18.2%	54.2%	24.0%	0.0%
物理科学科	0.0%	1.1%	15.7%	51.7%	31.5%	0.0%
知能情報システム学科	3.7%	5.8%	17.7%	50.6%	22.2%	0.0%
機能物質化学科	2.5%	0.8%	14.5%	55.2%	27.0%	0.0%
機械システム工学科	2.5%	4.7%	19.1%	54.0%	19.7%	0.0%
電気電子工学科	0.6%	1.8%	16.4%	57.6%	23.6%	0.0%
都市工学科	1.6%	2.7%	20.9%	53.9%	20.9%	0.0%

## C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないのから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	10.7%	1.3%	9.3%	34.2%	36.0%	8.4%	0.0%
物理科学科	7.3%	1.1%	7.3%	25.8%	45.5%	12.9%	0.0%
知能情報システム学科	5.3%	0.7%	3.5%	24.9%	54.8%	10.9%	0.0%
機能物質化学科	4.8%	0.6%	2.3%	21.6%	58.3%	12.4%	0.0%
機械システム工学科	8.2%	3.2%	4.5%	21.5%	51.5%	11.1%	0.0%
電気電子工学科	5.0%	1.0%	6.6%	25.7%	49.1%	12.7%	0.0%
都市工学科	11.1%	2.8%	7.2%	26.4%	44.1%	8.4%	0.0%

## C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を聞いていないのから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	15.6%	0.9%	0.9%	33.3%	38.2%	11.1%	0.0%
物理科学科	15.7%	0.6%	1.1%	14.0%	55.1%	13.5%	0.0%
知能情報システム学科	11.7%	0.9%	2.1%	14.7%	56.0%	14.5%	0.0%
機能物質化学科	8.3%	1.0%	1.2%	9.1%	61.0%	19.3%	0.0%
機械システム工学科	14.2%	1.0%	1.5%	16.2%	50.7%	16.5%	0.0%
電気電子工学科	8.5%	1.0%	1.6%	14.3%	56.2%	18.5%	0.0%
都市工学科	13.1%	0.2%	2.3%	18.5%	54.1%	11.8%	0.0%

## C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	4.4%	5.8%	29.3%	46.7%	13.8%	0.0%
物理科学科	1.7%	6.7%	21.3%	43.3%	27.0%	0.0%
知能情報システム学科	3.0%	3.0%	16.6%	53.2%	24.2%	0.0%
機能物質化学科	3.1%	3.1%	23.4%	49.8%	20.5%	0.0%
機械システム工学科	2.9%	3.9%	31.1%	46.0%	16.1%	0.0%
電気電子工学科	1.6%	2.7%	24.2%	52.6%	18.8%	0.0%
都市工学科	2.8%	3.2%	32.5%	47.4%	14.1%	0.0%

## C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	12.0%	7.6%	34.2%	36.9%	9.3%	0.0%
物理科学科	3.9%	6.7%	31.5%	30.3%	27.5%	0.0%
知能情報システム学科	8.8%	8.9%	24.2%	41.9%	16.3%	0.0%

理工(前期)%

機能物質化学科	4.6%	7.5%	25.3%	42.9%	19.7%	0.0%
機械システム工学科	5.3%	8.9%	28.6%	42.3%	14.9%	0.0%
電気電子工学科	5.3%	10.4%	30.7%	39.0%	14.6%	0.0%
都市工学科	9.1%	12.3%	32.3%	32.8%	13.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0.9%	5.8%	17.8%	49.3%	26.2%	0.0%
物理科学科	0.6%	6.2%	11.8%	49.4%	32.0%	0.0%
知能情報システム学科	3.7%	6.5%	14.5%	56.6%	18.7%	0.0%
機能物質化学科	1.2%	2.1%	11.6%	59.1%	25.9%	0.0%
機械システム工学科	1.8%	4.5%	17.5%	55.3%	20.9%	0.0%
電気電子工学科	1.4%	4.8%	14.8%	57.5%	21.5%	0.0%
都市工学科	2.4%	4.1%	20.6%	56.6%	16.4%	0.0%

## 理工(後期)%

## A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数理科学科	0.6%	0.0%	0.6%	4.2%	94.6%	0.0%
物理科学科	1.4%	0.0%	0.0%	6.1%	92.5%	0.0%
知能情報システム学科	0.5%	0.8%	1.0%	10.6%	87.2%	0.0%
機能物質化学科	0.6%	0.3%	0.3%	6.2%	92.6%	0.0%
機械システム工学科	0.9%	0.5%	0.2%	4.0%	94.4%	0.0%
電気電子工学科	1.1%	0.0%	1.1%	7.3%	90.5%	0.0%
都市工学科	0.9%	0.6%	0.3%	6.6%	91.7%	0.0%

## A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	4.8%	18.6%	34.1%	16.8%	25.7%	0.0%
物理科学科	6.8%	36.7%	34.0%	12.9%	9.5%	0.0%
知能情報システム学科	5.0%	22.7%	35.3%	22.2%	14.9%	0.0%
機能物質化学科	3.4%	29.7%	30.3%	14.6%	22.0%	0.0%
機械システム工学科	8.2%	33.5%	39.6%	11.7%	7.0%	0.0%
電気電子工学科	5.4%	33.5%	45.8%	11.1%	4.3%	0.0%
都市工学科	5.7%	35.9%	28.4%	14.9%	14.9%	0.0%

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	18.6%	7.2%	32.3%	18.6%	12.0%	11.4%	0.0%
物理科学科	16.3%	10.9%	32.7%	19.0%	12.2%	8.8%	0.0%
知能情報システム学科	14.9%	11.1%	26.4%	30.7%	11.6%	5.3%	0.0%
機能物質化学科	10.5%	5.0%	23.5%	26.9%	23.5%	10.5%	0.0%
機械システム工学科	12.2%	14.1%	22.5%	23.0%	15.9%	12.4%	0.0%
電気電子工学科	3.6%	6.8%	27.6%	29.5%	25.9%	6.5%	0.0%
都市工学科	4.3%	5.2%	23.9%	27.6%	27.6%	11.5%	0.0%

## A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理科学科	9.0%	6.0%	24.0%	43.1%	18.0%	0.0%
物理科学科	4.8%	4.8%	21.1%	60.5%	8.8%	0.0%
知能情報システム学科	7.6%	2.8%	19.9%	59.7%	10.1%	0.0%
機能物質化学科	1.5%	5.9%	14.6%	62.2%	15.8%	0.0%
機械システム工学科	10.1%	6.8%	15.0%	52.0%	16.2%	0.0%
電気電子工学科	2.4%	2.7%	16.6%	65.9%	12.5%	0.0%
都市工学科	0.3%	1.7%	13.2%	67.8%	17.0%	0.0%

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	1.2%	1.8%	5.4%	22.2%	47.9%	21.6%	0.0%
物理科学科	4.8%	0.7%	3.4%	15.6%	58.5%	17.0%	0.0%
知能情報システム学科	4.3%	3.0%	2.5%	24.9%	52.4%	12.8%	0.0%
機能物質化学科	3.7%	0.0%	2.2%	15.2%	56.3%	22.6%	0.0%
機械システム工学科	1.6%	2.6%	3.5%	14.5%	60.2%	17.6%	0.0%
電気電子工学科	0.9%	0.6%	2.2%	23.2%	59.4%	13.6%	0.0%
都市工学科	0.0%	1.1%	2.0%	16.4%	64.9%	15.5%	0.0%

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	14.4%	1.2%	0.6%	9.6%	40.7%	33.5%	0.0%
物理科学科	12.9%	0.0%	3.4%	6.8%	51.0%	25.9%	0.0%
知能情報システム学科	11.3%	2.0%	2.0%	19.4%	48.9%	16.4%	0.0%
機能物質化学科	5.9%	0.3%	1.5%	13.6%	52.0%	26.6%	0.0%
機械システム工学科	13.1%	2.1%	4.2%	13.6%	47.1%	19.9%	0.0%
電気電子工学科	11.2%	1.3%	2.2%	19.0%	53.4%	13.0%	0.0%
都市工学科	12.6%	0.6%	1.1%	13.8%	55.7%	16.1%	0.0%

## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	1.2%	1.8%	13.2%	52.1%	31.7%	0.0%
物理科学科	0.0%	0.7%	16.3%	50.3%	32.7%	0.0%
知能情報システム学科	2.5%	4.0%	21.4%	53.4%	18.6%	0.0%
機能物質化学科	2.5%	0.9%	14.6%	51.7%	30.3%	0.0%
機械システム工学科	2.1%	3.0%	11.9%	59.5%	23.4%	0.0%
電気電子工学科	0.8%	1.4%	18.2%	58.8%	20.9%	0.0%
都市工学科	1.4%	2.0%	11.5%	62.1%	23.0%	0.0%

## C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないのから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	15.0%	3.0%	3.0%	21.6%	43.7%	13.8%	0.0%
物理科学科	8.2%	0.0%	2.0%	32.0%	47.6%	10.2%	0.0%
知能情報システム学科	6.5%	3.0%	3.8%	32.7%	46.1%	7.8%	0.0%
機能物質化学科	5.0%	0.6%	4.0%	22.3%	55.7%	12.4%	0.0%
機械システム工学科	11.9%	4.0%	2.8%	19.4%	49.4%	12.4%	0.0%
電気電子工学科	4.3%	0.6%	3.2%	22.9%	57.7%	11.4%	0.0%
都市工学科	2.3%	0.9%	3.4%	27.6%	57.2%	8.6%	0.0%

## C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスを基に説明していないのから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	25.1%	1.2%	3.0%	17.4%	37.1%	16.2%	0.0%
物理科学科	18.4%	0.7%	0.7%	10.9%	54.4%	15.0%	0.0%
知能情報システム学科	16.1%	1.0%	0.3%	20.9%	49.6%	12.1%	0.0%
機能物質化学科	9.0%	0.0%	1.2%	11.1%	60.4%	18.3%	0.0%
機械システム工学科	13.1%	1.4%	2.6%	12.9%	51.8%	18.3%	0.0%
電気電子工学科	3.5%	0.5%	2.1%	16.6%	63.3%	14.1%	0.0%
都市工学科	2.9%	0.9%	1.7%	16.4%	65.5%	12.6%	0.0%

## C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	4.8%	4.2%	26.9%	37.7%	26.3%	0.0%
物理科学科	3.4%	4.8%	16.3%	55.8%	19.7%	0.0%
知能情報システム学科	3.3%	4.8%	16.1%	56.7%	19.1%	0.0%
機能物質化学科	2.8%	3.1%	21.7%	48.3%	24.1%	0.0%
機械システム工学科	3.3%	3.0%	23.9%	51.5%	18.3%	0.0%
電気電子工学科	2.1%	3.2%	19.3%	57.5%	18.0%	0.0%
都市工学科	2.6%	2.9%	20.7%	58.3%	15.5%	0.0%

## C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	4.2%	3.6%	18.6%	45.5%	28.1%	0.0%
物理科学科	1.4%	6.1%	37.4%	39.5%	15.6%	0.0%
知能情報システム学科	9.1%	8.6%	24.2%	38.3%	19.9%	0.0%

理工(後期)%

機能物質化学科	3.1%	6.2%	22.3%	47.1%	21.4%	0.0%
機械システム工学科	2.3%	4.7%	20.1%	53.2%	19.7%	0.0%
電気電子工学科	4.9%	6.8%	23.9%	46.9%	17.5%	0.0%
都市工学科	3.4%	10.9%	26.4%	45.4%	13.8%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	3.0%	3.0%	14.4%	49.7%	29.9%	0.0%
物理科学科	0.0%	2.7%	16.3%	54.4%	26.5%	0.0%
知能情報システム学科	3.3%	6.0%	18.1%	55.9%	16.6%	0.0%
機能物質化学科	1.2%	3.4%	9.3%	60.4%	25.7%	0.0%
機械システム工学科	4.0%	4.7%	13.8%	56.7%	20.8%	0.0%
電気電子工学科	1.9%	2.5%	13.1%	63.2%	19.3%	0.0%
都市工学科	1.7%	3.2%	15.8%	61.2%	18.1%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	0.2%	0.4%	0.4%	4.1%	94.8%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	97.2%	0.0%
資源循環生産学コース	0.2%	0.0%	0.0%	4.0%	95.8%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%	89.1%	0.0%
生命機能科学科	0.4%	0.2%	0.2%	2.8%	96.4%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	15.8%	39.7%	32.1%	7.8%	4.6%	0.0%
生物環境保全学コース	14.7%	37.6%	26.6%	14.7%	6.4%	0.0%
資源循環生産学コース	15.6%	40.3%	27.2%	11.1%	5.7%	0.0%
地域社会開発学コース	19.6%	8.7%	30.4%	28.3%	13.0%	0.0%
生命機能科学科	8.2%	38.5%	32.1%	12.0%	9.2%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	10.8%	13.0%	34.7%	24.5%	12.6%	4.3%	0.0%
生物環境保全学コース	12.4%	15.6%	32.6%	22.9%	11.5%	5.0%	0.0%
資源循環生産学コース	12.1%	14.4%	32.4%	26.5%	10.6%	4.0%	0.0%
地域社会開発学コース	28.3%	4.3%	15.2%	28.3%	10.9%	13.0%	0.0%
生命機能科学科	14.4%	12.6%	28.5%	27.5%	11.0%	6.0%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
応用生物科学科	3.9%	10.0%	24.1%	52.5%	9.5%	0.0%
生物環境保全学コース	5.0%	11.9%	21.1%	50.0%	11.9%	0.0%
資源循環生産学コース	6.2%	8.7%	24.5%	52.5%	8.2%	0.0%
地域社会開発学コース	2.2%	4.3%	8.7%	67.4%	17.4%	0.0%
生命機能科学科	4.2%	8.4%	18.0%	58.3%	11.2%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	2.6%	2.2%	2.8%	24.7%	49.7%	18.0%	0.0%
生物環境保全学コース	2.8%	0.9%	4.6%	24.3%	46.3%	21.1%	0.0%
資源循環生産学コース	1.7%	1.7%	2.2%	20.3%	53.7%	20.3%	0.0%
地域社会開発学コース	4.3%	0.0%	0.0%	8.7%	67.4%	19.6%	0.0%
生命機能科学科	2.8%	0.4%	2.6%	19.4%	55.5%	19.4%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	16.7%	0.9%	2.2%	21.3%	38.0%	21.0%	0.0%
生物環境保全学コース	18.3%	0.0%	1.8%	19.7%	36.2%	23.9%	0.0%
資源循環生産学コース	17.6%	0.2%	2.2%	19.1%	43.6%	17.3%	0.0%
地域社会開発学コース	10.9%	0.0%	0.0%	8.7%	60.9%	19.6%	0.0%
生命機能科学科	18.0%	0.2%	1.2%	14.8%	48.1%	17.8%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.9%	2.6%	18.7%	49.5%	28.4%	0.0%
生物環境保全学コース	2.3%	4.6%	16.5%	47.2%	29.4%	0.0%
資源循環生産学コース	0.5%	0.5%	8.7%	58.2%	32.2%	0.0%
地域社会開発学コース	2.2%	0.0%	8.7%	54.3%	34.8%	0.0%
生命機能科学科	0.2%	1.8%	8.8%	60.5%	28.7%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	10.2%	1.7%	4.6%	36.4%	37.3%	9.8%	0.0%
生物環境保全学コース	11.5%	1.4%	6.9%	24.3%	40.4%	15.6%	0.0%
資源循環生産学コース	7.9%	1.2%	4.0%	31.2%	45.3%	10.4%	0.0%
地域社会開発学コース	6.5%	0.0%	4.3%	15.2%	54.3%	19.6%	0.0%
生命機能科学科	7.2%	1.0%	4.0%	25.3%	52.5%	10.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を基にしている/わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	13.2%	0.0%	1.3%	23.9%	47.5%	14.1%	0.0%
生物環境保全学コース	13.8%	0.9%	3.2%	21.6%	45.9%	14.7%	0.0%
資源循環生産学コース	14.4%	0.0%	3.0%	19.3%	50.5%	12.9%	0.0%
地域社会開発学コース	21.7%	0.0%	2.2%	8.7%	41.3%	26.1%	0.0%
生命機能科学科	14.2%	0.2%	0.8%	16.2%	53.7%	15.0%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	2.0%	4.1%	29.9%	45.3%	18.7%	0.0%
生物環境保全学コース	4.6%	6.9%	21.6%	43.6%	23.4%	0.0%
資源循環生産学コース	2.7%	4.2%	25.0%	46.0%	22.0%	0.0%
地域社会開発学コース	2.2%	2.2%	23.9%	47.8%	23.9%	0.0%
生命機能科学科	3.0%	3.2%	22.8%	50.9%	20.2%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	6.7%	16.5%	31.2%	31.0%	14.5%	0.0%
生物環境保全学コース	2.3%	9.2%	11.5%	42.7%	34.4%	0.0%
資源循環生産学コース	4.5%	8.4%	23.3%	44.1%	19.8%	0.0%
地域社会開発学コース	2.2%	0.0%	19.6%	43.5%	34.8%	0.0%
生命機能科学科	4.8%	10.8%	29.3%	40.1%	15.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	1.5%	6.1%	21.7%	49.0%	21.7%	0.0%
生物環境保全学コース	3.7%	6.0%	18.8%	45.4%	26.1%	0.0%
資源循環生産学コース	1.0%	1.0%	10.6%	62.4%	25.0%	0.0%
地域社会開発学コース	2.2%	0.0%	6.5%	58.7%	32.6%	0.0%
生命機能科学科	0.6%	1.4%	14.8%	59.1%	24.2%	0.0%

## A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	1.1%	0.0%	0.9%	6.7%	91.4%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	97.8%	0.0%
資源循環生産学コース	1.5%	0.0%	0.7%	2.2%	95.6%	0.0%
地域社会開発学コース	1.1%	0.0%	1.1%	6.8%	90.9%	0.0%
生命機能科学科	0.7%	0.0%	0.0%	7.8%	91.5%	0.0%

## A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	15.5%	35.5%	33.3%	10.0%	5.8%	0.0%
生物環境保全学コース	10.0%	35.6%	32.2%	11.1%	11.1%	0.0%
資源循環生産学コース	28.1%	29.6%	25.2%	9.6%	7.4%	0.0%
地域社会開発学コース	17.0%	40.9%	25.0%	10.2%	6.8%	0.0%
生命機能科学科	12.7%	32.5%	29.7%	10.2%	14.8%	0.0%

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	16.9%	10.6%	24.4%	27.3%	14.2%	6.7%	0.0%
生物環境保全学コース	23.3%	7.8%	25.6%	27.8%	5.6%	10.0%	0.0%
資源循環生産学コース	19.3%	10.4%	30.4%	21.5%	11.9%	6.7%	0.0%
地域社会開発学コース	13.6%	9.1%	33.0%	27.3%	11.4%	5.7%	0.0%
生命機能科学科	14.8%	4.6%	25.4%	29.0%	14.1%	12.0%	0.0%

## A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
応用生物科学科	8.6%	7.5%	21.1%	47.7%	15.1%	0.0%
生物環境保全学コース	12.2%	3.3%	21.1%	51.1%	12.2%	0.0%
資源循環生産学コース	10.4%	2.2%	25.9%	48.1%	13.3%	0.0%
地域社会開発学コース	6.8%	5.7%	22.7%	53.4%	11.4%	0.0%
生命機能科学科	7.8%	6.7%	14.5%	59.7%	11.3%	0.0%

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	7.5%	1.3%	2.2%	22.8%	49.2%	16.9%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	3.3%	2.2%	12.2%	51.1%	31.1%	0.0%
資源循環生産学コース	5.9%	0.7%	0.7%	15.6%	54.8%	22.2%	0.0%
地域社会開発学コース	4.5%	1.1%	4.5%	27.3%	51.1%	11.4%	0.0%
生命機能科学科	4.2%	0.0%	2.8%	21.2%	50.2%	21.6%	0.0%

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	23.7%	0.2%	2.4%	20.2%	36.4%	17.1%	0.0%
生物環境保全学コース	5.6%	2.2%	1.1%	16.7%	37.8%	36.7%	0.0%
資源循環生産学コース	17.0%	0.0%	0.0%	9.6%	45.2%	28.1%	0.0%
地域社会開発学コース	18.2%	1.1%	2.3%	21.6%	44.3%	12.5%	0.0%
生命機能科学科	21.6%	0.0%	0.7%	11.3%	39.9%	26.5%	0.0%

## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	1.8%	2.2%	16.9%	51.2%	27.9%	0.0%
生物環境保全学コース	1.1%	2.2%	2.2%	46.7%	47.8%	0.0%
資源循環生産学コース	1.5%	0.0%	11.1%	48.9%	38.5%	0.0%
地域社会開発学コース	2.3%	4.5%	14.8%	52.3%	26.1%	0.0%
生命機能科学科	1.4%	0.4%	14.8%	50.9%	32.5%	0.0%

## C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/おぼろげから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	14.6%	2.0%	5.1%	28.4%	39.7%	10.2%	0.0%
生物環境保全学コース	15.6%	0.0%	5.6%	26.7%	37.8%	14.4%	0.0%
資源循環生産学コース	11.1%	0.7%	2.2%	28.9%	41.5%	15.6%	0.0%
地域社会開発学コース	10.2%	0.0%	2.3%	37.5%	42.0%	8.0%	0.0%
生命機能科学科	12.0%	0.4%	3.5%	21.9%	48.1%	14.1%	0.0%

## C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していない/おぼろげから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	16.6%	0.4%	1.8%	20.6%	46.8%	13.7%	0.0%
生物環境保全学コース	20.0%	0.0%	0.0%	13.3%	50.0%	16.7%	0.0%
資源循環生産学コース	16.3%	0.0%	3.0%	17.0%	48.9%	14.8%	0.0%
地域社会開発学コース	14.8%	1.1%	1.1%	15.9%	58.0%	9.1%	0.0%
生命機能科学科	14.5%	0.4%	1.8%	18.4%	48.4%	16.6%	0.0%

## C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	5.5%	4.0%	22.0%	45.0%	23.5%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	3.3%	18.9%	44.4%	33.3%	0.0%
資源循環生産学コース	3.0%	0.7%	25.9%	45.2%	25.2%	0.0%
地域社会開発学コース	14.8%	6.8%	33.0%	37.5%	8.0%	0.0%
生命機能科学科	3.5%	2.1%	24.7%	44.5%	25.1%	0.0%

## C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	10.6%	14.9%	34.1%	27.9%	12.4%	0.0%
生物環境保全学コース	2.2%	1.1%	18.9%	51.1%	26.7%	0.0%
資源循環生産学コース	3.0%	1.5%	26.7%	47.4%	21.5%	0.0%
地域社会開発学コース	14.8%	11.4%	28.4%	30.7%	14.8%	0.0%
生命機能科学科	5.7%	11.0%	31.1%	34.3%	18.0%	0.0%

## D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	2.0%	3.3%	17.7%	51.7%	25.3%	0.0%
生物環境保全学コース	1.1%	2.2%	6.7%	45.6%	44.4%	0.0%
資源循環生産学コース	1.5%	2.2%	10.4%	51.1%	34.8%	0.0%
地域社会開発学コース	5.7%	8.0%	17.0%	53.4%	15.9%	0.0%
生命機能科学科	0.7%	0.7%	16.3%	53.7%	28.6%	0.0%

教養(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.4%	0.1%	0.6%	5.5%	93.5%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.0%	0.0%	0.5%	1.5%	98.0%	0.0%
情報処理科目	0.4%	0.2%	0.7%	4.2%	94.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.4%	0.3%	1.3%	8.8%	88.2%	0.0%
文化の分野	1.5%	0.5%	1.3%	6.9%	89.9%	0.0%
現代社会の分野	1.2%	1.0%	1.5%	9.0%	87.3%	0.0%
環境コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	96.0%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.5%	2.0%	7.1%	90.4%	0.0%
生活と科学コース	0.4%	0.0%	0.4%	11.2%	88.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	0.9%	6.0%	93.2%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.0%	1.2%	8.2%	90.6%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	7.4%	33.9%	37.7%	14.2%	6.8%	0.0%
健康・スポーツ科目	76.2%	14.4%	4.5%	1.0%	4.0%	0.0%
情報処理科目	28.3%	34.3%	23.3%	8.4%	5.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	21.8%	35.1%	26.5%	11.0%	5.6%	0.0%
文化の分野	19.7%	42.4%	26.5%	7.9%	3.5%	0.0%
現代社会の分野	27.4%	35.3%	20.4%	6.5%	10.4%	0.0%
環境コース	16.0%	38.0%	34.0%	8.0%	4.0%	0.0%
文化と共生コース	5.1%	29.3%	38.4%	17.7%	9.6%	0.0%
生活と科学コース	12.9%	33.0%	26.6%	17.2%	10.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	43.8%	29.5%	15.9%	6.0%	4.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	17.6%	40.0%	15.3%	21.2%	5.9%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	14.6%	10.6%	28.6%	24.8%	14.0%	7.4%	0.0%
健康・スポーツ科目	27.7%	18.3%	26.2%	13.4%	9.9%	4.5%	0.0%
情報処理科目	20.7%	11.4%	29.0%	20.0%	12.6%	6.4%	0.0%
自然科学と技術の分野	12.4%	10.6%	26.4%	25.2%	17.7%	7.7%	0.0%
文化の分野	15.5%	9.8%	25.7%	26.3%	14.8%	7.9%	0.0%
現代社会の分野	17.4%	11.4%	26.5%	22.3%	14.3%	8.1%	0.0%
環境コース	11.0%	10.0%	33.0%	28.0%	13.0%	5.0%	0.0%
文化と共生コース	9.1%	8.6%	23.7%	20.7%	28.8%	9.1%	0.0%
生活と科学コース	11.2%	6.0%	20.2%	28.8%	21.0%	12.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	25.9%	7.4%	26.1%	21.9%	11.1%	7.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	12.9%	4.7%	28.2%	28.2%	18.8%	7.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
外国語科目	6.2%	6.8%	18.9%	54.8%	13.3%	0.0%
健康・スポーツ科目	8.4%	4.5%	18.3%	57.9%	10.9%	0.0%
情報処理科目	10.5%	8.6%	21.6%	49.1%	10.2%	0.0%
自然科学と技術の分野	6.3%	6.8%	16.4%	57.1%	13.4%	0.0%
文化の分野	8.0%	7.0%	20.5%	53.1%	11.3%	0.0%
現代社会の分野	8.4%	7.0%	18.9%	52.9%	12.7%	0.0%
環境コース	7.0%	3.0%	21.0%	59.0%	10.0%	0.0%
文化と共生コース	3.5%	1.5%	16.7%	63.1%	15.2%	0.0%
生活と科学コース	6.0%	4.7%	12.4%	57.9%	18.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	11.9%	7.4%	31.3%	41.5%	8.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	4.7%	3.5%	14.1%	68.2%	9.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.4%	2.1%	4.1%	19.9%	51.3%	20.2%	0.0%
健康・スポーツ科目	1.5%	1.0%	1.0%	19.3%	54.5%	22.8%	0.0%
情報処理科目	3.1%	1.0%	3.4%	24.6%	52.1%	15.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	3.3%	1.0%	3.0%	17.5%	55.1%	20.1%	0.0%
文化の分野	3.5%	1.2%	3.2%	23.4%	50.1%	18.6%	0.0%
現代社会の分野	3.1%	0.8%	3.2%	22.7%	51.0%	19.4%	0.0%
環境コース	3.0%	1.0%	8.0%	22.0%	52.0%	14.0%	0.0%
文化と共生コース	1.5%	1.5%	1.5%	12.1%	50.0%	33.3%	0.0%
生活と科学コース	1.7%	1.3%	2.6%	15.5%	57.5%	21.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	4.3%	1.1%	2.8%	27.3%	50.9%	13.6%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.4%	0.0%	2.4%	11.8%	64.7%	18.8%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	14.4%	1.4%	2.3%	16.4%	44.1%	21.4%	0.0%
健康・スポーツ科目	18.8%	0.0%	0.5%	8.9%	49.0%	22.8%	0.0%
情報処理科目	14.1%	0.7%	2.5%	16.5%	46.2%	19.9%	0.0%
自然科学と技術の分野	22.0%	0.4%	1.6%	17.5%	40.4%	18.1%	0.0%
文化の分野	20.2%	1.0%	2.0%	19.8%	37.9%	19.2%	0.0%
現代社会の分野	25.7%	0.4%	2.5%	21.0%	34.0%	16.4%	0.0%
環境コース	16.0%	0.0%	0.0%	21.0%	49.0%	14.0%	0.0%
文化と共生コース	5.6%	1.5%	0.5%	3.5%	49.5%	39.4%	0.0%
生活と科学コース	18.5%	1.7%	1.3%	12.4%	40.3%	25.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	20.5%	0.0%	1.4%	28.4%	38.4%	11.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	24.7%	0.0%	1.2%	11.8%	40.0%	22.4%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.8%	2.0%	12.7%	52.1%	31.4%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.0%	0.0%	5.4%	56.9%	37.6%	0.0%
情報処理科目	1.2%	2.2%	16.4%	59.1%	21.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.6%	0.4%	11.4%	50.9%	35.7%	0.0%
文化の分野	1.1%	1.7%	14.8%	48.8%	33.5%	0.0%
現代社会の分野	1.0%	1.8%	14.7%	53.7%	28.8%	0.0%
環境コース	0.0%	1.0%	26.0%	52.0%	21.0%	0.0%
文化と共生コース	1.5%	1.5%	7.1%	40.9%	49.0%	0.0%
生活と科学コース	0.9%	3.4%	12.9%	50.6%	32.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.6%	17.9%	52.6%	29.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.2%	0.0%	9.4%	56.5%	32.9%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	8.8%	1.5%	4.0%	27.1%	46.3%	12.3%	0.0%
健康・スポーツ科目	11.9%	0.0%	1.0%	17.3%	50.5%	19.3%	0.0%
情報処理科目	11.2%	0.8%	2.8%	25.1%	47.5%	12.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	10.3%	1.3%	4.9%	25.5%	44.9%	13.1%	0.0%
文化の分野	8.7%	1.6%	4.0%	28.7%	45.1%	12.0%	0.0%

教養(前期)%

現代社会の分野	10.6%	1.4%	3.5%	27.8%	42.9%	13.8%	0.0%
環境コース	8.0%	0.0%	2.0%	30.0%	52.0%	8.0%	0.0%
文化と共生コース	3.5%	1.5%	2.5%	18.7%	52.5%	21.2%	0.0%
生活と科学コース	8.6%	0.9%	2.1%	19.7%	53.6%	15.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	11.9%	0.0%	3.1%	30.7%	42.3%	11.9%	0.0%
地域・佐賀学コース	7.1%	2.4%	2.4%	27.1%	50.6%	10.6%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	14.4%	1.0%	3.0%	19.9%	46.2%	15.5%
健康・スポーツ科目	24.3%	0.5%	0.0%	17.8%	46.5%	10.9%
情報処理科目	17.7%	0.4%	1.6%	17.6%	49.0%	13.8%
自然科学と技術の分野	15.1%	0.1%	1.3%	14.3%	51.4%	17.8%
文化の分野	14.1%	0.6%	1.9%	19.1%	48.6%	15.7%
現代社会の分野	16.7%	1.0%	1.8%	19.2%	46.0%	15.2%
環境コース	12.0%	0.0%	3.0%	20.0%	56.0%	9.0%
文化と共生コース	9.6%	3.0%	1.0%	12.1%	46.5%	27.8%
生活と科学コース	12.9%	0.4%	1.7%	13.3%	51.9%	19.7%
医療・福祉と社会コース	18.2%	0.0%	0.9%	23.3%	44.3%	13.4%
地域・佐賀学コース	12.9%	1.2%	0.0%	18.8%	52.9%	14.1%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.8%	3.4%	21.5%	50.0%	22.2%	0.0%
健康・スポーツ科目	10.9%	6.4%	46.5%	25.7%	10.4%	0.0%
情報処理科目	1.9%	1.8%	20.9%	49.6%	25.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	3.7%	2.6%	24.7%	47.5%	21.5%	0.0%
文化の分野	2.9%	3.0%	23.2%	49.5%	21.4%	0.0%
現代社会の分野	3.0%	4.2%	26.5%	44.6%	21.6%	0.0%
環境コース	2.0%	5.0%	30.0%	49.0%	14.0%	0.0%
文化と共生コース	1.5%	2.5%	15.2%	42.4%	38.4%	0.0%
生活と科学コース	1.7%	3.4%	18.9%	47.6%	28.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	2.3%	1.7%	27.0%	53.7%	15.3%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.4%	1.2%	18.8%	56.5%	21.2%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.2%	2.8%	11.2%	45.0%	38.8%	0.0%
健康・スポーツ科目	7.9%	4.5%	27.7%	39.1%	20.8%	0.0%
情報処理科目	5.6%	10.2%	30.2%	36.4%	17.7%	0.0%
自然科学と技術の分野	8.0%	14.0%	33.5%	32.2%	12.3%	0.0%
文化の分野	4.9%	7.1%	21.8%	39.7%	26.5%	0.0%
現代社会の分野	8.7%	12.8%	30.9%	31.3%	16.3%	0.0%
環境コース	2.0%	2.0%	17.0%	51.0%	28.0%	0.0%
文化と共生コース	1.5%	2.0%	8.1%	41.9%	46.5%	0.0%
生活と科学コース	3.0%	6.9%	20.6%	39.1%	30.5%	0.0%
医療・福祉と社会コース	4.0%	9.7%	35.8%	38.9%	11.6%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.4%	1.2%	12.9%	42.4%	41.2%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.7%	4.5%	14.9%	48.8%	29.2%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.5%	0.0%	4.0%	41.1%	54.5%	0.0%
情報処理科目	1.9%	2.5%	16.4%	54.3%	24.9%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.7%	2.3%	14.6%	52.6%	28.8%	0.0%
文化の分野	1.9%	2.7%	12.3%	54.5%	28.6%	0.0%
現代社会の分野	1.8%	2.8%	15.7%	51.2%	28.5%	0.0%
環境コース	2.0%	3.0%	16.0%	64.0%	15.0%	0.0%
文化と共生コース	2.5%	0.5%	9.6%	41.4%	46.0%	0.0%
生活と科学コース	1.3%	3.4%	13.7%	51.9%	29.6%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.3%	1.7%	15.9%	57.1%	25.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.2%	0.0%	14.1%	57.6%	27.1%	0.0%

教養(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.2%	0.3%	0.9%	8.8%	89.8%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	99.2%	0.0%
情報処理科目	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	96.4%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.0%	0.8%	1.3%	14.7%	82.3%	0.0%
文化の分野	1.5%	0.3%	1.0%	8.5%	88.6%	0.0%
現代社会の分野	0.7%	0.7%	1.7%	12.1%	84.8%	0.0%
環境コース	2.8%	0.0%	2.8%	6.9%	87.5%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	88.5%	0.0%
生活と科学コース	0.7%	0.0%	0.0%	10.6%	88.7%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	0.5%	7.1%	92.3%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.0%	0.0%	12.9%	87.1%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	5.4%	31.7%	39.5%	15.1%	8.4%	0.0%
健康・スポーツ科目	68.9%	14.3%	7.6%	1.7%	7.6%	0.0%
情報処理科目	5.8%	21.0%	40.6%	19.6%	13.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	16.7%	48.3%	20.1%	10.3%	4.6%	0.0%
文化の分野	18.5%	42.2%	25.2%	8.5%	5.6%	0.0%
現代社会の分野	20.3%	39.6%	23.2%	8.0%	9.0%	0.0%
環境コース	9.7%	34.7%	33.3%	8.3%	13.9%	0.0%
文化と共生コース	4.2%	26.0%	34.4%	18.8%	16.7%	0.0%
生活と科学コース	13.4%	47.9%	25.4%	7.0%	6.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	24.6%	42.6%	20.2%	8.2%	4.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	9.7%	46.8%	21.0%	17.7%	4.8%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	12.3%	7.4%	28.1%	25.2%	19.5%	7.6%	0.0%
健康・スポーツ科目	24.4%	11.8%	28.6%	16.0%	12.6%	6.7%	0.0%
情報処理科目	10.1%	8.7%	27.5%	23.9%	21.0%	8.7%	0.0%
自然科学と技術の分野	11.1%	5.4%	25.2%	31.1%	19.0%	8.2%	0.0%
文化の分野	12.8%	8.3%	29.1%	22.1%	17.9%	9.9%	0.0%
現代社会の分野	10.9%	5.9%	25.9%	28.6%	19.6%	9.1%	0.0%
環境コース	6.9%	5.6%	25.0%	31.9%	22.2%	8.3%	0.0%
文化と共生コース	5.2%	6.3%	17.7%	29.2%	32.3%	9.4%	0.0%
生活と科学コース	7.7%	6.3%	27.5%	29.6%	19.0%	9.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	12.6%	2.2%	21.3%	36.1%	18.0%	9.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	6.5%	9.7%	30.6%	32.3%	12.9%	8.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
外国語科目	5.1%	5.7%	16.8%	58.4%	14.0%	0.0%
健康・スポーツ科目	5.0%	3.4%	13.4%	61.3%	16.8%	0.0%
情報処理科目	4.3%	3.6%	9.4%	68.8%	13.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	5.1%	5.1%	19.0%	59.9%	10.8%	0.0%
文化の分野	8.0%	5.3%	18.0%	55.4%	13.3%	0.0%
現代社会の分野	5.8%	5.1%	15.7%	59.7%	13.7%	0.0%
環境コース	2.8%	6.9%	18.1%	61.1%	11.1%	0.0%
文化と共生コース	3.1%	1.0%	13.5%	60.4%	21.9%	0.0%
生活と科学コース	3.5%	4.2%	9.9%	63.4%	19.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	6.6%	7.1%	18.6%	60.1%	7.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	3.2%	1.6%	21.0%	61.3%	12.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.5%	2.0%	3.9%	17.8%	54.3%	20.5%	0.0%
健康・スポーツ科目	1.7%	0.0%	1.7%	12.6%	63.9%	20.2%	0.0%
情報処理科目	0.0%	0.7%	2.2%	10.9%	68.1%	18.1%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.3%	0.8%	1.5%	23.4%	55.5%	17.5%	0.0%
文化の分野	1.7%	1.2%	2.7%	20.9%	51.7%	21.8%	0.0%
現代社会の分野	1.9%	0.8%	2.1%	20.4%	54.6%	20.1%	0.0%
環境コース	0.0%	0.0%	2.8%	19.4%	63.9%	13.9%	0.0%
文化と共生コース	1.0%	0.0%	3.1%	11.5%	47.9%	36.5%	0.0%
生活と科学コース	1.4%	0.7%	0.7%	15.5%	59.9%	21.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	2.7%	0.5%	1.6%	29.0%	53.6%	12.6%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.0%	0.0%	17.7%	59.7%	22.6%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	14.3%	1.3%	2.2%	16.2%	42.5%	23.5%	0.0%
健康・スポーツ科目	19.3%	0.8%	0.8%	8.4%	43.7%	26.9%	0.0%
情報処理科目	12.3%	1.4%	0.7%	8.7%	56.5%	20.3%	0.0%
自然科学と技術の分野	22.6%	1.0%	2.6%	19.3%	35.2%	19.3%	0.0%
文化の分野	20.2%	0.9%	0.9%	18.5%	38.8%	20.7%	0.0%
現代社会の分野	23.4%	1.1%	1.0%	21.0%	38.2%	15.3%	0.0%
環境コース	15.3%	1.4%	1.4%	11.1%	54.2%	16.7%	0.0%
文化と共生コース	2.1%	0.0%	0.0%	4.2%	45.8%	47.9%	0.0%
生活と科学コース	12.0%	0.0%	0.0%	9.9%	52.1%	26.1%	0.0%
医療・福祉と社会コース	26.8%	0.0%	2.2%	20.2%	37.2%	13.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	8.1%	0.0%	4.8%	16.1%	46.8%	24.2%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	0.8%	2.3%	13.1%	53.8%	30.0%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.8%	0.0%	7.6%	52.1%	39.5%	0.0%
情報処理科目	0.7%	2.2%	9.4%	61.6%	26.1%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.3%	1.0%	14.1%	53.7%	30.8%	0.0%
文化の分野	1.2%	1.9%	13.9%	47.6%	35.4%	0.0%
現代社会の分野	1.4%	1.0%	13.7%	52.4%	31.6%	0.0%
環境コース	0.0%	0.0%	11.1%	66.7%	22.2%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.0%	4.2%	52.1%	43.8%	0.0%
生活と科学コース	0.0%	1.4%	9.9%	54.9%	33.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	1.6%	1.6%	13.1%	59.0%	24.6%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.0%	6.5%	59.7%	33.9%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	7.2%	2.0%	3.5%	25.3%	48.0%	14.1%	0.0%
健康・スポーツ科目	9.2%	0.8%	1.7%	16.0%	52.1%	20.2%	0.0%
情報処理科目	7.2%	1.4%	1.4%	20.3%	55.1%	14.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	9.0%	0.3%	2.6%	32.4%	45.0%	10.8%	0.0%
文化の分野	8.8%	0.5%	2.4%	24.5%	49.7%	14.1%	0.0%

教養(後期)%

現代社会の分野	10.2%	1.1%	2.2%	26.8%	48.3%	11.4%	0.0%
環境コース	5.6%	1.4%	1.4%	19.4%	62.5%	9.7%	0.0%
文化と共生コース	2.1%	0.0%	2.1%	9.4%	57.3%	29.2%	0.0%
生活と科学コース	5.6%	0.0%	1.4%	16.9%	59.2%	16.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	7.1%	0.5%	0.5%	23.5%	59.0%	9.3%	0.0%
地域・佐賀学コース	4.8%	0.0%	3.2%	16.1%	64.5%	11.3%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	13.4%	0.9%	2.0%	19.1%	48.3%	16.3%
健康・スポーツ科目	23.5%	0.0%	0.8%	10.9%	50.4%	14.3%
情報処理科目	10.9%	0.7%	0.0%	9.4%	64.5%	14.5%
自然科学と技術の分野	11.1%	0.3%	1.8%	14.9%	52.2%	19.8%
文化の分野	13.6%	0.7%	2.2%	16.8%	47.3%	19.4%
現代社会の分野	13.0%	1.0%	1.5%	14.9%	52.1%	17.5%
環境コース	9.7%	1.4%	2.8%	11.1%	61.1%	13.9%
文化と共生コース	6.3%	0.0%	1.0%	11.5%	50.0%	31.3%
生活と科学コース	7.7%	0.0%	1.4%	11.3%	59.2%	20.4%
医療・福祉と社会コース	11.5%	1.6%	0.5%	12.0%	59.6%	14.8%
地域・佐賀学コース	9.7%	1.6%	1.6%	19.4%	54.8%	12.9%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.4%	4.2%	22.2%	47.5%	23.7%	0.0%
健康・スポーツ科目	9.2%	1.7%	49.6%	26.1%	13.4%	0.0%
情報処理科目	2.2%	1.4%	17.4%	56.5%	22.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.8%	1.0%	19.8%	54.2%	24.2%	0.0%
文化の分野	2.6%	2.2%	19.4%	47.3%	28.6%	0.0%
現代社会の分野	1.9%	2.8%	23.7%	48.4%	23.2%	0.0%
環境コース	1.4%	2.8%	18.1%	58.3%	19.4%	0.0%
文化と共生コース	1.0%	2.1%	11.5%	44.8%	40.6%	0.0%
生活と科学コース	2.8%	3.5%	13.4%	51.4%	28.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	1.1%	0.5%	24.6%	56.3%	17.5%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.6%	3.2%	21.0%	50.0%	24.2%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.1%	2.6%	11.8%	46.9%	37.6%	0.0%
健康・スポーツ科目	1.7%	1.7%	36.1%	35.3%	25.2%	0.0%
情報処理科目	5.1%	5.1%	29.7%	45.7%	14.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	6.7%	11.8%	37.8%	32.1%	11.6%	0.0%
文化の分野	4.6%	6.6%	26.9%	38.1%	23.8%	0.0%
現代社会の分野	7.2%	12.0%	34.3%	34.6%	11.9%	0.0%
環境コース	0.0%	0.0%	11.1%	56.9%	31.9%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	2.1%	4.2%	33.3%	60.4%	0.0%
生活と科学コース	0.0%	2.8%	13.4%	47.2%	36.6%	0.0%
医療・福祉と社会コース	1.6%	12.0%	32.8%	38.8%	14.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	3.2%	9.7%	51.6%	35.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	3.3%	4.8%	11.7%	53.0%	27.2%	0.0%
健康・スポーツ科目	0.0%	0.0%	5.9%	43.7%	50.4%	0.0%
情報処理科目	2.2%	2.2%	6.5%	66.7%	22.5%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.8%	0.8%	15.7%	55.5%	27.2%	0.0%
文化の分野	2.0%	3.6%	13.3%	46.9%	34.2%	0.0%
現代社会の分野	1.7%	2.8%	14.6%	54.9%	26.1%	0.0%
環境コース	1.4%	1.4%	12.5%	69.4%	15.3%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	1.0%	4.2%	43.8%	51.0%	0.0%
生活と科学コース	0.7%	1.4%	7.7%	54.2%	35.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	2.2%	12.6%	61.7%	23.5%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	3.2%	11.3%	58.1%	27.4%	0.0%

学校教育研(前期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	7.1%	37.8%	31.5%	23.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育学研究科	0.8%	0.0%	19.7%	26.0%	33.1%	20.5%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.8%	11.0%	53.5%	34.6%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.8%	2.4%	12.6%	37.8%	46.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.8%	1.6%	11.8%	31.5%	54.3%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.8%	4.7%	29.1%	65.4%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	2.4%	19.7%	53.5%	24.4%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.8%	0.0%	1.6%	15.7%	40.9%	40.9%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	1.6%	14.2%	37.0%	47.2%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.8%	7.1%	31.5%	60.6%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.8%	1.6%	7.9%	33.1%	56.7%	0.0%

学校教育研(後期)%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	17.9%	28.2%	41.0%	12.8%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	2.6%	30.8%	23.1%	20.5%	23.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育学研究科	2.6%	7.7%	12.8%	56.4%	20.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	2.6%	2.6%	7.7%	30.8%	33.3%	23.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	2.6%	2.6%	5.1%	28.2%	38.5%	23.1%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	2.6%	7.7%	28.2%	38.5%	23.1%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない・把握から	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	5.1%	5.1%	33.3%	43.6%	12.8%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない・把握から	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	7.7%	7.7%	20.5%	23.1%	41.0%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	5.1%	5.1%	23.1%	38.5%	28.2%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	7.7%	0.0%	15.4%	38.5%	38.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	10.3%	7.7%	17.9%	41.0%	23.1%	0.0%

## A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	95.1%	0.0%

## A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
地域デザイン研究科	2.4%	7.3%	22.0%	22.0%	46.3%	0.0%

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
地域デザイン研究科	2.4%	2.4%	14.6%	19.5%	34.1%	26.8%	0.0%

## A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
地域デザイン研究科	4.9%	0.0%	12.2%	58.5%	24.4%	0.0%

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	39.0%	51.2%	0.0%

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	29.3%	68.3%	0.0%

## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	4.9%	34.1%	61.0%	0.0%

## C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	9.8%	0.0%	0.0%	9.8%	41.5%	39.0%	0.0%

## C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	12.2%	0.0%	0.0%	7.3%	48.8%	31.7%	0.0%

## C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	4.9%	2.4%	12.2%	41.5%	39.0%	0.0%

## C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	2.4%	4.9%	39.0%	53.7%	0.0%

## D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.4%	43.9%	53.7%	0.0%

## A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%	94.1%	0.0%

## A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	11.8%	11.8%	32.4%	44.1%	0.0%

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	8.8%	20.6%	38.2%	32.4%	0.0%

## A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.9%	67.6%	29.4%	0.0%

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	35.3%	61.8%	0.0%

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	29.4%	67.6%	0.0%

## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	2.9%	2.9%	29.4%	64.7%	0.0%

## C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.9%	11.8%	41.2%	44.1%	0.0%

## C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	55.9%	41.2%	0.0%

## C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	5.9%	44.1%	50.0%	0.0%

## C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	2.9%	2.9%	38.2%	55.9%	0.0%

## D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	2.9%	0.0%	38.2%	58.8%	0.0%

## 工学系(前期)%

## A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	5.0%	10.0%	85.0%	0.0%
物理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
循環物質化学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	97.0%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	98.2%	0.0%
都市工学専攻	2.6%	0.0%	1.3%	3.9%	92.2%	0.0%
先端融合工学専攻	0.9%	0.0%	0.0%	1.9%	97.2%	0.0%

## A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理学専攻	0.0%	35.0%	45.0%	15.0%	5.0%	0.0%
物理学専攻	7.1%	28.6%	50.0%	0.0%	14.3%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	45.9%	21.6%	24.3%	8.1%	0.0%
循環物質化学専攻	7.5%	25.4%	31.3%	11.9%	23.9%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	23.0%	25.3%	14.9%	36.8%	0.0%
電気電子工学専攻	2.7%	18.9%	36.0%	24.3%	18.0%	0.0%
都市工学専攻	5.2%	9.1%	27.3%	27.3%	31.2%	0.0%
先端融合工学専攻	3.8%	30.2%	23.6%	13.2%	29.2%	0.0%

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理学専攻	25.0%	0.0%	25.0%	35.0%	15.0%	0.0%	0.0%
物理学専攻	50.0%	0.0%	14.3%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	16.2%	32.4%	32.4%	16.2%	2.7%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	22.4%	11.9%	19.4%	28.4%	9.0%	0.0%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	6.9%	12.6%	41.4%	28.7%	10.3%	0.0%
電気電子工学専攻	2.7%	13.5%	23.4%	27.0%	23.4%	9.9%	0.0%
都市工学専攻	3.9%	7.8%	13.0%	36.4%	20.8%	18.2%	0.0%
先端融合工学専攻	4.7%	10.4%	26.4%	24.5%	20.8%	13.2%	0.0%

## A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理学専攻	20.0%	0.0%	5.0%	65.0%	10.0%	0.0%
物理学専攻	0.0%	0.0%	7.1%	78.6%	14.3%	0.0%
知能情報システム学専攻	8.1%	29.7%	13.5%	37.8%	10.8%	0.0%
循環物質化学専攻	4.5%	6.0%	23.9%	55.2%	10.4%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	16.1%	71.3%	12.6%	0.0%
電気電子工学専攻	0.9%	1.8%	10.8%	59.5%	27.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	2.6%	9.1%	55.8%	32.5%	0.0%
先端融合工学専攻	0.9%	2.8%	16.0%	55.7%	24.5%	0.0%

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	15.0%	5.0%	0.0%	15.0%	55.0%	10.0%	0.0%
物理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	85.7%	7.1%	0.0%
知能情報システム学専攻	2.7%	0.0%	8.1%	21.6%	62.2%	5.4%	0.0%
循環物質化学専攻	32.8%	0.0%	1.5%	11.9%	38.8%	14.9%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	2.3%	17.2%	56.3%	24.1%	0.0%
電気電子工学専攻	0.9%	0.9%	0.9%	17.1%	56.8%	23.4%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	51.9%	35.1%	0.0%
先端融合工学専攻	0.9%	0.0%	0.9%	12.3%	47.2%	38.7%	0.0%

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	15.0%	0.0%
物理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	50.0%	35.7%	0.0%
知能情報システム学専攻	10.8%	0.0%	0.0%	8.1%	59.5%	21.6%	0.0%
循環物質化学専攻	23.9%	0.0%	0.0%	13.4%	41.8%	20.9%	0.0%
機械システム工学専攻	5.7%	1.1%	0.0%	16.1%	52.9%	24.1%	0.0%
電気電子工学専攻	4.5%	1.8%	0.0%	16.2%	45.0%	32.4%	0.0%
都市工学専攻	1.3%	0.0%	0.0%	9.1%	57.1%	32.5%	0.0%
先端融合工学専攻	2.8%	0.0%	0.9%	6.6%	50.9%	38.7%	0.0%

## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
物理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	64.3%	35.7%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	8.1%	5.4%	73.0%	13.5%	0.0%
循環物質化学専攻	17.9%	0.0%	19.4%	38.8%	23.9%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	18.4%	52.9%	28.7%	0.0%
電気電子工学専攻	0.9%	0.9%	17.1%	45.0%	36.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	9.1%	51.9%	39.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.9%	0.0%	8.5%	49.1%	41.5%	0.0%

## C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない/把握している	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	25.0%	0.0%	15.0%	10.0%	40.0%	10.0%	0.0%
物理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	45.9%	0.0%	0.0%	21.6%	32.4%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	22.4%	0.0%	1.5%	23.9%	43.3%	9.0%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	2.3%	24.1%	64.4%	9.2%	0.0%
電気電子工学専攻	0.9%	0.0%	3.6%	18.9%	64.0%	12.6%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	64.9%	26.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.9%	0.0%	0.9%	15.1%	50.9%	32.1%	0.0%

## C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない/把握している	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	25.0%	0.0%	0.0%	5.0%	45.0%	25.0%	0.0%
物理学専攻	50.0%	0.0%	0.0%	14.3%	35.7%	0.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	45.9%	0.0%	0.0%	10.8%	40.5%	2.7%	0.0%
循環物質化学専攻	23.9%	0.0%	1.5%	28.4%	32.8%	13.4%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	2.3%	23.0%	59.8%	14.9%	0.0%
電気電子工学専攻	0.9%	0.0%	0.0%	17.1%	51.4%	30.6%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	1.3%	14.3%	53.2%	31.2%	0.0%
先端融合工学専攻	1.9%	0.0%	0.9%	17.0%	49.1%	31.1%	0.0%

## C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	25.0%	0.0%	5.0%	55.0%	15.0%	0.0%
物理学専攻	0.0%	0.0%	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	27.0%	67.6%	5.4%	0.0%
循環物質化学専攻	20.9%	0.0%	31.3%	35.8%	11.9%	0.0%

## 工学系(前期)%

機械システム工学専攻	0.0%	1.1%	18.4%	59.8%	20.7%	0.0%
電気電子工学専攻	1.8%	0.0%	22.5%	49.5%	26.1%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	1.3%	22.1%	45.5%	31.2%	0.0%
先端融合工学専攻	1.9%	0.0%	22.6%	41.5%	34.0%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	25.0%	0.0%	25.0%	40.0%	10.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%
知能情報システム学専攻	2.7%	13.5%	24.3%	45.9%	13.5%	0.0%
循環物質化学専攻	19.4%	0.0%	22.4%	34.3%	23.9%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	2.3%	21.8%	56.3%	19.5%	0.0%
電気電子工学専攻	1.8%	0.0%	19.8%	45.0%	33.3%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	7.8%	48.1%	44.2%	0.0%
先端融合工学専攻	1.9%	0.0%	15.1%	44.3%	38.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	5.0%	5.0%	85.0%	5.0%	0.0%
物理科学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	8.1%	8.1%	83.8%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	0.0%	1.5%	3.0%	61.2%	34.3%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	1.1%	9.2%	64.4%	25.3%	0.0%
電気電子工学専攻	2.7%	0.9%	12.6%	48.6%	35.1%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	11.7%	50.6%	37.7%	0.0%
先端融合工学専攻	1.9%	0.0%	7.5%	49.1%	41.5%	0.0%

## A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	63.6%	0.0%
物理学専攻						
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
循環物質化学専攻	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	97.7%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	78.6%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	96.9%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	3.8%	11.5%	84.6%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	98.5%	0.0%

## A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後にいったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理学専攻	0.0%	45.5%	0.0%	45.5%	9.1%	0.0%
物理学専攻						
知能情報システム学専攻	0.0%	41.7%	12.5%	8.3%	37.5%	0.0%
循環物質化学専攻	22.7%	18.2%	0.0%	15.9%	43.2%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	3.6%	7.1%	53.6%	35.7%	0.0%
電気電子工学専攻	5.1%	23.5%	36.7%	16.3%	18.4%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	7.7%	11.5%	19.2%	61.5%	0.0%
先端融合工学専攻	7.7%	20.0%	30.8%	18.5%	23.1%	0.0%

## A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理学専攻	9.1%	27.3%	54.5%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
物理学専攻							
知能情報システム学専攻	0.0%	45.8%	29.2%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	31.8%	11.4%	25.0%	18.2%	6.8%	6.8%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	32.1%	35.7%	32.1%	0.0%
電気電子工学専攻	4.1%	3.1%	27.6%	29.6%	18.4%	17.3%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	3.8%	19.2%	46.2%	15.4%	15.4%	0.0%
先端融合工学専攻	3.1%	4.6%	10.8%	23.1%	29.2%	29.2%	0.0%

## A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	9.1%	81.8%	9.1%	0.0%
物理学専攻						
知能情報システム学専攻	16.7%	8.3%	12.5%	58.3%	4.2%	0.0%
循環物質化学専攻	9.1%	6.8%	11.4%	52.3%	20.5%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	14.3%	46.4%	39.3%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	13.3%	58.2%	28.6%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	3.8%	3.8%	61.5%	30.8%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	10.8%	47.7%	41.5%	0.0%

## B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	81.8%	9.1%	0.0%
物理学専攻							
知能情報システム学専攻	4.2%	0.0%	0.0%	45.8%	50.0%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	31.8%	0.0%	2.3%	11.4%	25.0%	29.5%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	17.9%	32.1%	50.0%	0.0%
電気電子工学専攻	2.0%	0.0%	1.0%	16.3%	50.0%	30.6%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	3.8%	7.7%	65.4%	23.1%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	13.8%	38.5%	47.7%	0.0%

## B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	9.1%	0.0%
物理学専攻							
知能情報システム学専攻	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	58.3%	25.0%	0.0%
循環物質化学専攻	29.5%	0.0%	0.0%	18.2%	13.6%	38.6%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	39.3%	46.4%	0.0%
電気電子工学専攻	2.0%	2.0%	1.0%	10.2%	51.0%	33.7%	0.0%
都市工学専攻	3.8%	0.0%	0.0%	7.7%	61.5%	26.9%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	10.8%	38.5%	50.8%	0.0%

## B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	9.1%	81.8%	9.1%	0.0%
物理学専攻						
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	33.3%	41.7%	25.0%	0.0%
循環物質化学専攻	25.0%	0.0%	15.9%	22.7%	36.4%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	14.3%	35.7%	50.0%	0.0%
電気電子工学専攻	1.0%	2.0%	13.3%	49.0%	34.7%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	3.8%	76.9%	19.2%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	12.3%	30.8%	56.9%	0.0%

## C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない/把握している	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%
物理学専攻							
知能情報システム学専攻	25.0%	0.0%	4.2%	54.2%	16.7%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	31.8%	0.0%	0.0%	18.2%	36.4%	13.6%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	1.0%	4.1%	18.4%	52.0%	24.5%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	3.8%	26.9%	46.2%	23.1%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	16.9%	35.4%	47.7%	0.0%

## C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない/把握している	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	54.5%	18.2%	0.0%
物理学専攻							
知能情報システム学専攻	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	38.6%	0.0%	0.0%	20.5%	20.5%	20.5%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	39.3%	46.4%	0.0%
電気電子工学専攻	1.0%	1.0%	4.1%	22.4%	46.9%	24.5%	0.0%
都市工学専攻	3.8%	0.0%	3.8%	15.4%	65.4%	11.5%	0.0%
先端融合工学専攻	1.5%	0.0%	0.0%	10.8%	44.6%	43.1%	0.0%

## C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%
物理学専攻						
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	45.8%	41.7%	12.5%	0.0%
循環物質化学専攻	27.3%	0.0%	29.5%	25.0%	18.2%	0.0%

工学系(後期)%

機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	14.3%	35.7%	50.0%	0.0%
電気電子工学専攻	2.0%	4.1%	22.4%	44.9%	26.5%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	19.2%	65.4%	15.4%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	20.0%	36.9%	43.1%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	36.4%	0.0%	0.0%	54.5%	9.1%	0.0%
物理科学専攻						
知能情報システム学専攻	16.7%	4.2%	16.7%	41.7%	20.8%	0.0%
循環物質化学専攻	29.5%	2.3%	22.7%	20.5%	25.0%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	14.3%	39.3%	46.4%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	1.0%	14.3%	44.9%	39.8%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	11.5%	65.4%	23.1%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	3.1%	15.4%	40.0%	41.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%
物理科学専攻						
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%
循環物質化学専攻	6.8%	0.0%	4.5%	50.0%	38.6%	0.0%
機械システム工学専攻	0.0%	0.0%	14.3%	35.7%	50.0%	0.0%
電気電子工学専攻	1.0%	1.0%	8.2%	54.1%	35.7%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	3.8%	73.1%	23.1%	0.0%
先端融合工学専攻	1.5%	0.0%	1.5%	49.2%	47.7%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	98.9%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	6.4%	24.5%	36.2%	19.7%	13.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	24.5%	12.2%	10.1%	22.3%	23.4%	7.4%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
農学研究科	8.5%	2.7%	14.4%	59.0%	15.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	2.7%	1.6%	1.6%	15.4%	61.7%	17.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	8.0%	0.5%	0.5%	11.7%	51.1%	28.2%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1.6%	1.6%	9.6%	56.9%	30.3%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	14.9%	0.5%	1.6%	16.0%	56.9%	10.1%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	29.3%	0.5%	1.6%	9.0%	47.3%	12.2%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	3.2%	1.1%	18.1%	59.0%	18.6%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	3.2%	5.3%	20.7%	43.1%	27.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1.1%	2.1%	8.0%	60.1%	28.7%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	98.9%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	3.4%	18.2%	25.0%	36.4%	17.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	5.7%	5.7%	18.2%	19.3%	38.6%	12.5%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	8.0%	67.0%	25.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	1.1%	6.8%	59.1%	33.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	4.5%	0.0%	1.1%	10.2%	38.6%	45.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	1.1%	6.8%	47.7%	44.3%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	65.9%	25.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないためから	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	3.4%	0.0%	1.1%	11.4%	58.0%	26.1%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	2.3%	15.9%	54.5%	27.3%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	4.5%	10.2%	44.3%	40.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	1.1%	3.4%	47.7%	47.7%	0.0%